

裾野市
教育に関するアンケート調査
報告書

令和6年12月

裾 野 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査の結果【裾野市教育振興基本計画に関すること】《児童・生徒》	3
1	属性	3
2	学校生活について	5
3	地域の歴史や文化について	12
4	読書について	13
5	食に関することについて	14
III	調査の結果【裾野市教育振興基本計画に関すること】《保護者》	17
1	属性	17
2	お子さんについて	19
3	子どもの教育について	22
4	子どもの読書習慣について	31
IV	調査の結果【裾野市教育振興基本計画に関すること】《市民》	37
1	属性	37
2	あなたご自身の学習や活動について	39
3	文化財や文化施設について	52
4	裾野市の子どもたちとの接し方やご意見について	56
5	裾野市の教育施策や教育事業について	62

V	調査の結果【裾野市の教育のあり方に関すること】《児童・生徒》	77
VI	調査の結果【裾野市の教育のあり方に関すること】《保護者・市民》	81
VII	調査票.....	109

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、裾野市教育振興基本計画を策定するにあたり、計画策定に必要なニーズ等を把握し、今後の教育施策策定のための基礎資料を得ることを目的として、実施したものです。

2 調査対象

【児童・生徒】小学校5年生（430人）、中学校2年生（432人）

【保護者】就学前の児童（年長児）を持つ保護者（329人）

小学校5年生を持つ保護者（430人）

中学校2年生を持つ保護者（432人）

【市民】裾野市在住の18歳以上の市民（800人）

3 調査期間

【児童・生徒】令和6年9月3日～令和6年10月4日

【保護者】令和6年9月3日～令和6年10月4日

【市民】令和6年10月17日～令和6年11月11日

4 調査方法

【児童・生徒】施設配布・施設回収及びWEBによる回答

【保護者】施設配布・施設回収及びWEBによる回答

【市民】郵送配付・郵送回収及びWEBによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
児童・生徒	862通	596通	69.1%
小学校5年生	430通	327通	76.0%
中学校2年生	432通	269通	62.3%
保護者	1,192通	708通	59.4%
年長児保護者	329通	223通	67.8%
小学生保護者	430通	274通	63.7%
中学生保護者	432通	211通	48.8%
市民	800通	324通	40.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査の結果

【裾野市教育振興基本計画に関すること】

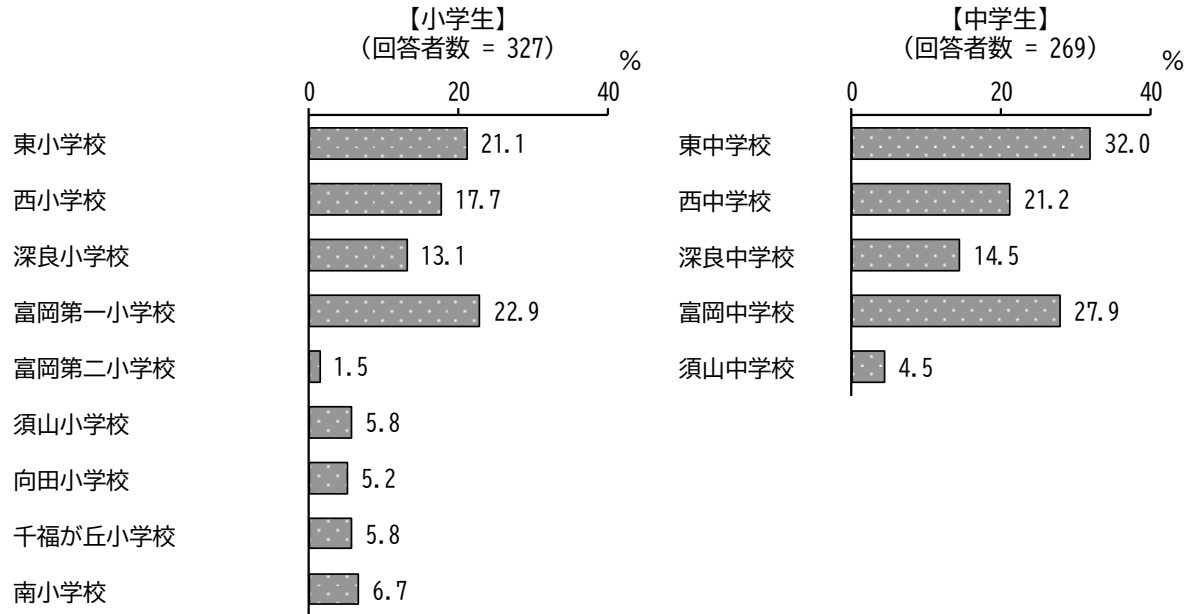
≪児童・生徒≫

Ⅱ 調査の結果【裾野市教育振興基本計画に関すること】《児童・生徒》

1 属性

(1) 通っている学校

【問1】 通っている学校はどちらですか。



【小学生】

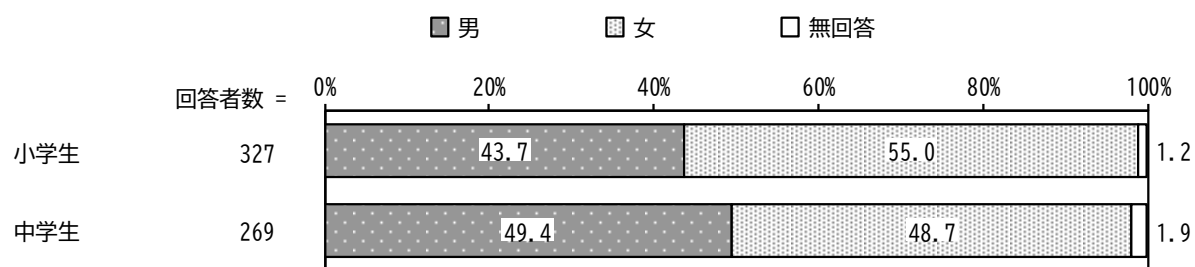
「富岡第一小学校」の割合が22.9%と最も高く、次いで「東小学校」の割合が21.1%、「西小学校」の割合が17.7%となっている。

【中学生】

「東中学校」の割合が32.0%と最も高く、次いで「富岡中学校」の割合が27.9%、「西中学校」の割合が21.2%となっている。

(2) 性別

【問2】 あなたの性別はどちらですか。



【小学生】

「男」の割合が43.7%、「女」の割合が55.0%となっている。

【中学生】

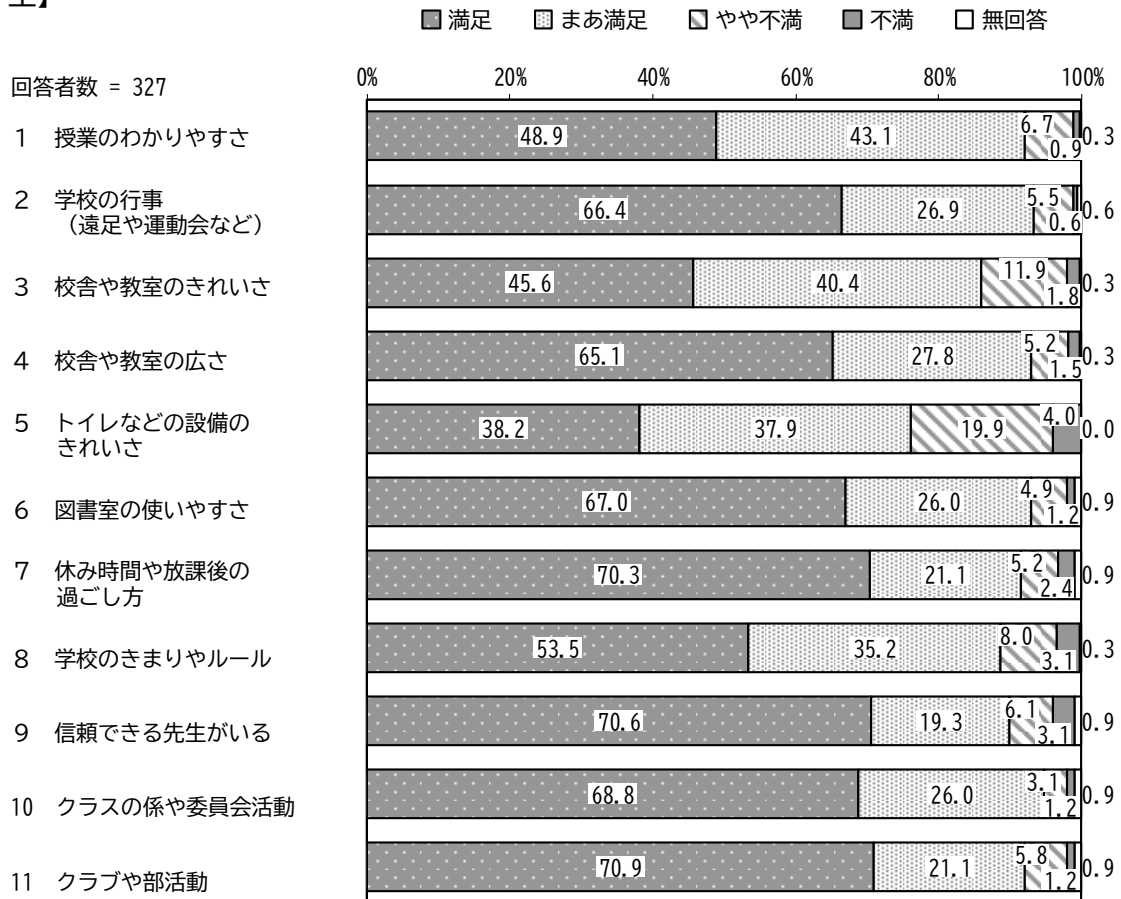
「男」の割合が49.4%、「女」の割合が48.7%となっている。

2 学校生活について

(1) 学校生活における満足状況

【問3】 あなたは、学校生活に関する次のようなことに、どれくらい満足していますか。(それぞれ単数回答)

【小学生】

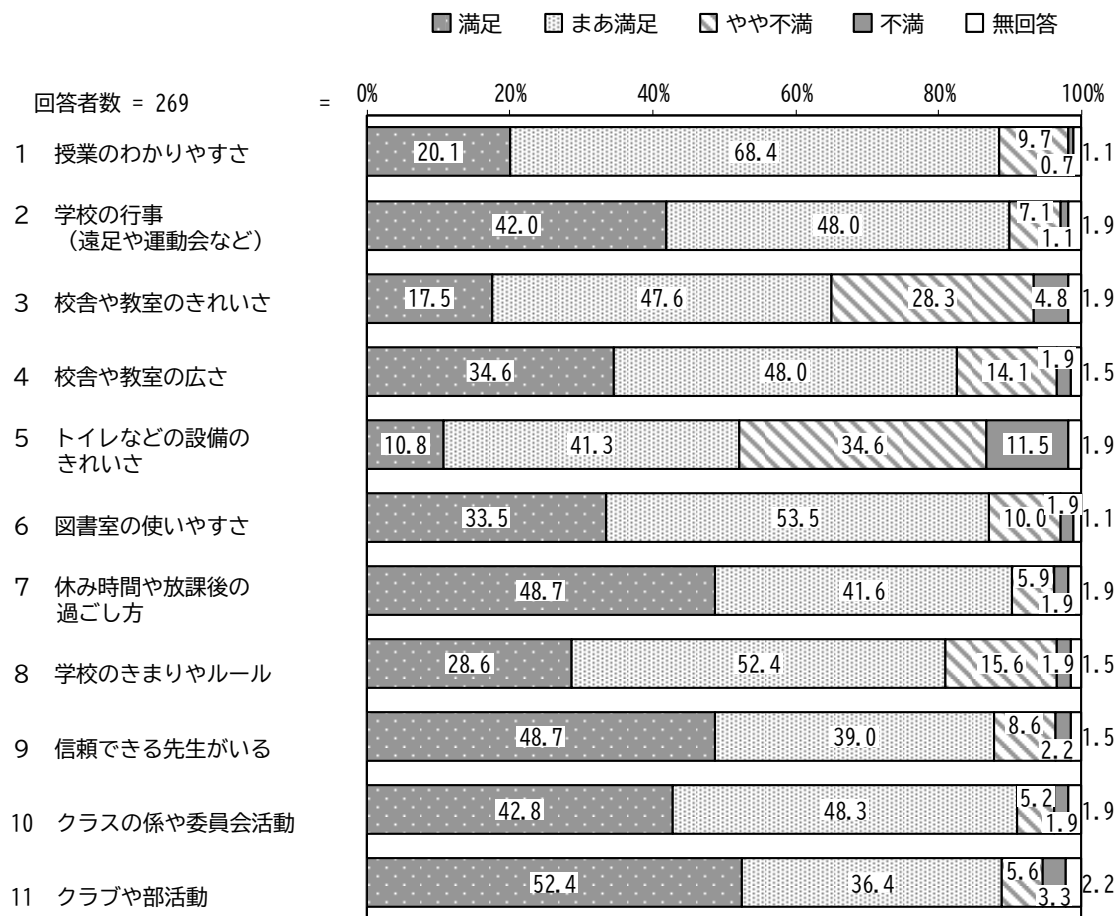


【小学生】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が最も多いのは、《10 クラスの係や委員会活動》(94.8%)で、《2 学校の行事(遠足や運動会など)》(93.3%)、《6 図書室の使いやすさ》(93.0%)が続いている。

一方で、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が最も多いのは《5 トイレなどの設備のきれいさ》(23.9%)で、《3 校舎や教室のきれいさ》(13.7%)、《8 学校のきまりやルール》(11.1%)が続いている。

【中学生】



【中学生】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が最も多いのは、《10 クラスの係や委員会活動》(91.1%)で、《7 休み時間や放課後の過ごし方》(90.3%)、《2 学校の行事(遠足や運動会など)》(90.0%)が続いている。

一方で、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が最も多いのは《5 トイレなどの設備のきれいさ》(46.1%)で、《3 校舎や教室のきれいさ》(33.1%)、《8 学校のきまりやルール》(17.5%)が続いている。

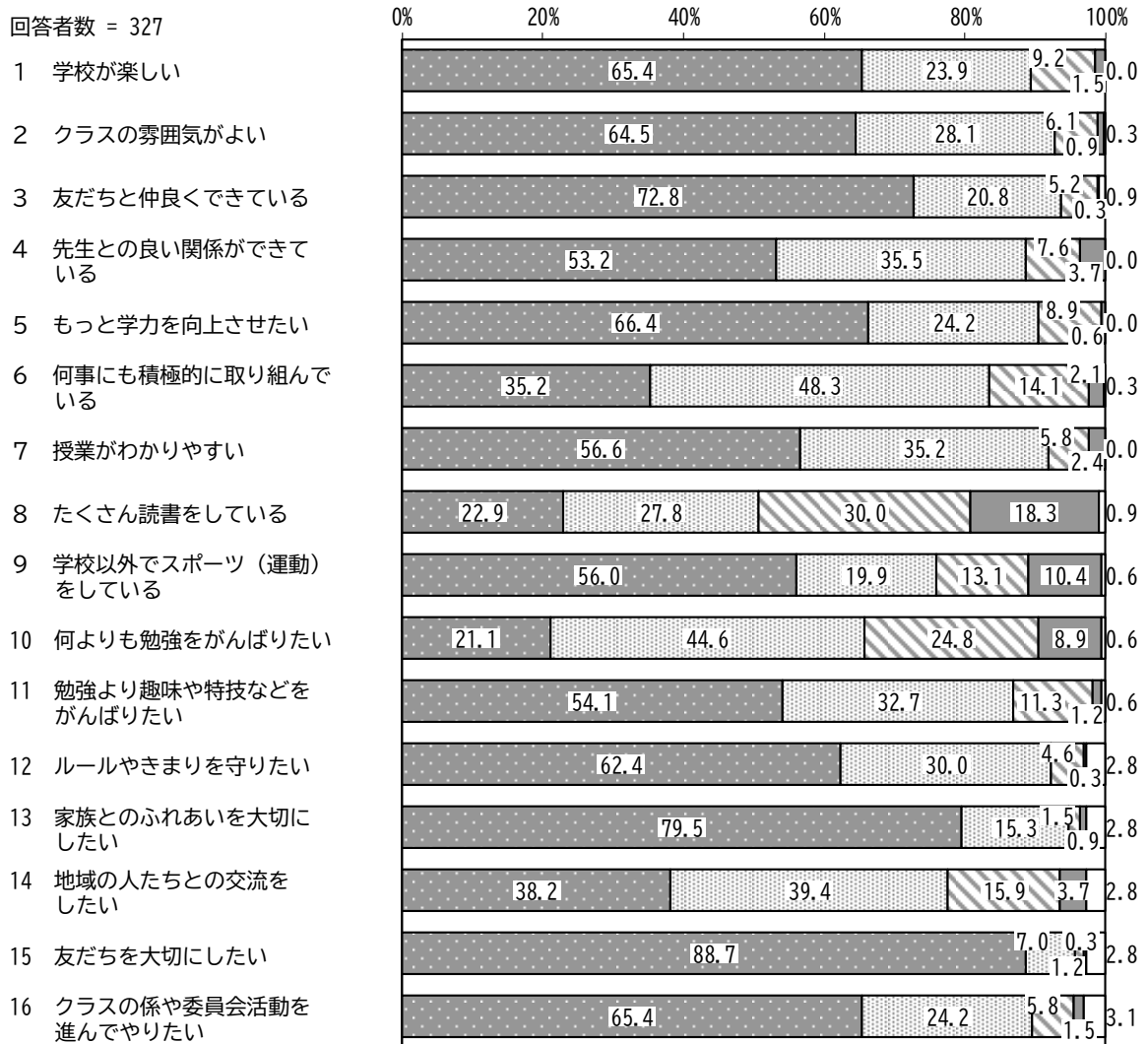
(2) 感じていること

【問4】 あなたは、次のことについて、どのように感じていますか。
(それぞれ単数回答)

【小学生】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

回答者数 = 327

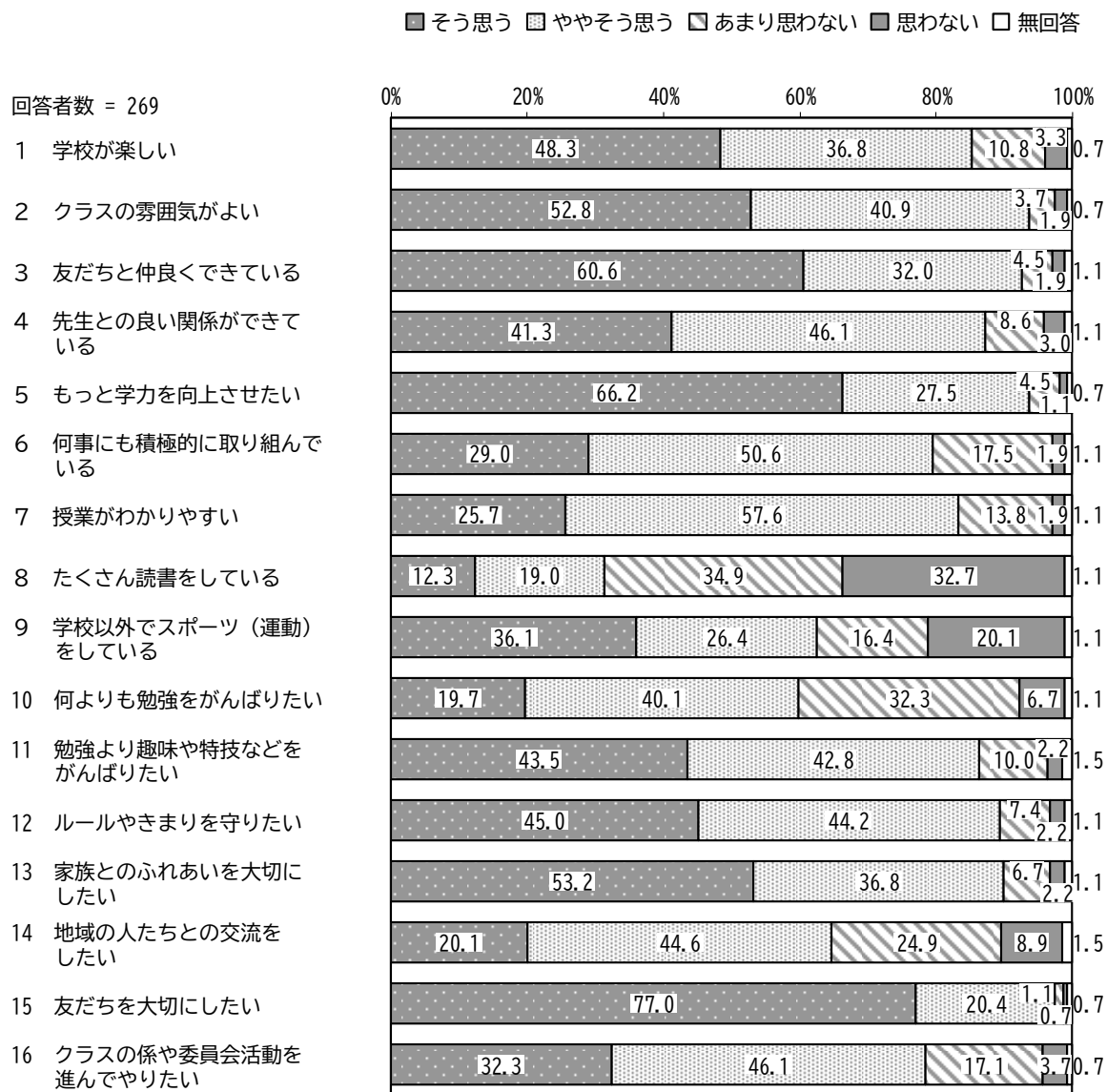


【小学生】

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』が最も多いのは《15 友だちを大切にしたい》(95.7%)で、《13 家族とのふれあいを大切にしたい》(94.8%)、《3 友だちと仲良くできている》(93.6%)が続いている。

一方で、「思わない」と「あまり思わない」を合わせた『思わない』が最も多いのは《8 たくさん読書をしている》(48.3%)で、《10 何よりも勉強をがんばりたい》(33.7%)、《9 学校以外でスポーツ（運動）をしている》(23.5%)が続いている。

【中学生】



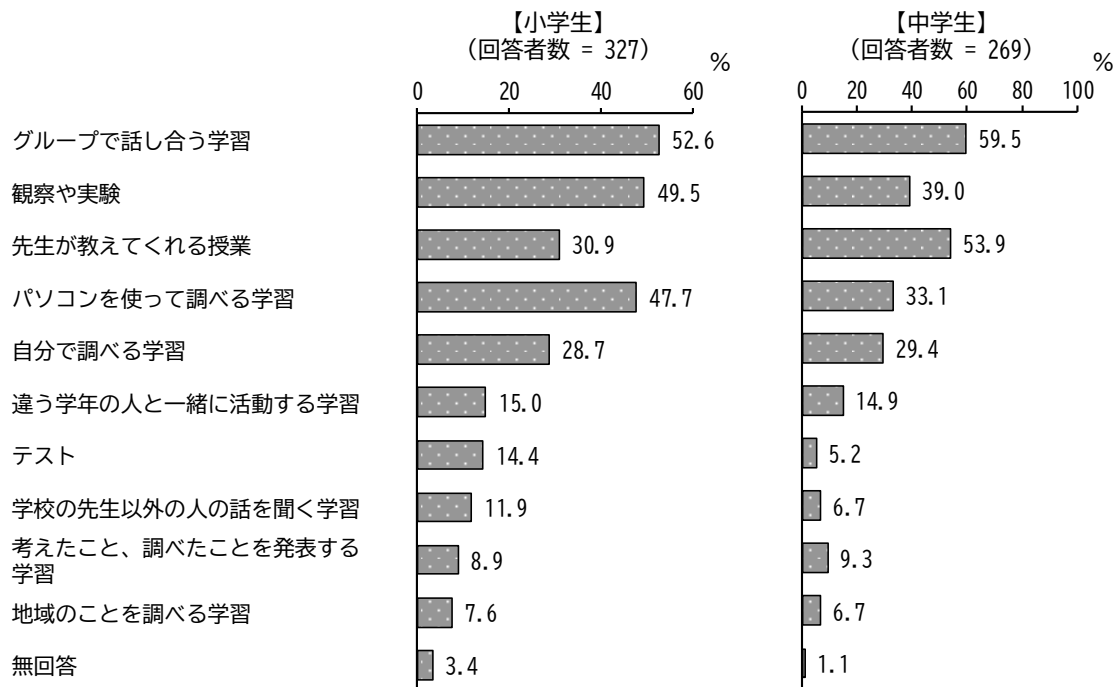
【中学生】

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』が最も多いのは≪15 友だちを大切にしたい≫（97.4%）で、≪5 もっと学力を向上させたい≫（93.7%）、≪2 クラスの雰囲気がよい≫（93.7%）が続いている。

一方で、「思わない」と「あまり思わない」を合わせた『思わない』が最も多いのは≪8 たくさん読書をしている≫（67.6%）で、≪10 何よりも勉強をがんばりたい≫（39.0%）、≪9 学校以外でスポーツ（運動）をしている≫（36.5%）が続いている。

(3) 好きな授業、学習

【問5】 あなたはどのような授業、学習が好きですか。
(3つまで○をつけてください)



【小学生】

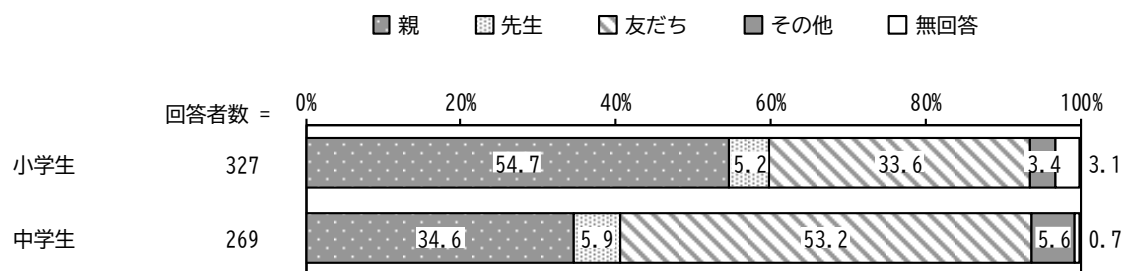
「グループで話し合う学習」の割合が52.6%と最も高く、次いで「観察や実験」の割合が49.5%、「パソコンを使って調べる学習」の割合が47.7%となっている。

【中学生】

「グループで話し合う学習」の割合が59.5%と最も高く、次いで「先生が教えてくれる授業」の割合が53.9%、「観察や実験」の割合が39.0%となっている。

(4) 悩み事や困ったことをまず相談する相手

【問6】 あなたは悩み事や困ったことがある場合まず誰に相談しますか。



【小学生】

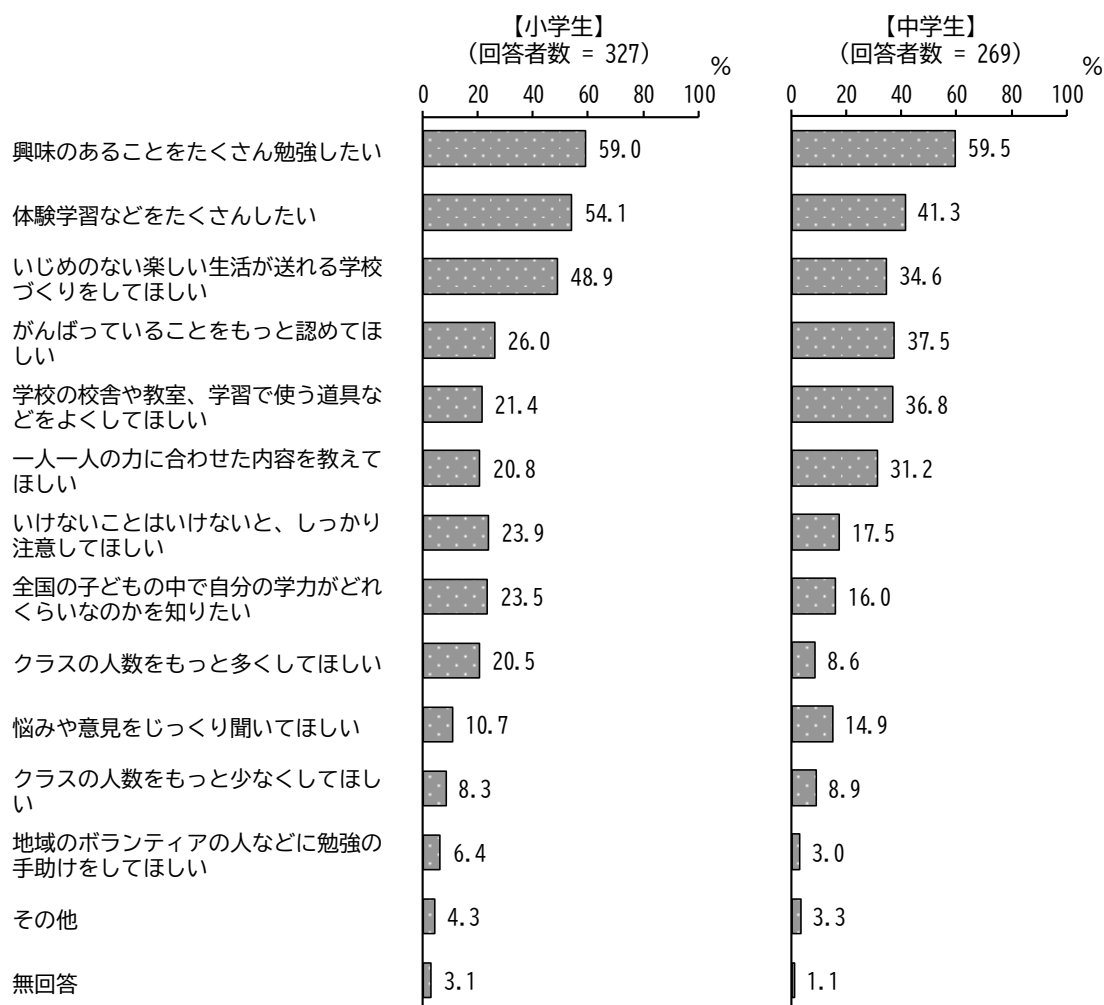
「親」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 33.6%となっている。

【中学生】

「友だち」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「親」の割合が 34.6%となっている。

(5) 学校や先生に望むこと

【問7】 学校や先生に、どのようなことを望みますか。
(4つまで○をつけてください)



【小学生】

「興味のあることをたくさん勉強したい」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「体験学習などをたくさんしたい」の割合が 54.1%、「いじめのない楽しい生活が送れる学校づくりをしてほしい」の割合が 48.9%となっている。

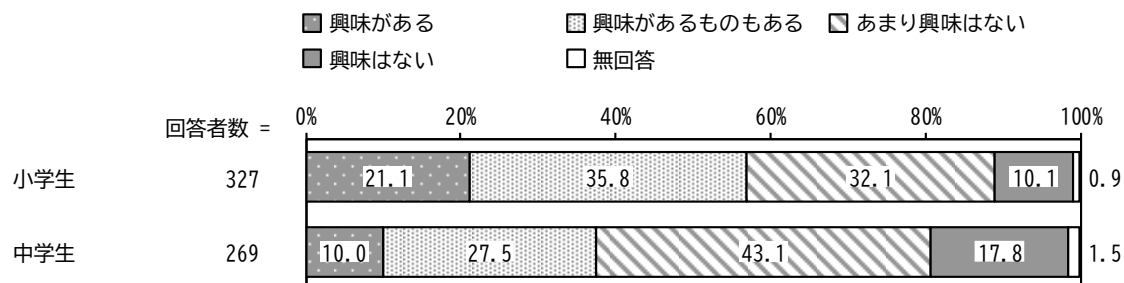
【中学生】

「興味のあることをたくさん勉強したい」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「体験学習などをたくさんしたい」の割合が 41.3%、「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が 37.5%となっている。

3 地域の歴史や文化について

(1) 地域の歴史や文化についての興味

【問8】 あなたは地域の歴史や文化に興味がありますか。



【小学生】

「興味があるものもある」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「あまり興味はない」の割合が 32.1%、「興味がある」の割合が 21.1%となっている。

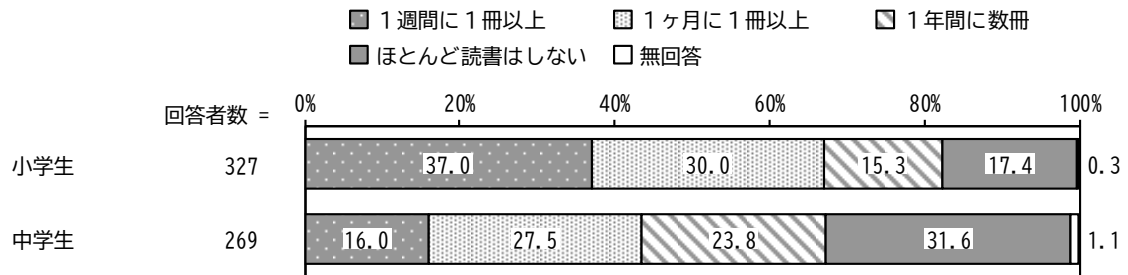
【中学生】

「あまり興味はない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「興味があるものもある」の割合が 27.5%、「興味はない」の割合が 17.8%となっている。

4 読書について

(1) 読書をする頻度

【問9】 あなたはどのくらい読書をしていますか。(電子書籍を含みます)



【小学生】

「1週間に1冊以上」の割合が37.0%と最も高く、次いで「1ヶ月に1冊以上」の割合が30.0%、「ほとんど読書はしない」の割合が17.4%となっている。

【中学生】

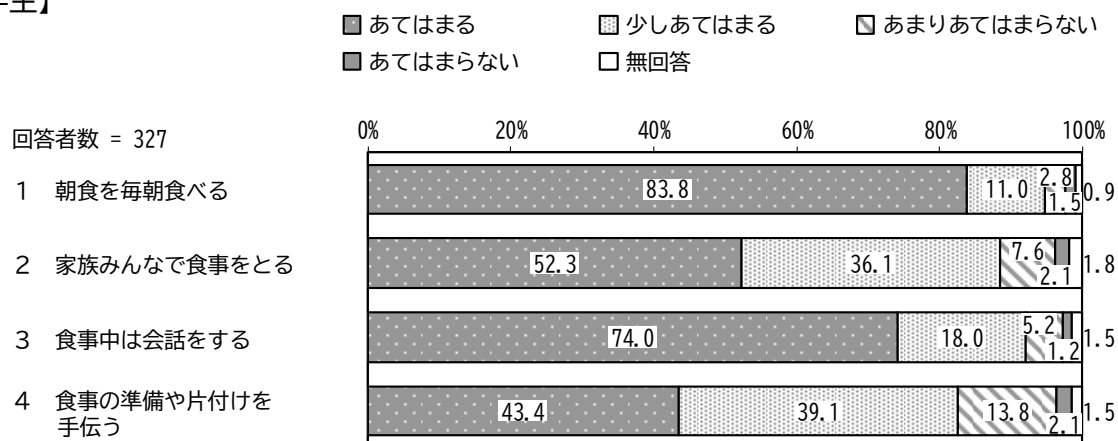
「ほとんど読書はしない」の割合が31.6%と最も高く、次いで「1ヶ月に1冊以上」の割合が27.5%、「1年間に数冊」の割合が23.8%となっている。

5 食に関することについて

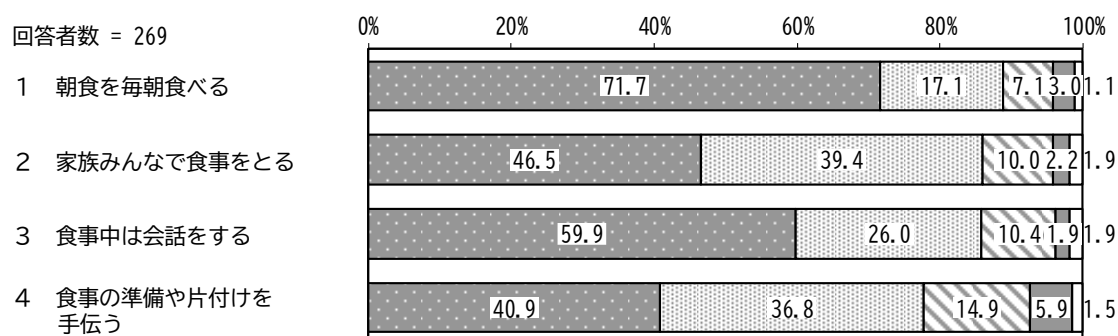
(1) 食に関すること

【問 10】 家庭での食事について、次のことはあてはまりますか。
(それぞれ単数回答)

【小学生】



【中学生】



【小学生】

「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは≪1 朝食を毎朝食べる≫(94.8%)で、≪3 食事中は会話をする≫(92.0%)、≪2 家族みんなで食事をする≫(88.4%)が続いている。

【中学生】

「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは≪1 朝食を毎朝食べる≫(88.8%)で、≪2 家族みんなで食事をする≫(85.9%)、≪3 食事中は会話をする≫(85.9%)が同率が続いている。

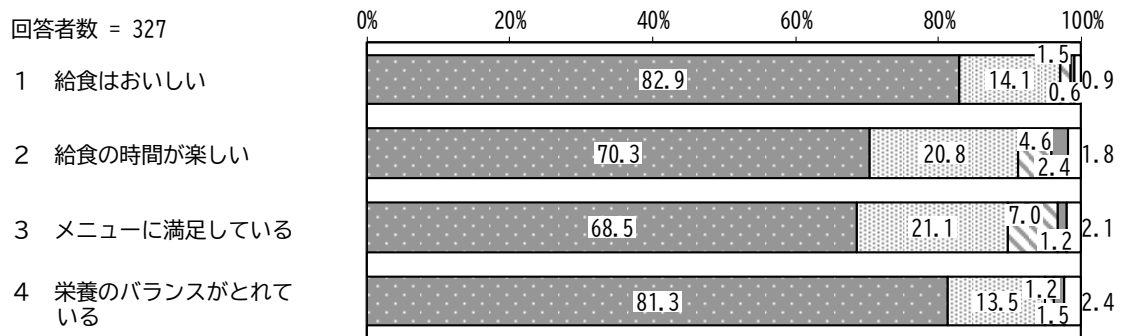
(2) 給食について

【問 11】 給食について、次のことはあてはまりますか。
(それぞれ単数回答)

【小学生】

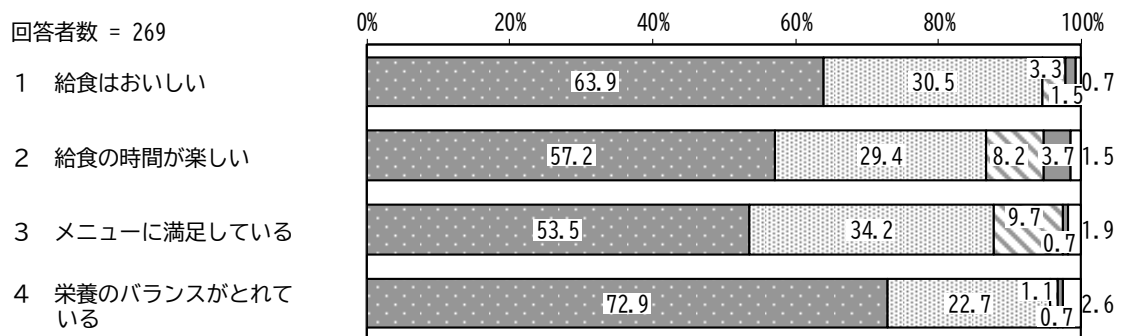
■ そう思う □ 少しそう思う ▨ そう思わない ■ 思わない □ 無回答

回答者数 = 327



【中学生】

回答者数 = 269



【小学生】

「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは《1 給食はおいしい》(97.0%)で、《4 栄養のバランスがとれている》(94.8%)、《2 給食の時間が楽しい》(91.1%)が続いている。

【中学生】

「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは《4 栄養のバランスがとれている》(95.6%)で、《1 給食はおいしい》(94.4%)、《3 メニューに満足している》(87.7%)が続いている。

Ⅲ 調査の結果

【裾野市教育振興基本計画に関すること】

≪保護者≫

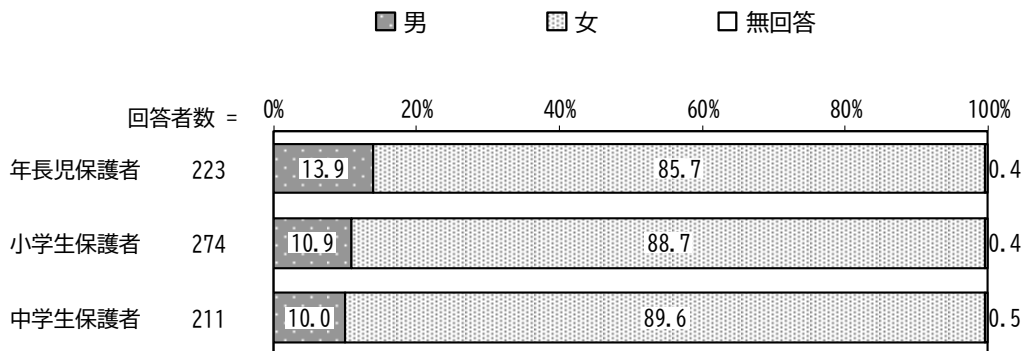
Ⅲ 調査の結果【裾野市教育振興基本計画に関すること】《保護者》

1 属性

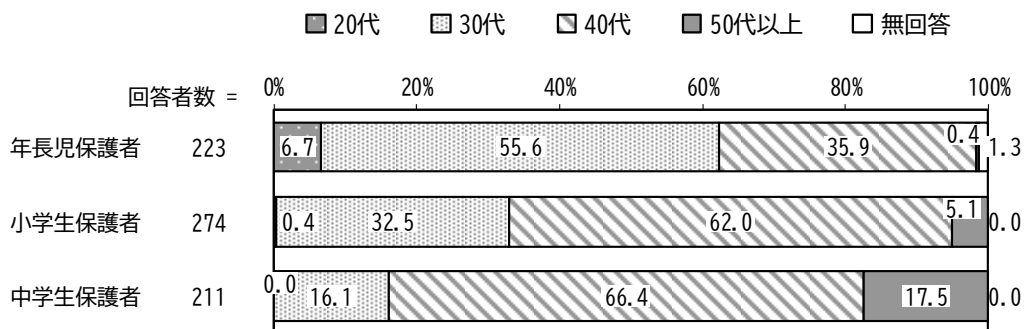
(1) 性別・年代

【問1】 このアンケートにお答えいただく保護者ご自身についてお答えください。

①性別



②年齢



【年長児保護者】

性別は、「男」の割合が13.9%、「女」の割合が85.7%となっている。

年齢は、「30代」の割合が55.6%と最も高く、次いで「40代」の割合が35.9%となっている。

【小学生保護者】

性別は、「男」の割合が10.9%、「女」の割合が88.7%となっている。

年齢は、「40代」の割合が62.0%と最も高く、次いで「30代」の割合が32.5%となっている。

【中学生保護者】

性別は、「男」の割合が10.0%、「女」の割合が89.6%となっている。

年齢は、「40代」の割合が66.4%と最も高く、次いで「50代以上」の割合が17.5%、「30代」の割合が16.1%となっている。

※年長児保護者はお子さんが通学予定の小学校、小学生保護者はお子さんが通学中の小学校、中学生保護者はお子さんの出身の小学校・通学中の中学校について回答



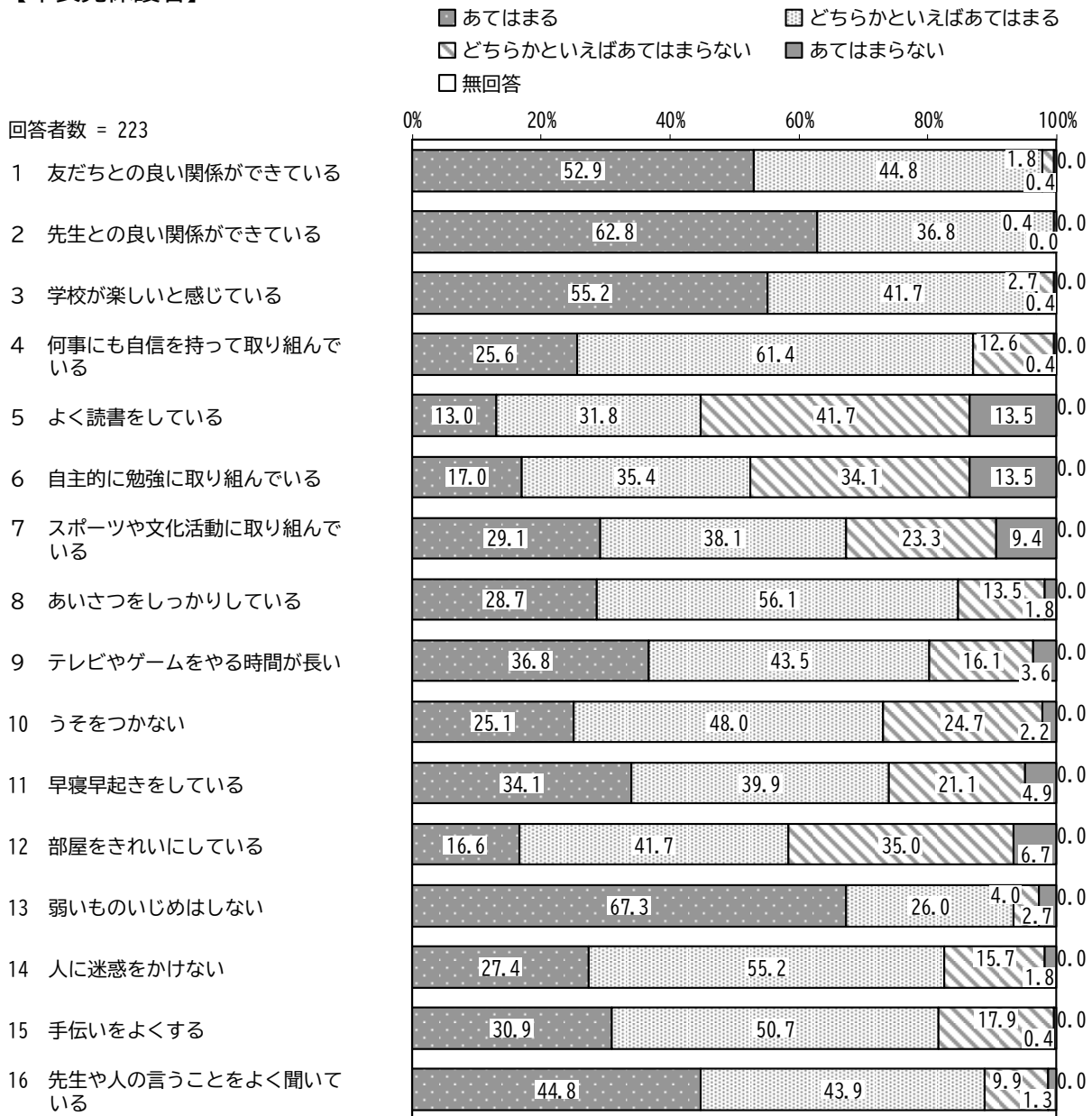
2 お子さんについて

(1) お子さんの普段の様子

【問1】 お子さんの普段の様子について、次のことはどの程度あてはまりますか。
(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

回答者数 = 223



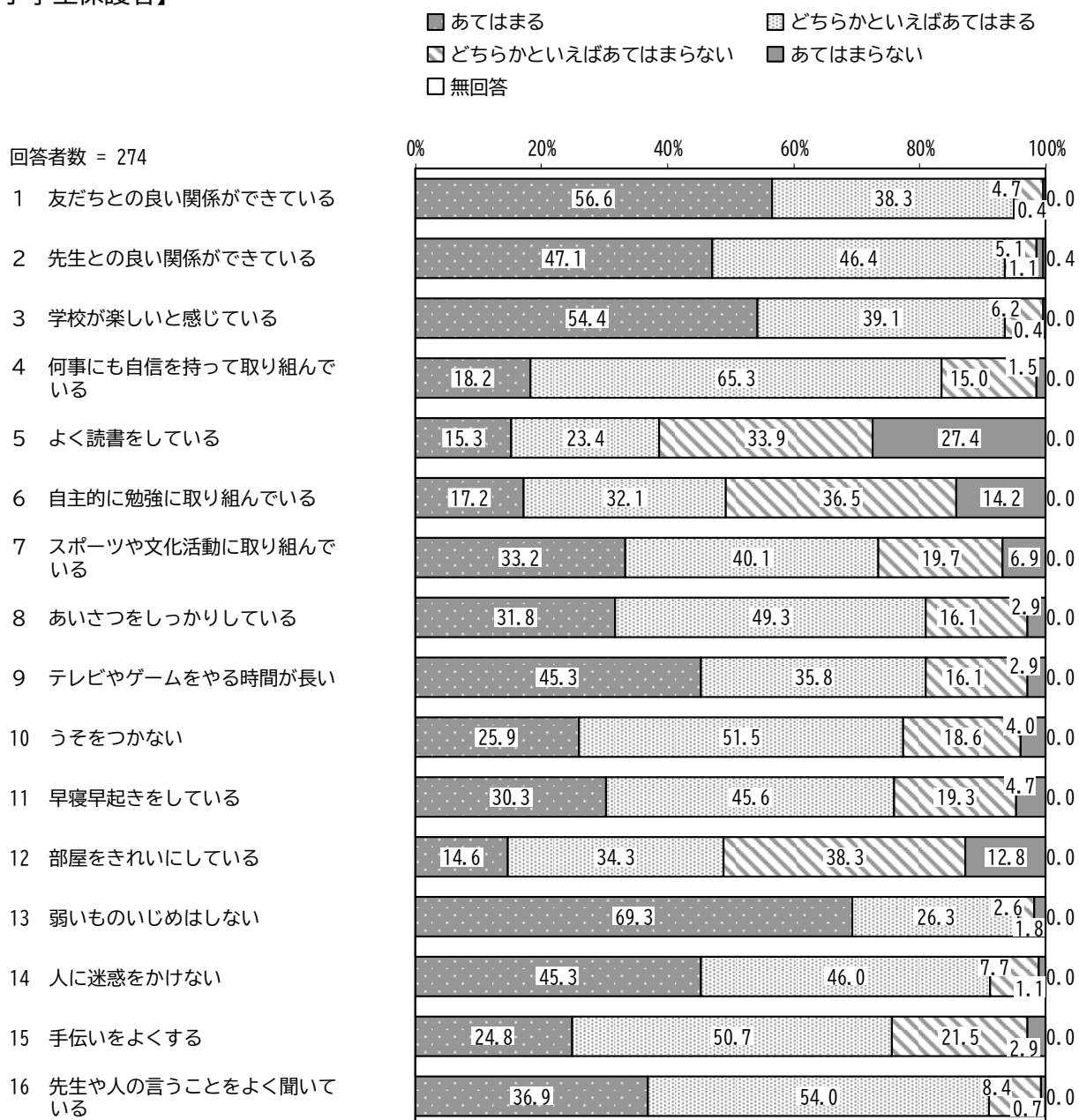
【年長児保護者】

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは
《2 先生との良い関係ができています》(99.6%)で、《1 友だちとの良い関係ができています》
(97.7%)、《3 学校が楽しいと感じています》(96.9%)が続いている。

一方で、「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』
が最も多いのは《5 よく読書をしている》(55.2%)で、《6 自主的に勉強に取り組ん
でいる》(47.6%)、《12 部屋をきれいにしている》(41.7%)が続いている。

【小学生保護者】

回答者数 = 274

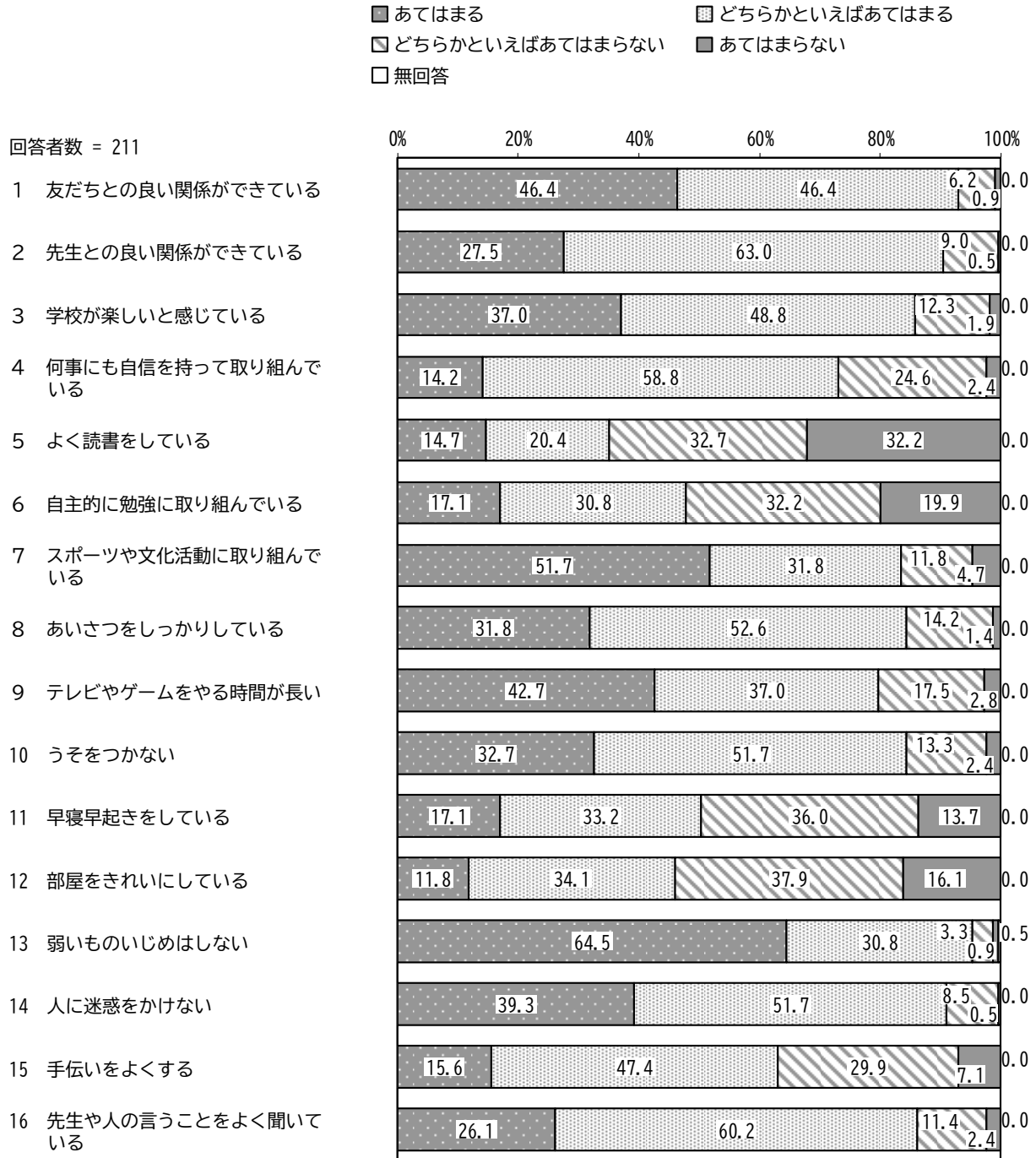


【小学生保護者】

「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは「13 弱いもののいじめはしない」(95.6%)で、「1 友だちとの良い関係ができています」(94.9%)、「2 先生との良い関係ができています」(93.5%)、「3 学校が楽しいと感じています」(93.5%)が続いている。

一方で、「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が最も多いのは、「5 よく読書をしている」(61.3%)で、「12 部屋をきれいにしている」(51.1%)、「6 自主的に勉強に取り組んでいる」(50.7%)が続いている。

【中学生保護者】



【中学生保護者】

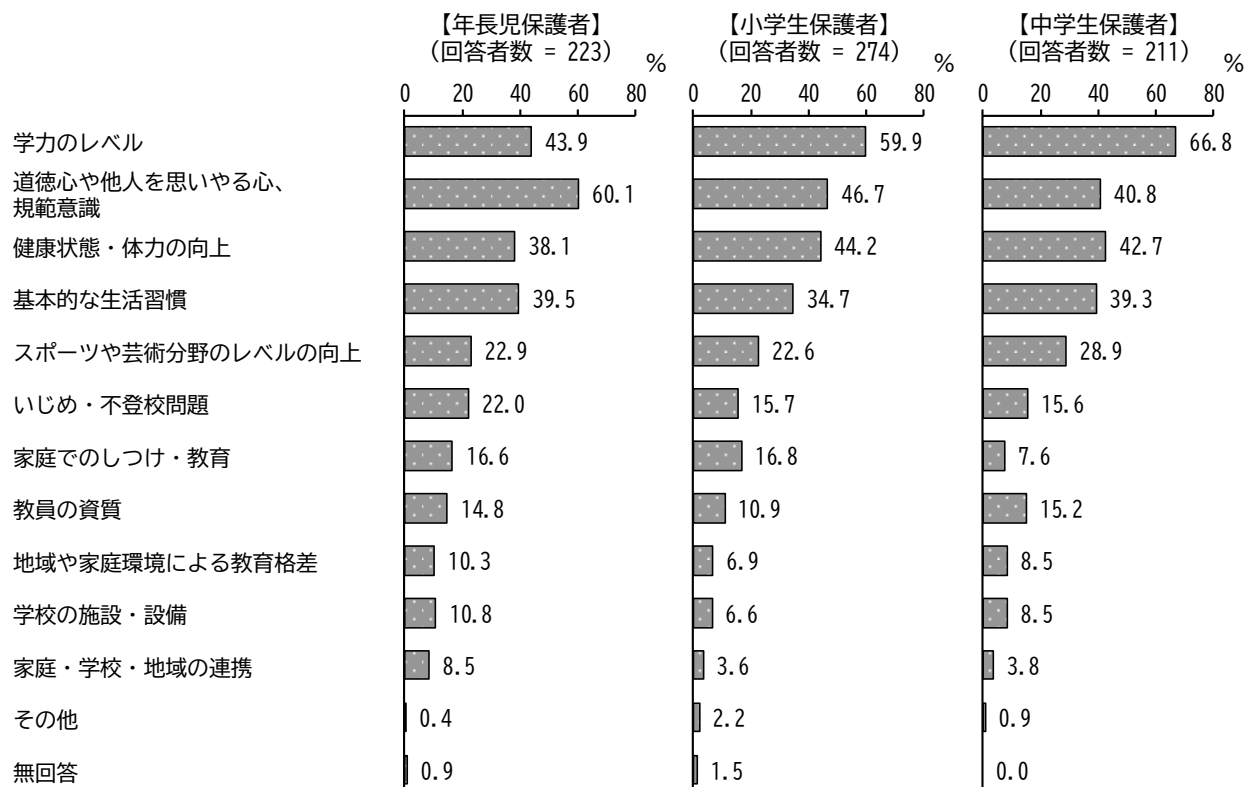
「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』が最も多いのは《13 弱いもののいじめはしない》(95.3%)で、《1 友だちとの良い関係ができています》(93.5%)、《14 人に迷惑をかけない》(91.0%)が続いている。

一方で、「あてはまらない」と「どちらかといえばあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が最も多いのは、《5 よく読書をしている》(64.9%)で、《12 部屋をきれいにしています》(54.0%)、《6 自主的に勉強に取り組んでいる》(52.1%)が続いている。

3 子どもの教育について

(1) 教育についての関心事

【問2】 現在、子どもの教育について関心があることはなんですか。(3つまで○)



【年長児保護者】

「道徳心や他人を思いやる心、規範意識」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「学力のレベル」の割合が 43.9%、「基本的な生活習慣」の割合が 39.5%となっている。

【小学生保護者】

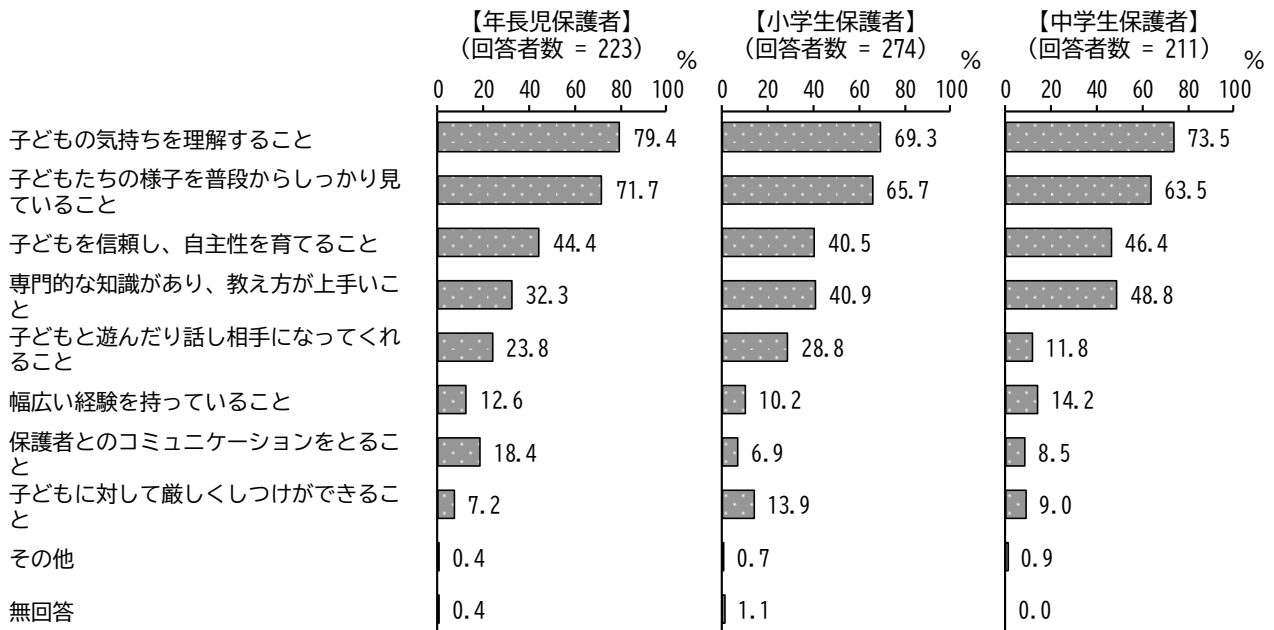
「学力のレベル」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「道徳心や他人を思いやる心、規範意識」の割合が 46.7%、「健康状態・体力の向上」の割合が 44.2%となっている。

【中学生保護者】

「学力のレベル」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「健康状態・体力の向上」の割合が 42.7%、「道徳心や他人を思いやる心、規範意識」の割合が 40.8%となっている。

(2) 教師に期待すること

【問3】 学校の教師にどのようなことを期待しますか。(3つまで○)



【年長児保護者】

「子どもの気持ちを理解すること」の割合が79.4%と最も高く、次いで「子どもたちの様子を普段からしっかり見ていること」の割合が71.7%、「子どもを信頼し、自主性を育てること」の割合が44.4%となっている。

【小学生保護者】

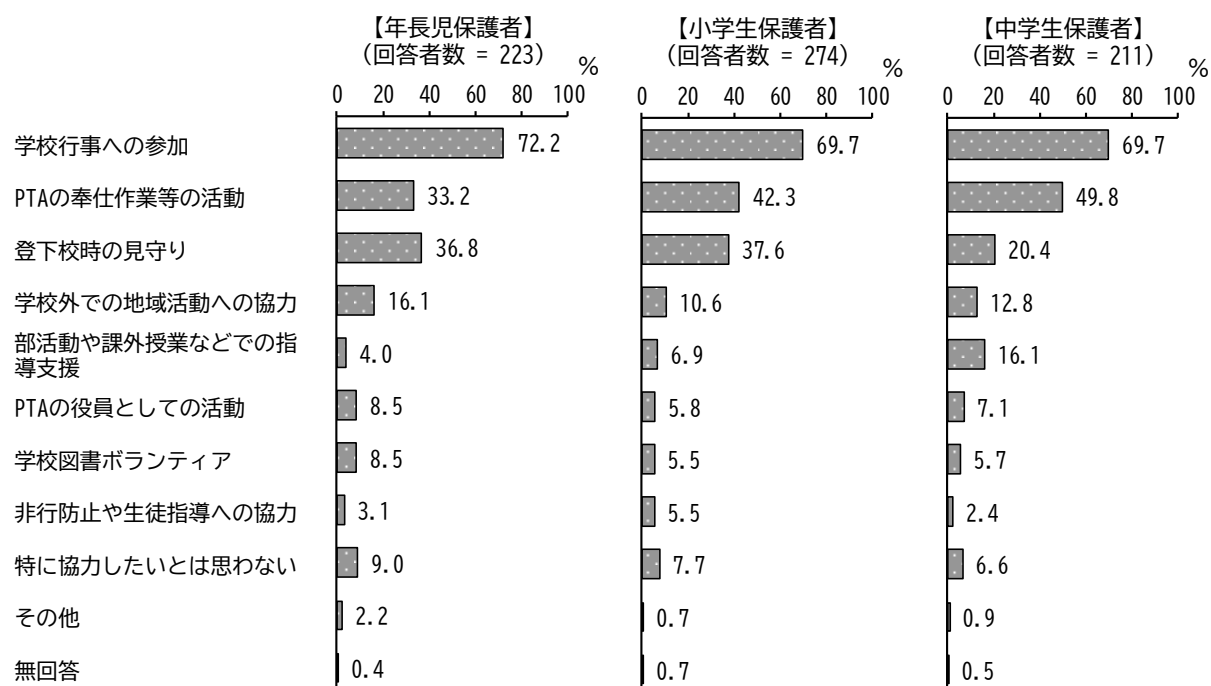
「子どもの気持ちを理解すること」の割合が69.3%と最も高く、次いで「子どもたちの様子を普段からしっかり見ていること」の割合が65.7%、「専門的な知識があり、教え方が上手いこと」の割合が40.9%となっている。

【中学生保護者】

「子どもの気持ちを理解すること」の割合が73.5%と最も高く、次いで「子どもたちの様子を普段からしっかり見ていること」の割合が63.5%、「専門的な知識があり、教え方が上手いこと」の割合が48.8%となっている。

(3) 学校と協力したり、参加しても良いと思われるもの

【問4】 お子さんの通学予定の学校と協力したり、参加しても良いと思われるものはありますか。(3つまで○)



【年長児保護者】

「学校行事への参加」の割合が72.2%と最も高く、次いで「登下校時の見守り」の割合が36.8%、「PTA の奉仕作業等の活動」の割合が33.2%となっている。

【小学生保護者】

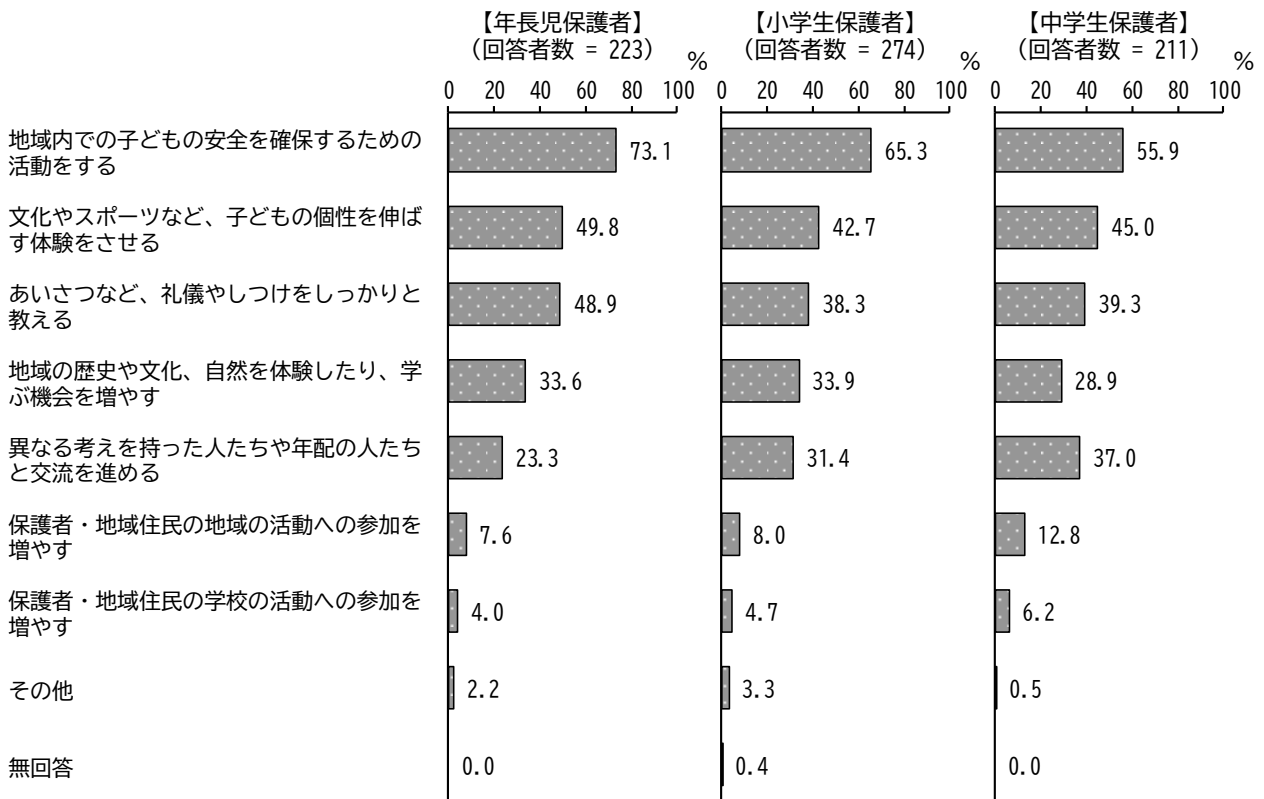
「学校行事への参加」の割合が69.7%と最も高く、次いで「PTA の奉仕作業等の活動」の割合が42.3%、「登下校時の見守り」の割合が37.6%となっている。

【中学生保護者】

「学校行事への参加」の割合が69.7%と最も高く、次いで「PTA の奉仕作業等の活動」の割合が49.8%、「登下校時の見守り」の割合が20.4%となっている。

(4) 子どもを育てるうえで、地域で力を入れるべきこと

【問5】 子どもを育てるうえで、地域で力を入れるべきことはどんなことだと思いますか。(3つまで○)



【年長児保護者】

「地域内での子どもの安全を確保するための活動をする」の割合が73.1%と最も高く、次いで「文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす体験をさせる」の割合が49.8%、「あいさつなど、礼儀やしつけをしっかりと教える」の割合が48.9%となっている。

【小学生保護者】

「地域内での子どもの安全を確保するための活動をする」の割合が65.3%と最も高く、次いで「文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす体験をさせる」の割合が42.7%、「あいさつなど、礼儀やしつけをしっかりと教える」の割合が38.3%となっている。

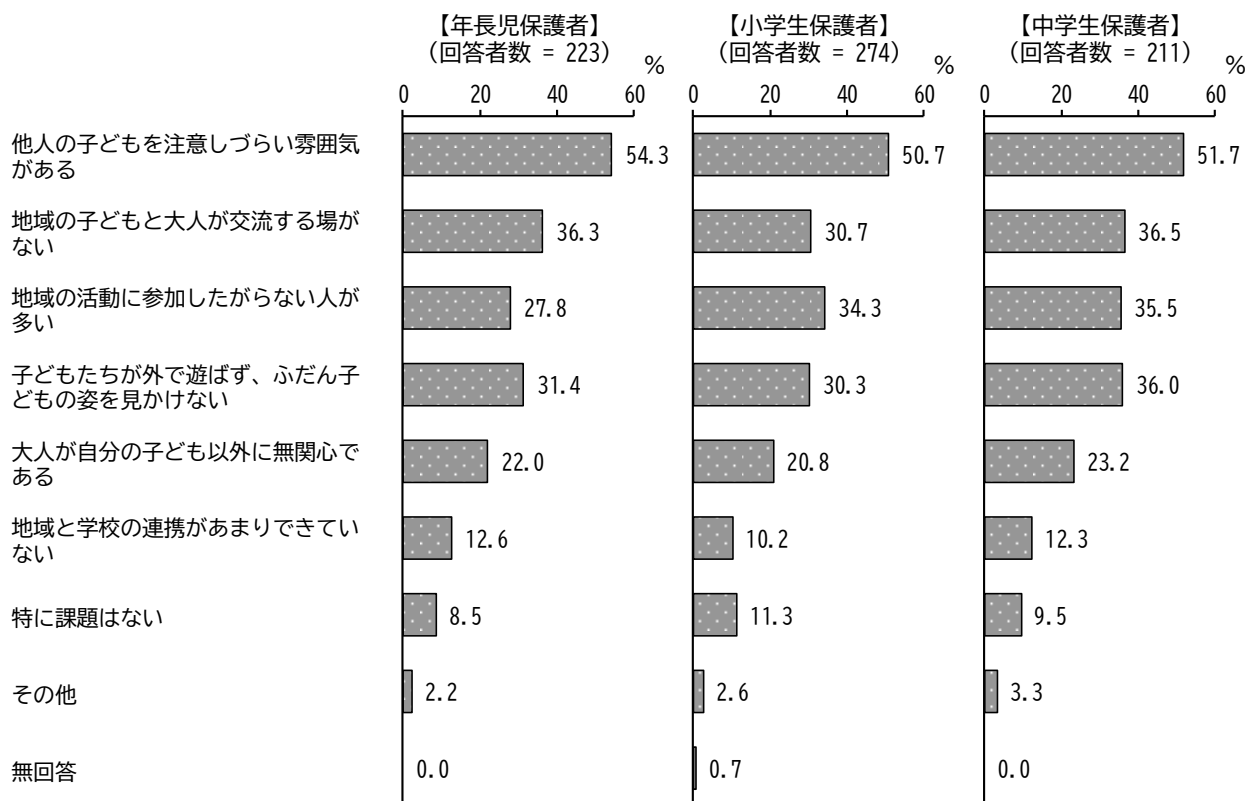
【中学生保護者】

「地域内での子どもの安全を確保するための活動をする」の割合が55.9%と最も高く、次いで「文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす体験をさせる」の割合が45.0%、「あいさつなど、礼儀やしつけをしっかりと教える」の割合が39.3%となっている。

(5) 地域ぐるみの教育についての課題

【問6】 地域ぐるみの教育について、どのような課題があると思いますか。

(3つまで○)



【年長児保護者】

「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「地域の子どもと大人が交流する場がない」の割合が 36.3%、「子どもたちが外で遊ばず、ふだん子どもの姿を見かけない」の割合が 31.4%となっている。

【小学生保護者】

「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「地域の活動に参加したがる人が多い」の割合が 34.3%、「地域の子どもと大人が交流する場がない」の割合が 30.7%となっている。

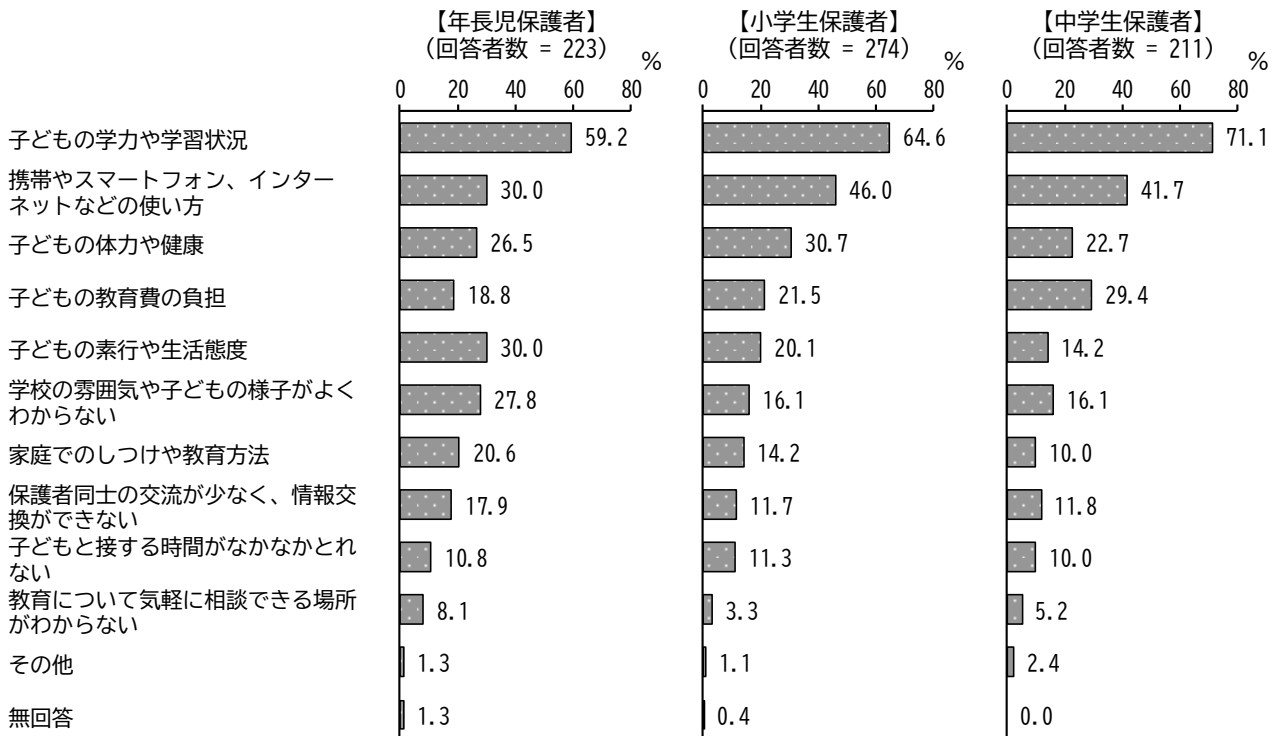
【中学生保護者】

「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「地域の子どもと大人が交流する場がない」の割合が 36.5%、「子どもたちが外で遊ばず、ふだん子どもの姿を見かけない」の割合が 36.0%となっている。

(6) 教育について気になること、心配なこと

【問7】 お子さんの教育について気になること、心配なことはありますか。

(3つまで○)



【年長児保護者】

「子どもの学力や学習状況」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方」、「子どもの素行や生活態度」の割合が 30.0%となっている。

【小学生保護者】

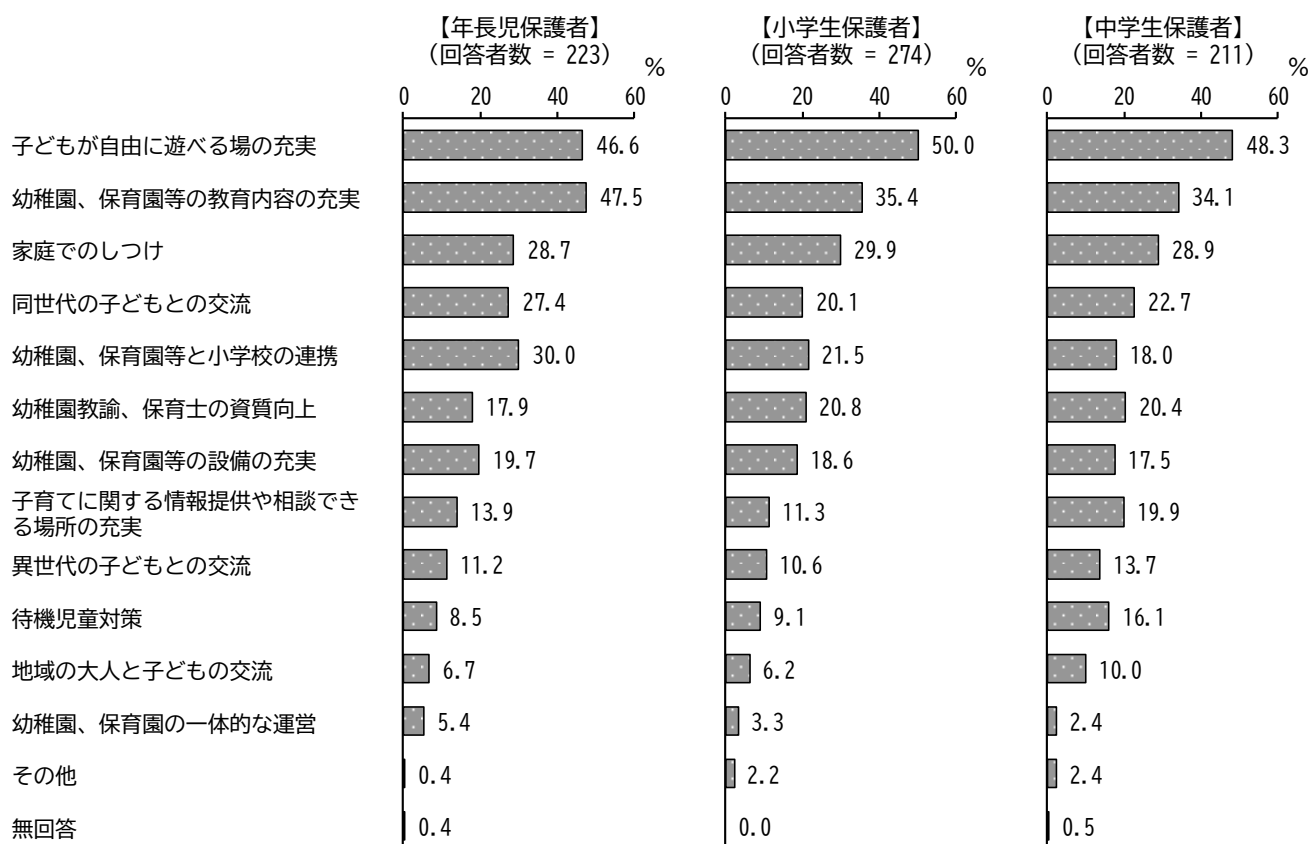
「子どもの学力や学習状況」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方」の割合が 46.0%、「子どもの体力や健康」の割合が 30.7%となっている。

【中学生保護者】

「子どもの学力や学習状況」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方」の割合が 41.7%、「子どもの教育費の負担」の割合が 29.4%となっている。

(7) 就学前教育の充実のために

【問8】 就学前（小学校入学前）教育の充実のために必要なことはなんだと思いますか。（3つまで○）



【年長児保護者】

「幼稚園、保育園等の教育内容の充実」の割合が47.5%と最も高く、次いで「子どもが自由に遊べる場の充実」の割合が46.6%、「幼稚園、保育園等と小学校の連携」の割合が30.0%となっている。

【小学生保護者】

「子どもが自由に遊べる場の充実」の割合が50.0%と最も高く、次いで「幼稚園、保育園等の教育内容の充実」の割合が35.4%、「家庭でのしつけ」の割合が29.9%となっている。

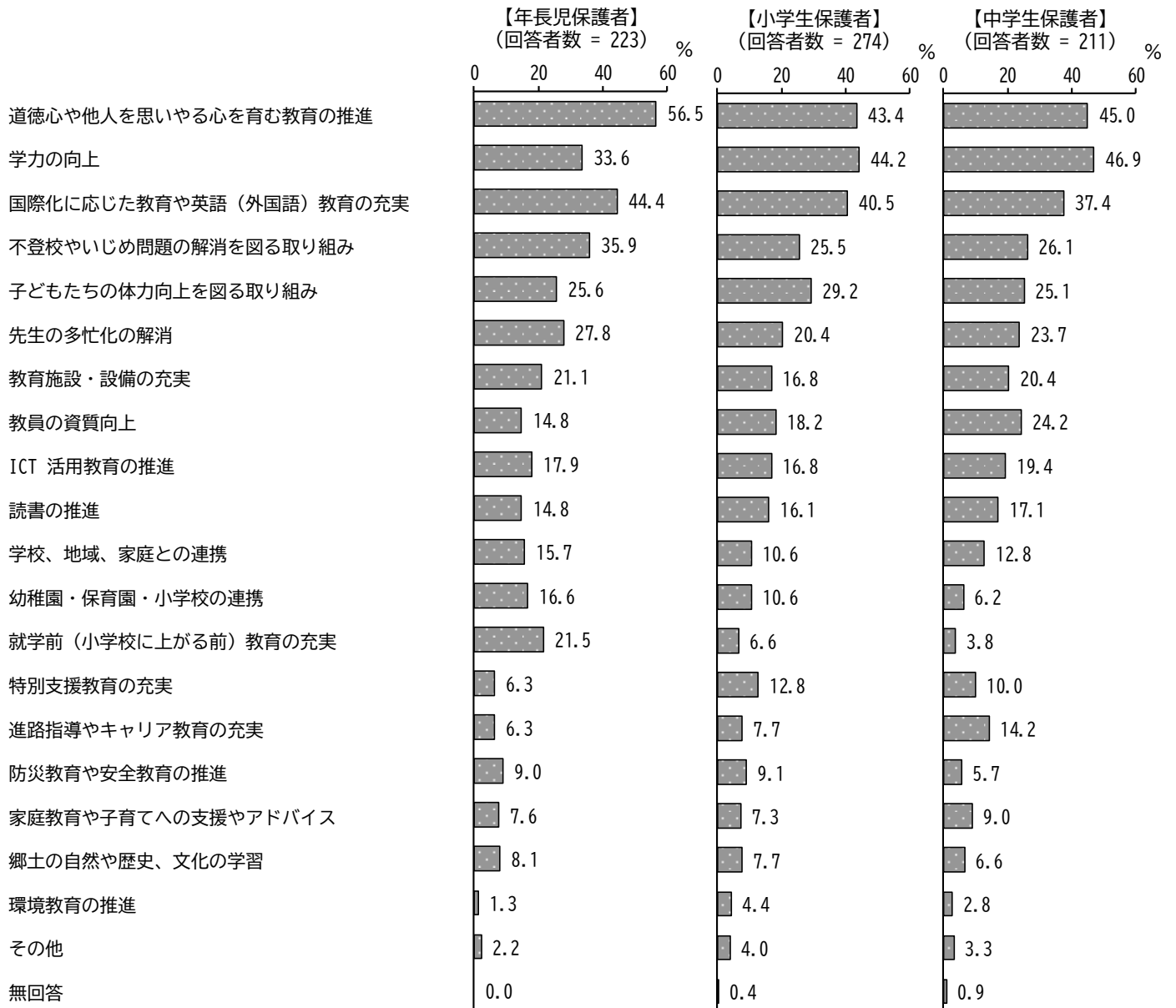
【中学生保護者】

「子どもが自由に遊べる場の充実」の割合が48.3%と最も高く、次いで「幼稚園、保育園等の教育内容の充実」の割合が34.1%、「家庭でのしつけ」の割合が28.9%となっている。

(8) 重要だと思う教育施策

【問9】 裾野市が取り組む教育施策として、いずれの施策が重要だと思いますか。

(5つまで○)



【年長児保護者】

「道徳心や他人を思いやる心を育む教育の推進」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「国際化に応じた教育や英語（外国語）教育の充実」の割合が 44.4%、「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が 35.9%となっている。

【小学生保護者】

「学力の向上」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「道徳心や他人を思いやる心を育む教育の推進」の割合が 43.4%、「国際化に応じた教育や英語（外国語）教育の充実」の割合が 40.5%となっている。

【中学生保護者】

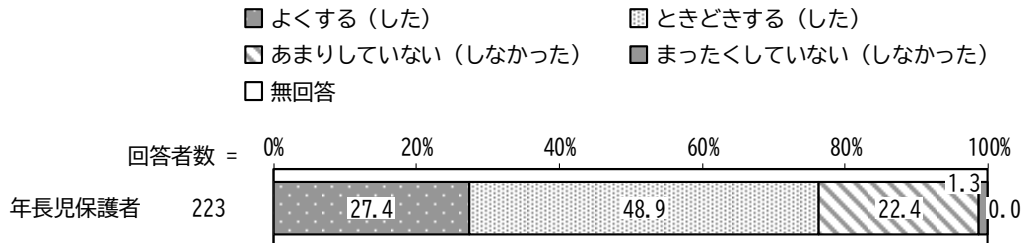
「学力の向上」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「道徳心や他人を思いやる心を育む教育の推進」の割合が 45.0%、「国際化に応じた教育や英語（外国語）教育の充実」の割合が 37.4%となっている。

4 子どもの読書習慣について

(1) 読書習慣

お子さんに読み聞かせをしていますか（していましたか）。

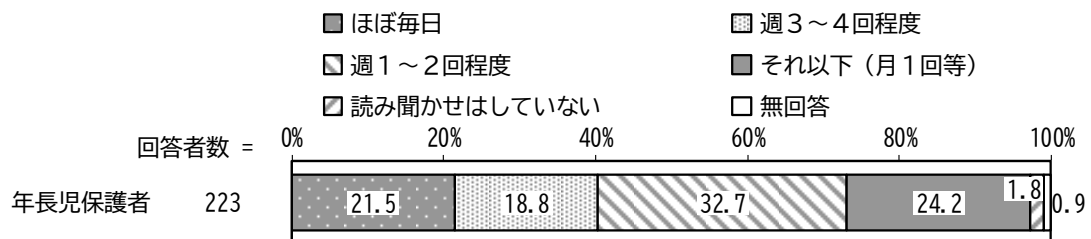
（年長児保護者：問 10）



【年長児保護者】

「ときどきする（した）」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「よくする（した）」の割合が 27.4%、「あまりしていない（しなかった）」の割合が 22.4%となっている。

どのくらいの頻度で読み聞かせをしていますか（していましたか）。（年長児保護者：問 11）

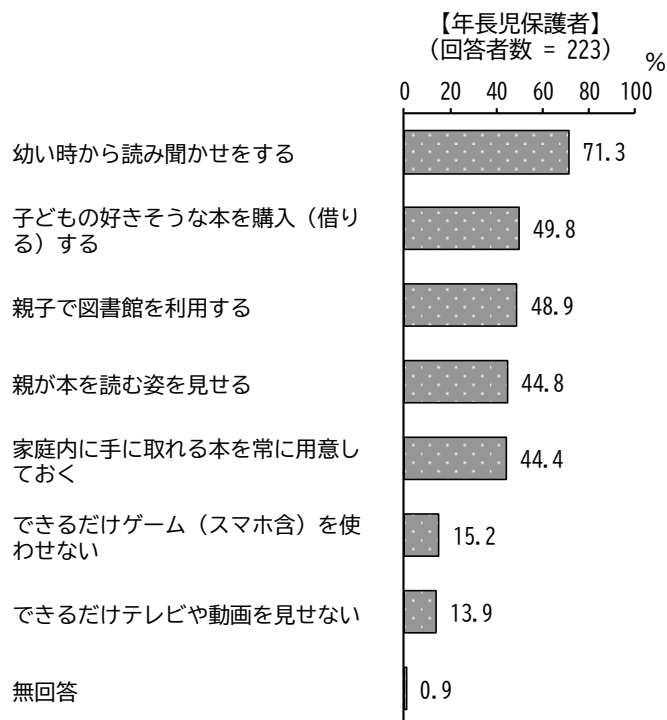


【年長児保護者】

「週1～2回程度」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「それ以下（月1回等）」の割合が 24.2%、「ほぼ毎日」の割合が 21.5%となっている。

子どもが本を読む習慣を身につけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答可)

(年長児保護者：問 12)

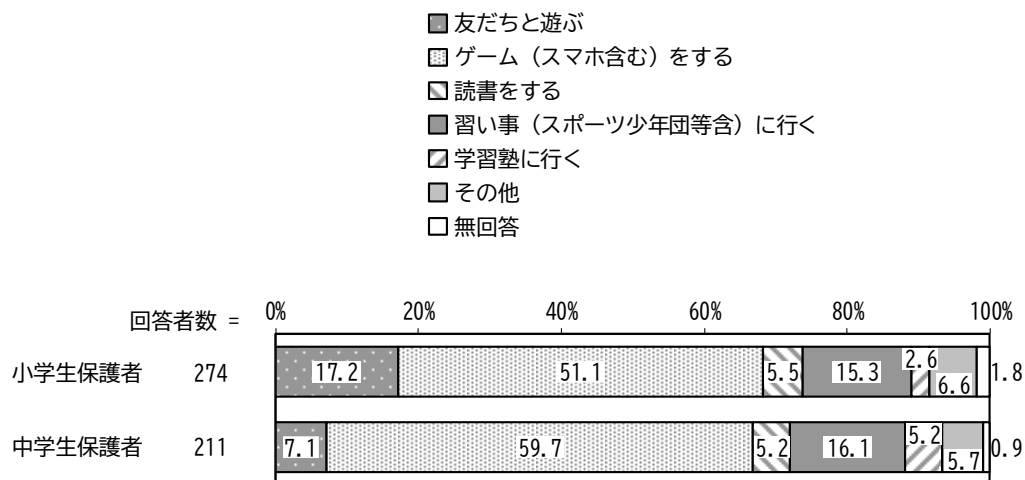


【年長児保護者】

「幼い時から読み聞かせをする」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「子どもの好きそうな本を購入（借りる）する」の割合が 49.8%、「親子で図書館を利用する」の割合が 48.9%となっている。

あなたから見て、お子さんは普段どのようなことをして過ごすことが多いですか。

(小学生保護者、中学生保護者：問 10)



【小学生保護者】

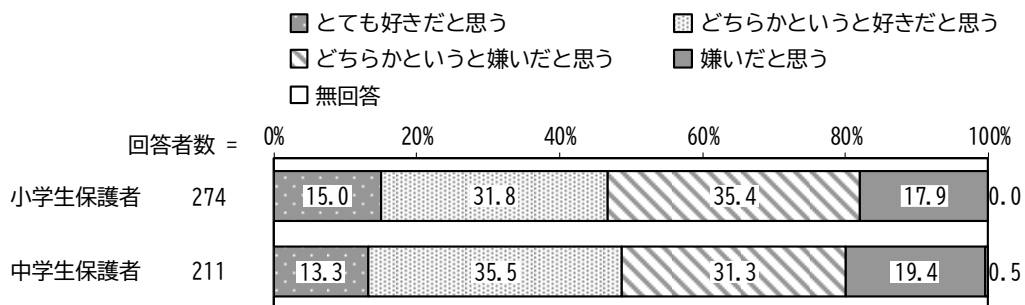
「ゲーム（スマホ含む）をする」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」の割合が 17.2%、「習い事（スポーツ少年団等含）に行く」の割合が 15.3%となっている。

【中学生保護者】

「ゲーム（スマホ含む）をする」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「習い事（スポーツ少年団等含）に行く」の割合が 16.1%となっている。

お子さんは読書が好きだと思いますか。

(小学生保護者、中学生保護者：問 11)



【小学生保護者】

「どちらかという嫌いだと思う」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「どちらかという好きだと思う」の割合が 31.8%、「嫌いだと思う」の割合が 17.9%となっている。

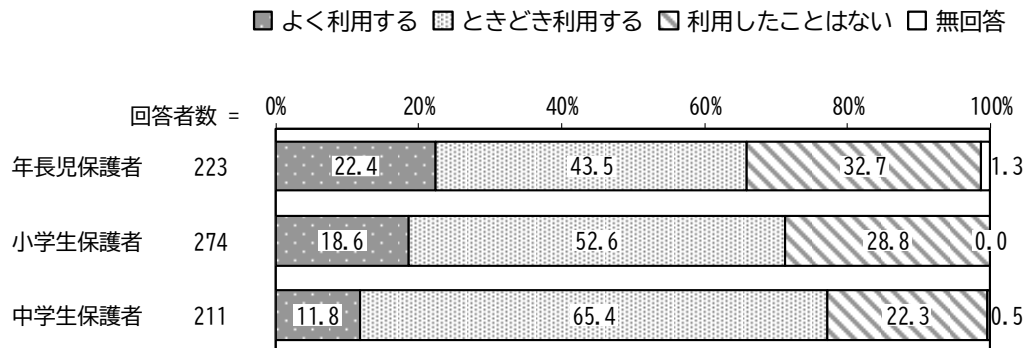
【中学生保護者】

「どちらかという好きだと思う」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「どちらかという嫌いだと思う」の割合が 31.3%、「嫌いだと思う」の割合が 19.4%となっている。

(2) 鈴木図書館の利用状況

あなたは鈴木図書館（文化センター図書室含む）を利用したことがありますか。

（年長児保護者：問 13、小学生保護者、中学生保護者：問 12）



【年長児保護者】

「ときどき利用する」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が 32.7%、「よく利用する」の割合が 22.4%となっている。

【小学生保護者】

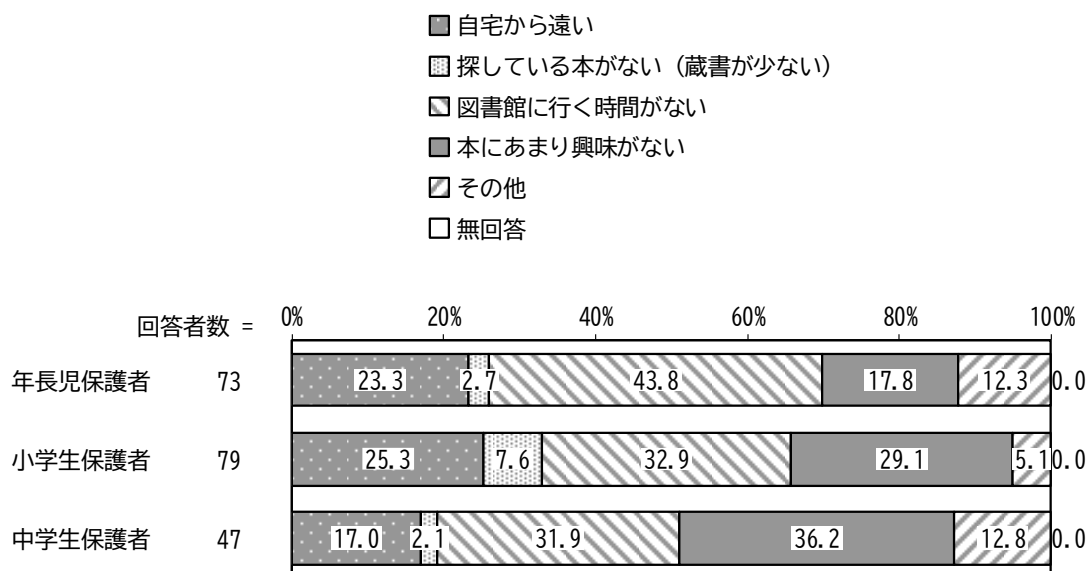
「ときどき利用する」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が 28.8%、「よく利用する」の割合が 18.6%となっている。

【中学生保護者】

「ときどき利用する」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が 22.3%、「よく利用する」の割合が 11.8%となっている。

鈴木図書館を利用しない主な理由は何ですか。

(年長児保護者：問 13－1 小学生保護者、中学生保護者：問 12－1)



【年長児保護者】

「図書館に行く時間がない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「自宅から遠い」の割合が 23.3%、「本にあまり興味がない」の割合が 17.8%となっている。

【小学生保護者】

「図書館に行く時間がない」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「本にあまり興味がない」の割合が 29.1%、「自宅から遠い」の割合が 25.3%となっている。

【中学生保護者】

「本にあまり興味がない」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「図書館に行く時間がない」の割合が 31.9%、「自宅から遠い」の割合が 17.0%となっている。

IV 調査の結果

【裾野市教育振興基本計画に関すること】

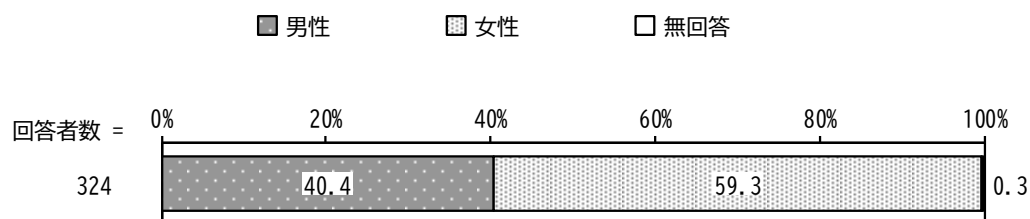
《市民》

IV 調査の結果【裾野市教育振興基本計画に関すること】《市民》

1 属性

(1) 性別

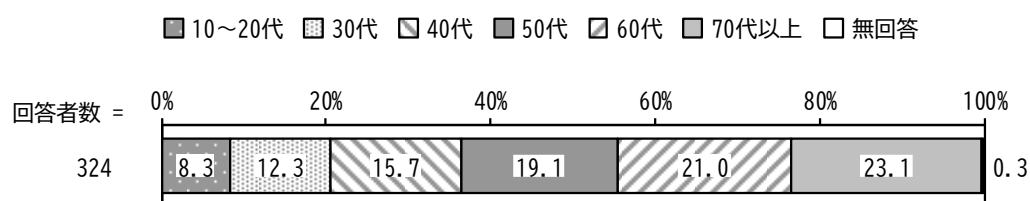
問1. あなたの性別はどちらですか。



「男性」の割合が 40.4%、「女性」の割合が 59.3%となっている。

(2) 年代

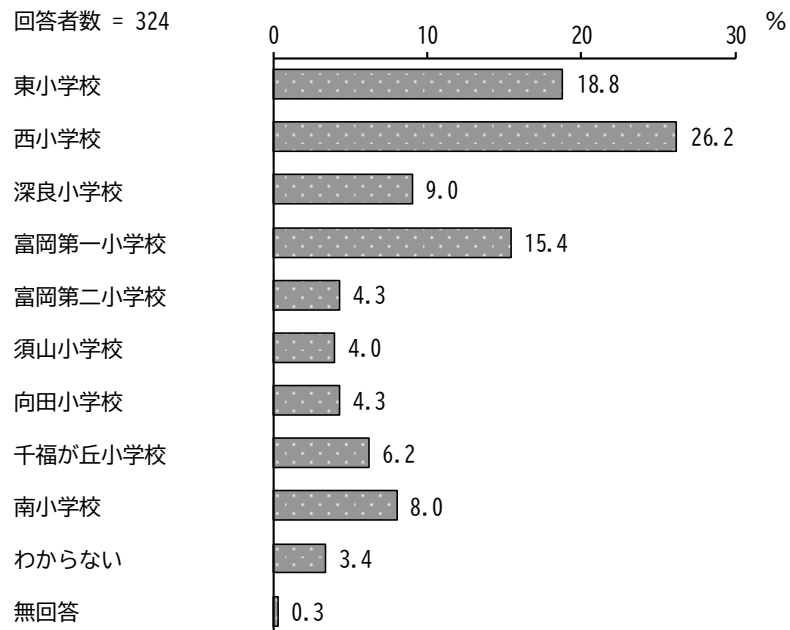
問2. あなたの年代を教えてください。



「70代以上」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「60代」の割合が 21.0%、「50代」の割合が 19.1%となっている。

(3) 住まいのある小学校区

問3. あなたのお住まいは、どの小学校区ですか。

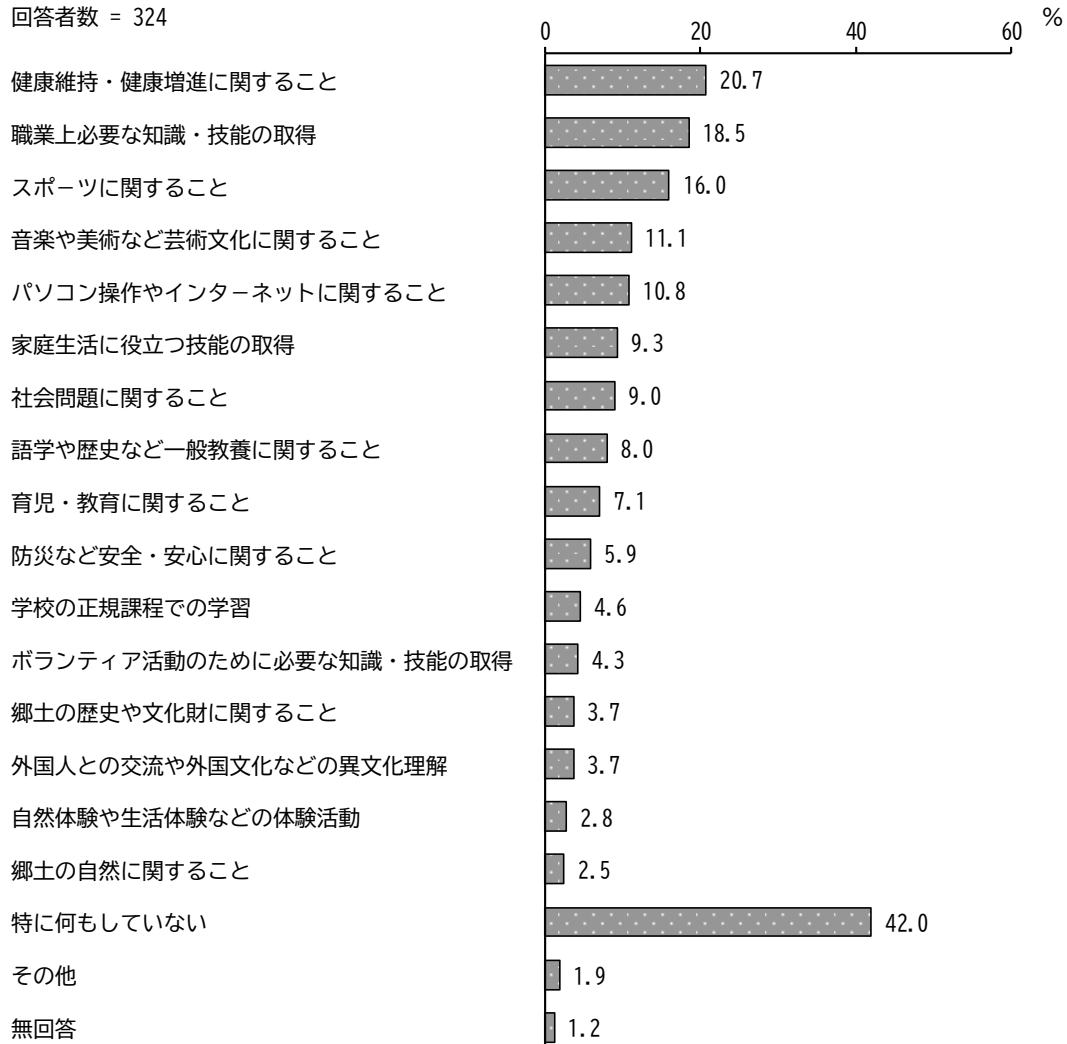


「西小学校」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「東小学校」の割合が 18.8%、「富岡第一小学校」の割合が 15.4%となっている。

2 あなたご自身の学習や活動について

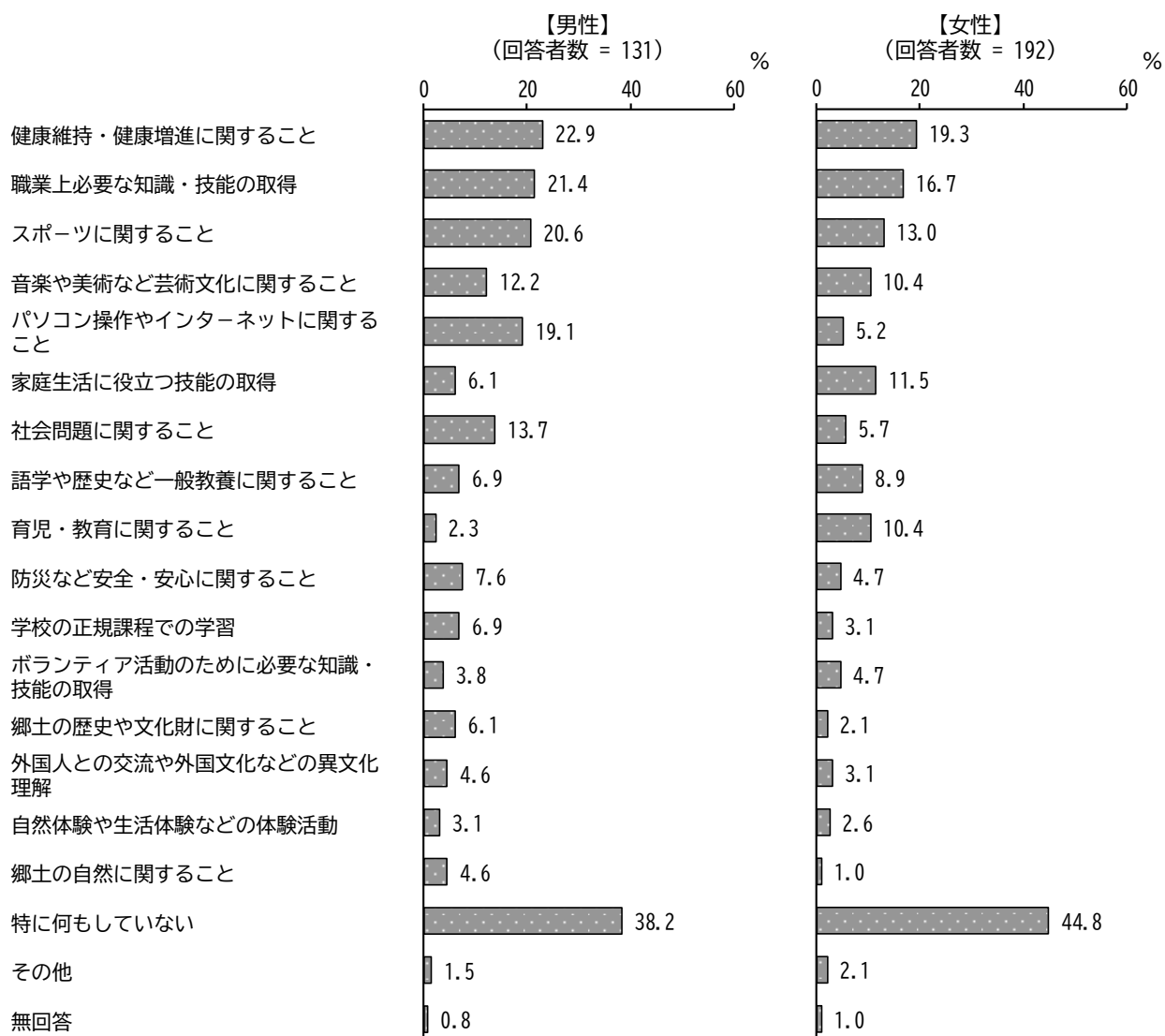
(1) 行っている学習、活動

問4. あなたは今どのような学習や活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)



「特に何もしていない」の割合が42.0%と最も高く、次いで「健康維持・健康増進に関すること」の割合が20.7%、「職業上必要な知識・技能の取得（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」の割合が18.5%となっている。

【性別】



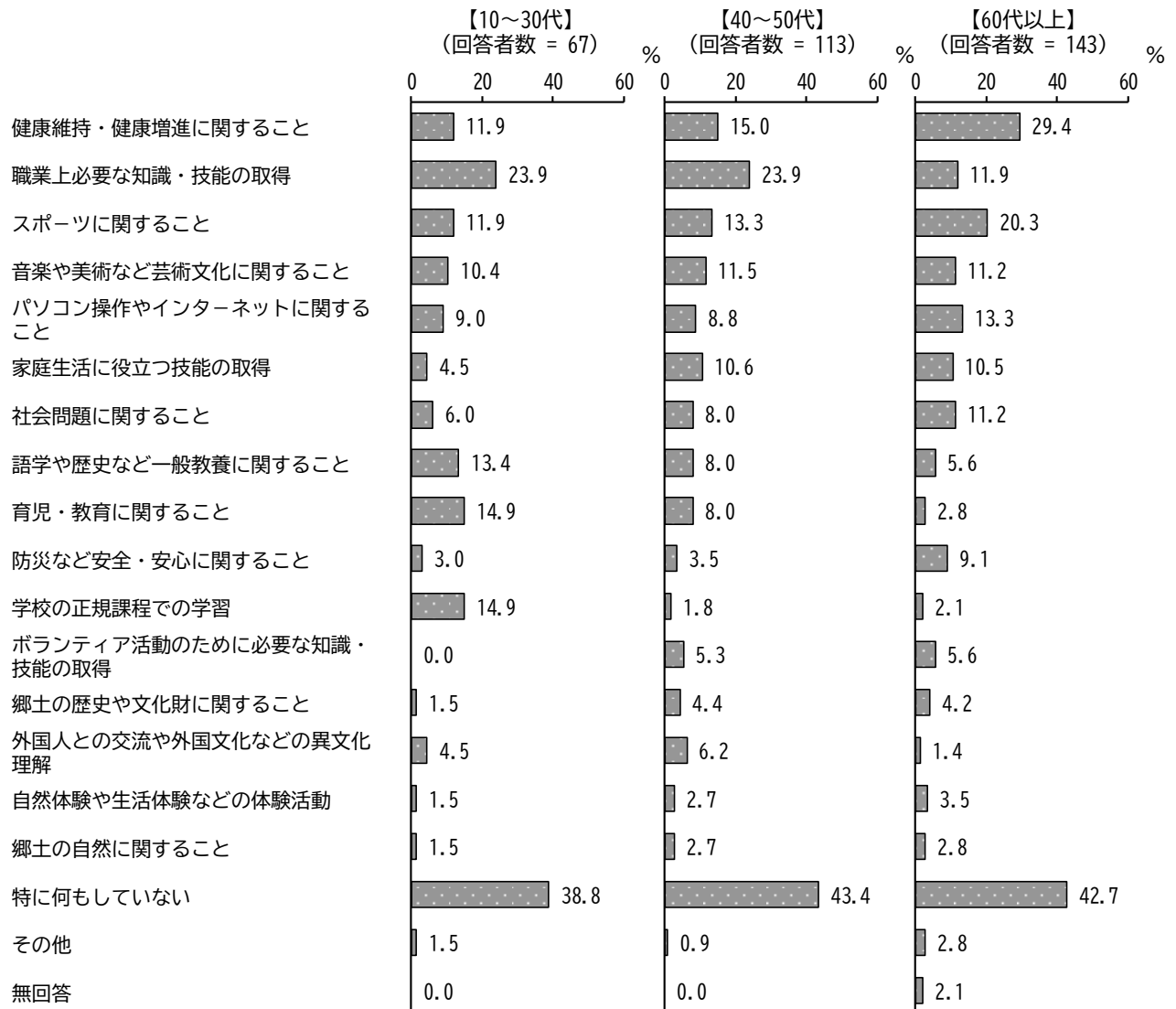
【男性】

「特に何もしていない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「健康維持・健康増進に関すること」の割合が 22.9%、「職業上必要な知識・技能の取得（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」の割合が 21.4%となっている。

【女性】

「特に何もしていない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「健康維持・健康増進に関すること」の割合が 19.3%、「職業上必要な知識・技能の取得（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」の割合が 16.7%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「特に何もしていない」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「職業上必要な知識・技能の取得（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」の割合が 23.9%、「育児・教育に関すること（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」、「学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習」の割合が 14.9%となっている。

【40～50代】

「特に何もしていない」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「職業上必要な知識・技能の取得（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」の割合が 23.9%、「健康維持・健康増進に関すること」の割合が 15.0%となっている。

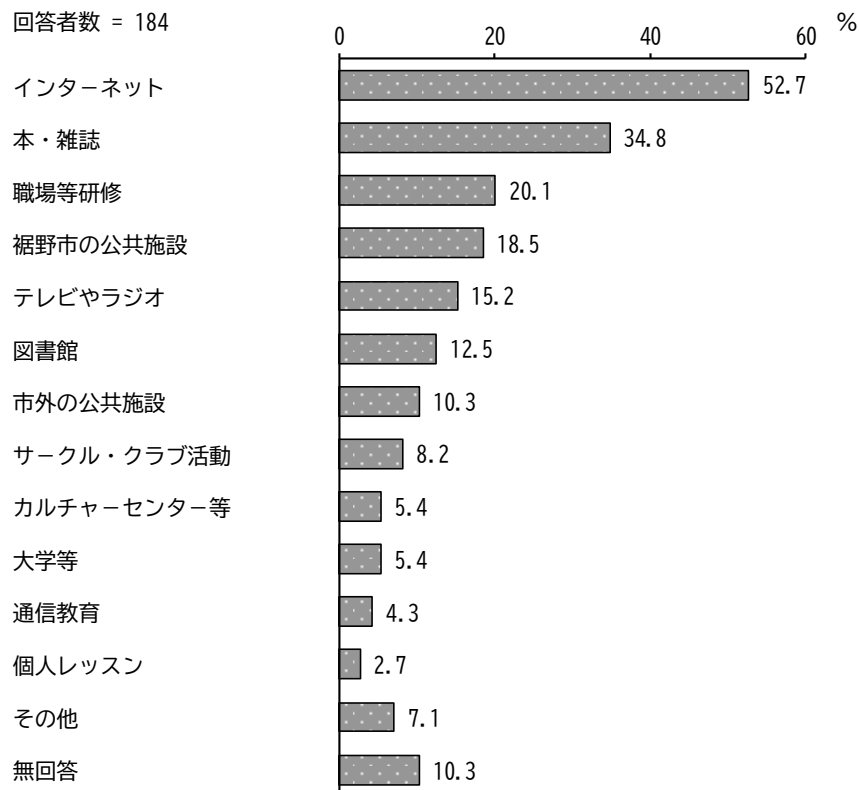
【60代以上】

「特に何もしていない」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「健康維持・健康増進に関すること」の割合が 29.4%、「スポーツに関すること」の割合が 20.3%となっている。

(2) 学習や活動に活用したもの

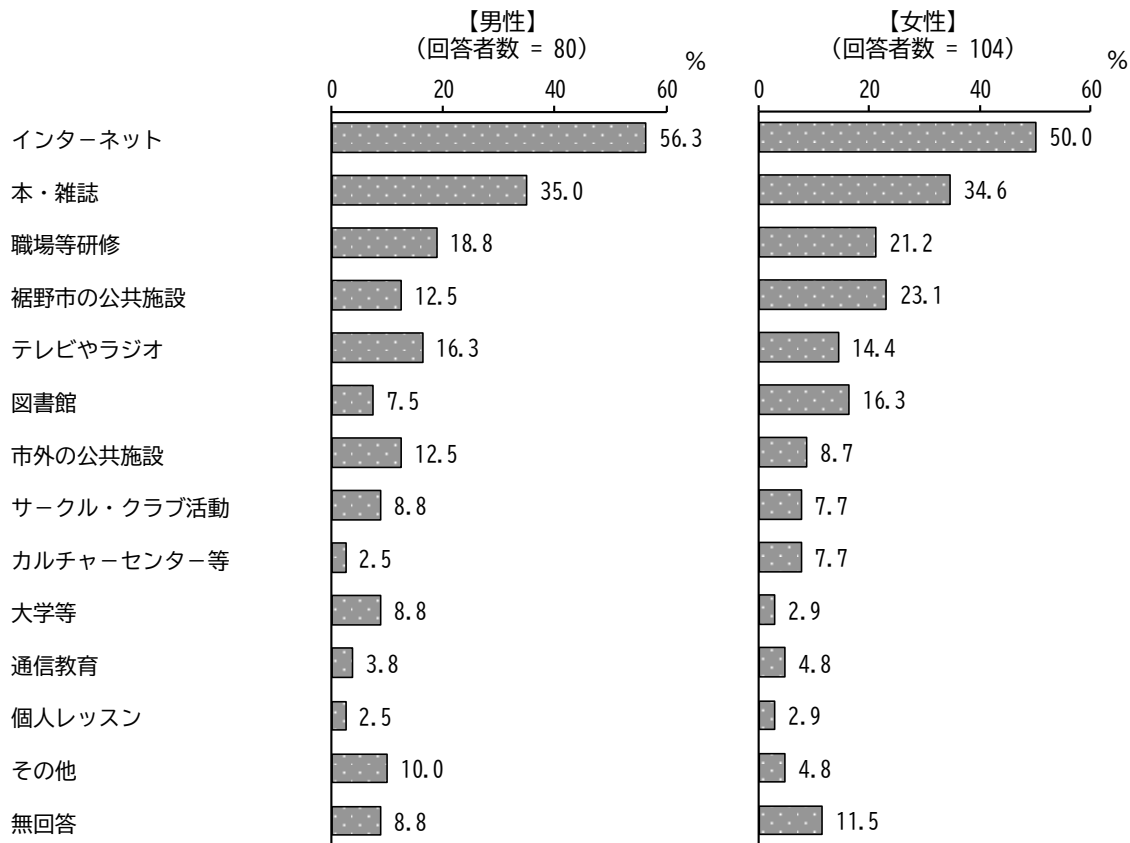
問4で「1～16 学習や活動をしている」「18 その他」と回答した方に伺います。

問4－1. 学習や活動をしている方は何を活用しましたか。
(あてはまるものすべてに○)



「インターネット」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「本・雑誌」の割合が 34.8%、「職場等研修」の割合が 20.1%となっている。

【性別】



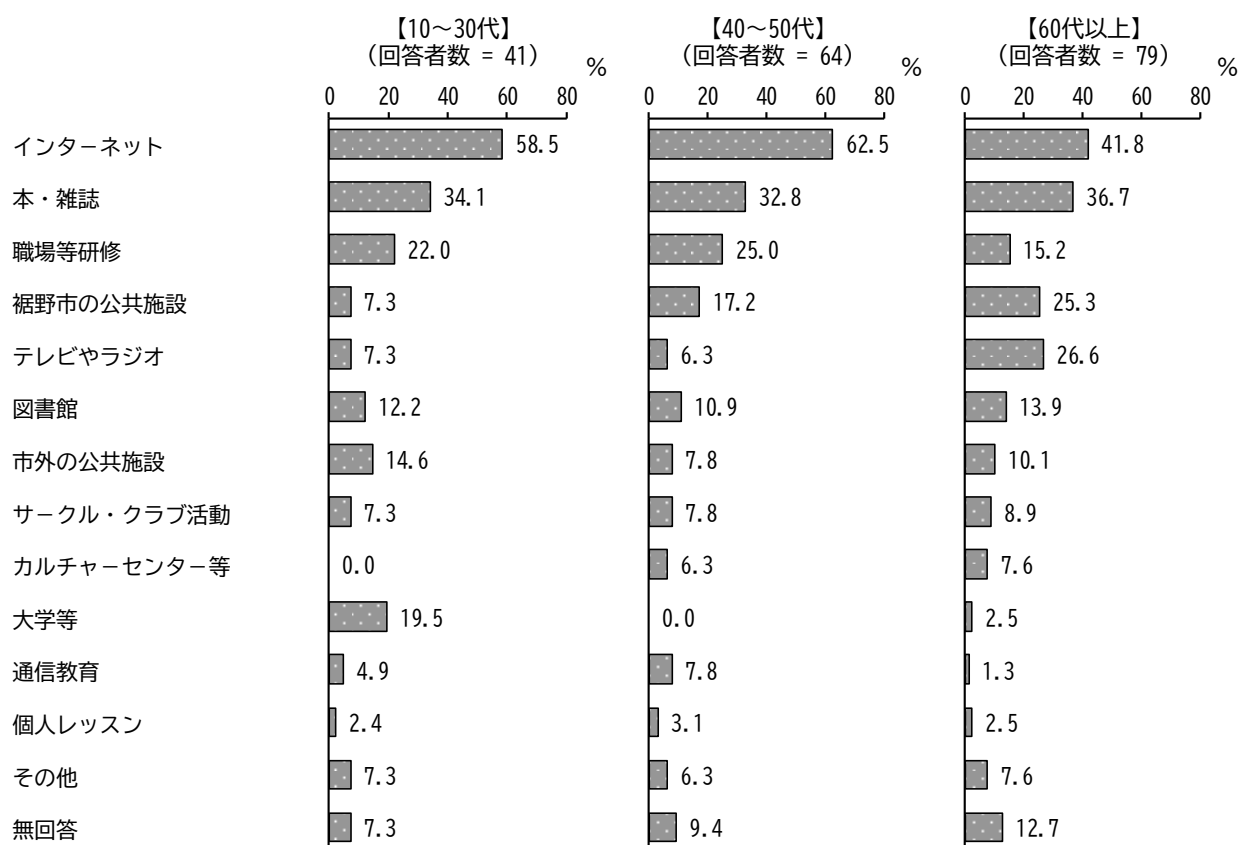
【男性】

「インターネット」の割合が56.3%と最も高く、次いで「本・雑誌」の割合が35.0%、「職場等研修」の割合が18.8%となっている。

【女性】

「インターネット」の割合が50.0%と最も高く、次いで「本・雑誌」の割合が34.6%、「裾野市の公共施設」の割合が23.1%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「インターネット」の割合が58.5%と最も高く、次いで「本・雑誌」の割合が34.1%、「職場等研修」の割合が22.0%となっている。

【40～50代】

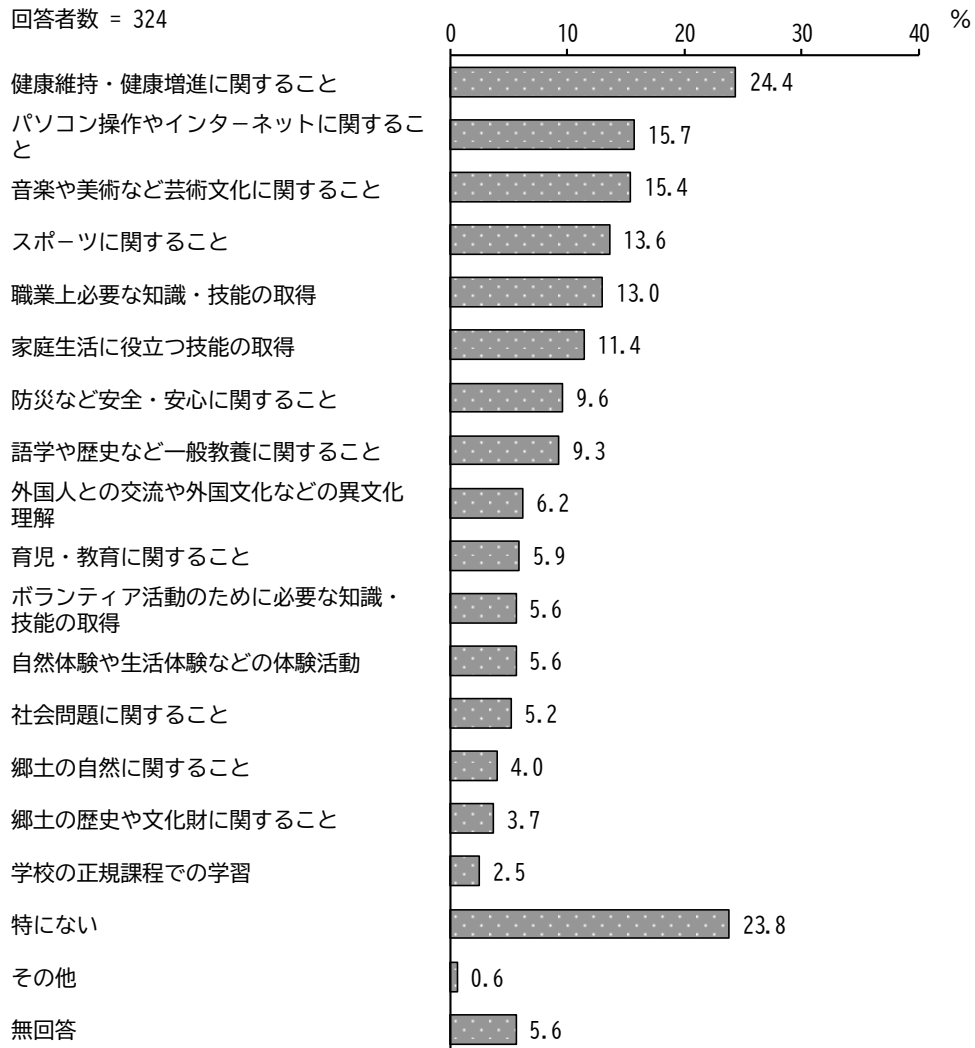
「インターネット」の割合が62.5%と最も高く、次いで「本・雑誌」の割合が32.8%、「職場等研修」の割合が25.0%となっている。

【60代以上】

「インターネット」の割合が41.8%と最も高く、次いで「本・雑誌」の割合が36.7%、「テレビやラジオ」の割合が26.6%となっている。

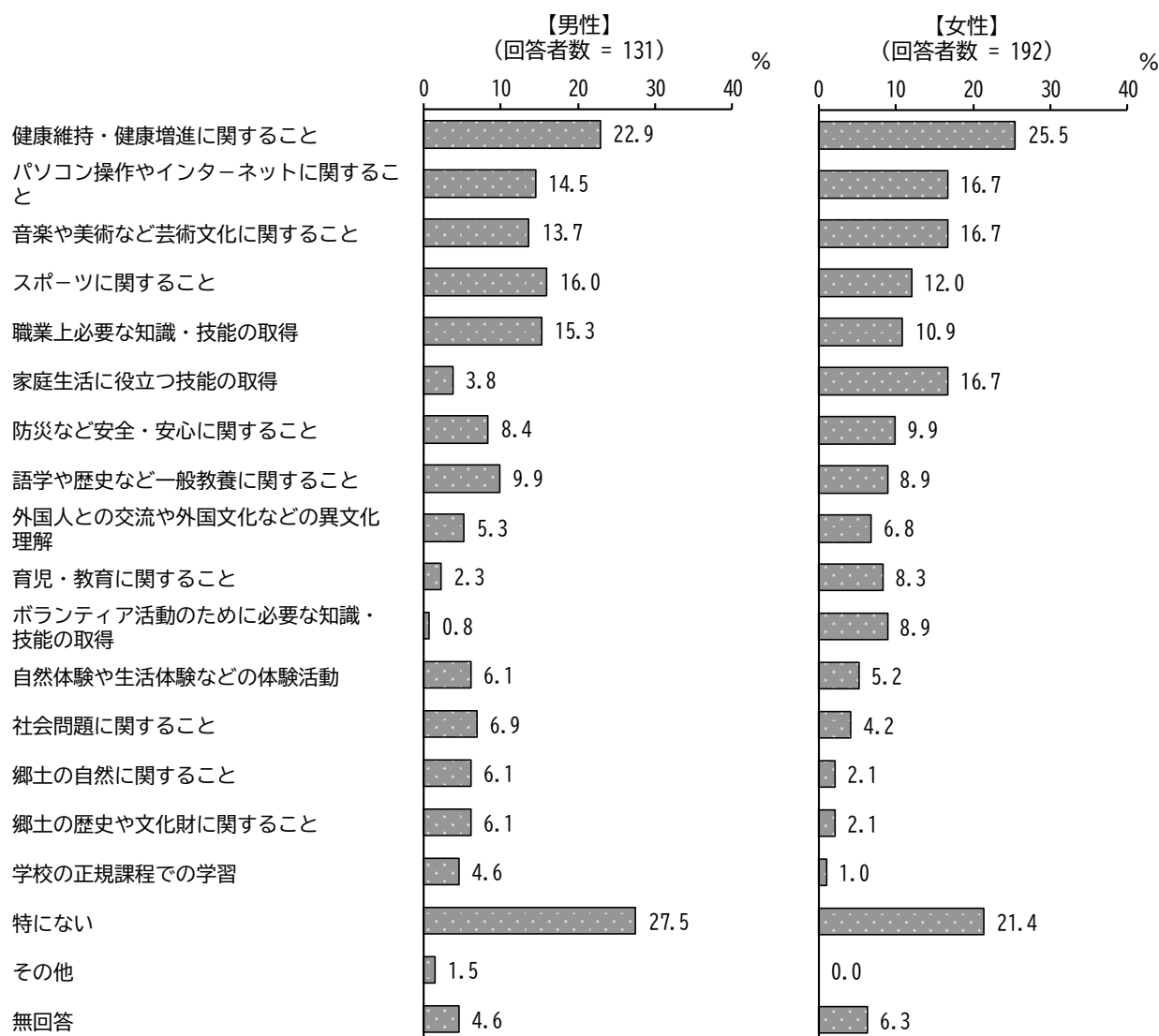
(3) 今後行ってみたい学習、活動

問5. 今後、どのような学習や活動をしてみたいと思いますか。(3つまで○)



「健康維持・健康増進に関すること」の割合が24.4%と最も高く、次いで「特にない」の割合が23.8%、「パソコン操作やインターネットに関すること」の割合が15.7%となっている。

【性別】



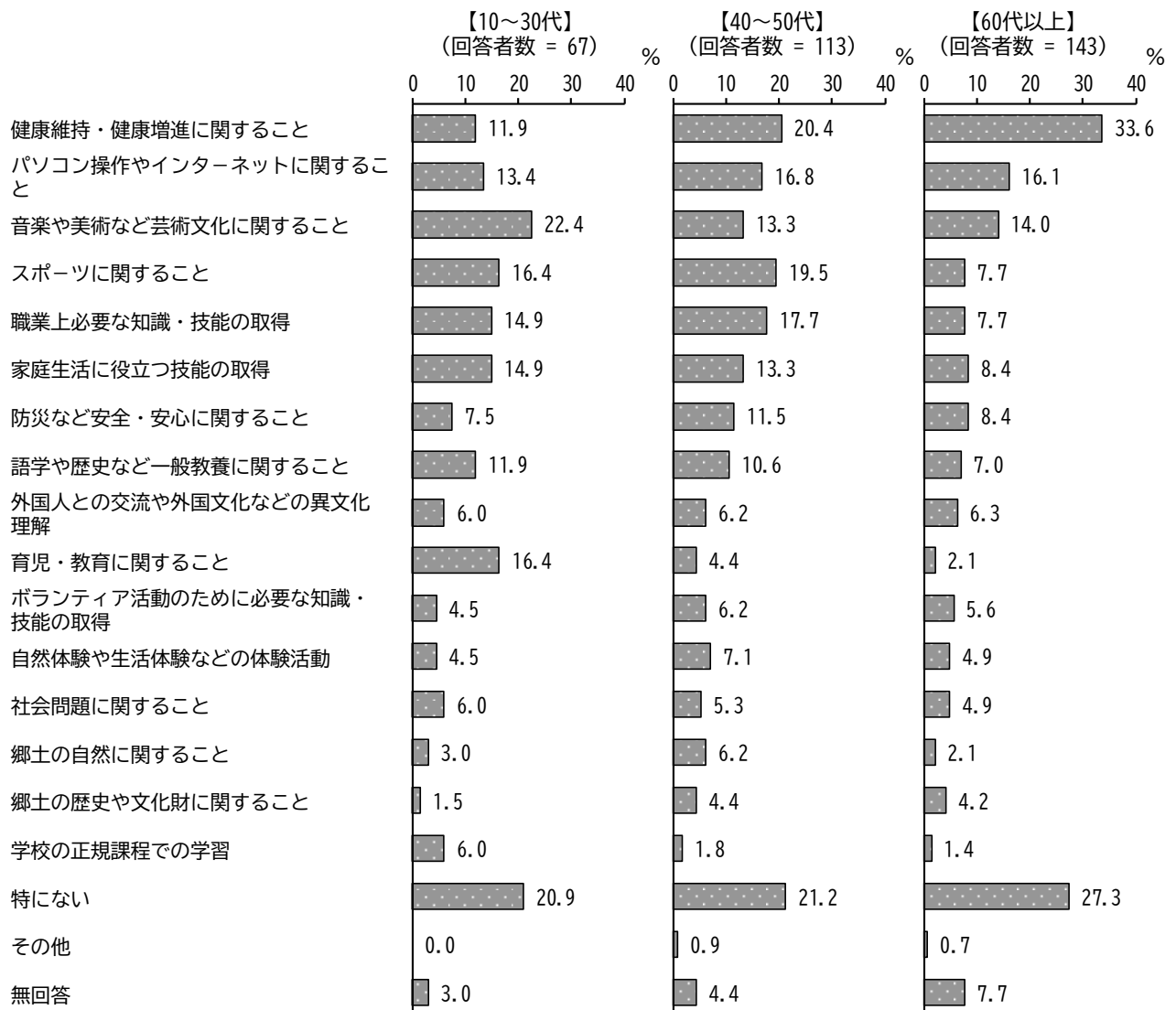
【男性】

「特にない」の割合が27.5%と最も高く、次いで「健康維持・健康増進に関すること」の割合が22.9%、「スポーツに関すること」の割合が16.0%となっている。

【女性】

「健康維持・健康増進に関すること」の割合が25.5%と最も高く、次いで「特にない」の割合が21.4%、「パソコン操作やインターネットに関すること」、「音楽や美術など芸術文化に関すること」、「家庭生活に役立つ技能の取得」の割合が16.7%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「音楽や美術など芸術文化に関すること」の割合が22.4%と最も高く、次いで「特にない」の割合が20.9%、「スポーツに関すること」、「育児・教育に関すること」の割合が16.4%となっている。

【40～50代】

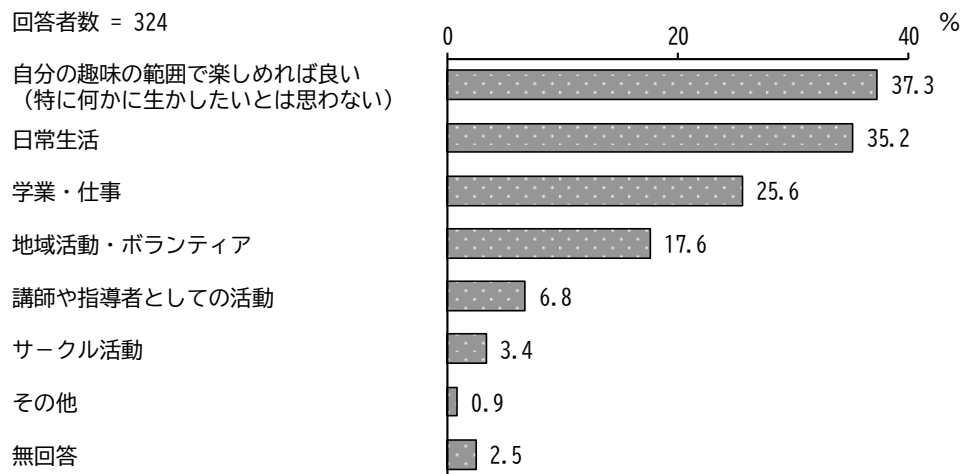
「特にない」の割合が21.2%と最も高く、次いで「健康維持・健康増進に関すること」の割合が20.4%、「スポーツに関すること」の割合が19.5%となっている。

【60代以上】

「健康維持・健康増進に関すること」の割合が33.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が27.3%、「パソコン操作やインターネットに関すること」の割合が16.1%となっている。

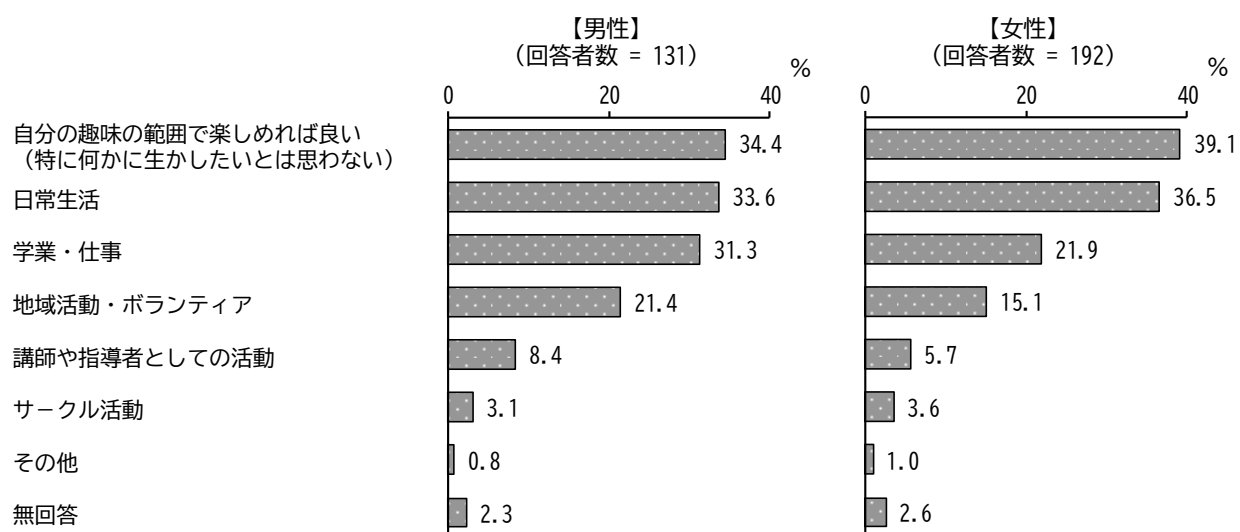
(4) 知識や技能などの生かし方

問6. これまで学習して身につけてきた知識や技能などを何かに生かしてみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



「自分の趣味の範囲で楽しめれば良い(特に何かに生かしたいとは思わない)」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「日常生活」の割合が 35.2%、「学業・仕事」の割合が 25.6%となっている。

【性別】



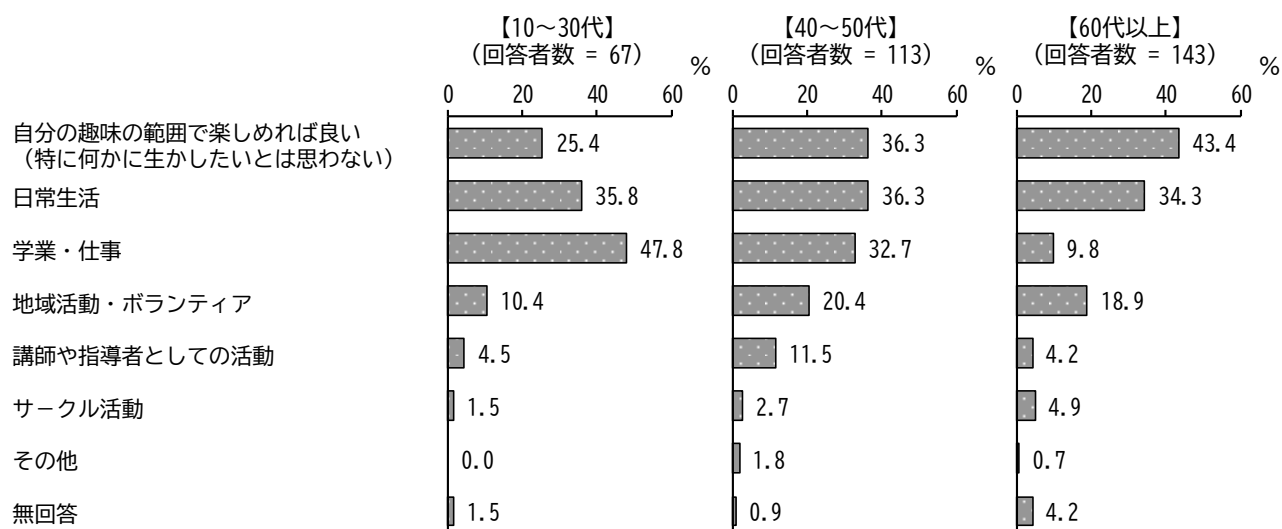
【男性】

「自分の趣味の範囲で楽しめれば良い(特に何かに生かしたいとは思わない)」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「日常生活」の割合が 33.6%、「学業・仕事」の割合が 31.3%となっている。

【女性】

「自分の趣味の範囲で楽しめれば良い(特に何かに生かしたいとは思わない)」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「日常生活」の割合が 36.5%、「学業・仕事」の割合が 21.9%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「学業・仕事」の割合が47.8%と最も高く、次いで「日常生活」の割合が35.8%、「自分の趣味の範囲で楽しめれば良い（特に何かに生かしたいとは思わない）」の割合が25.4%となっている。

【40～50代】

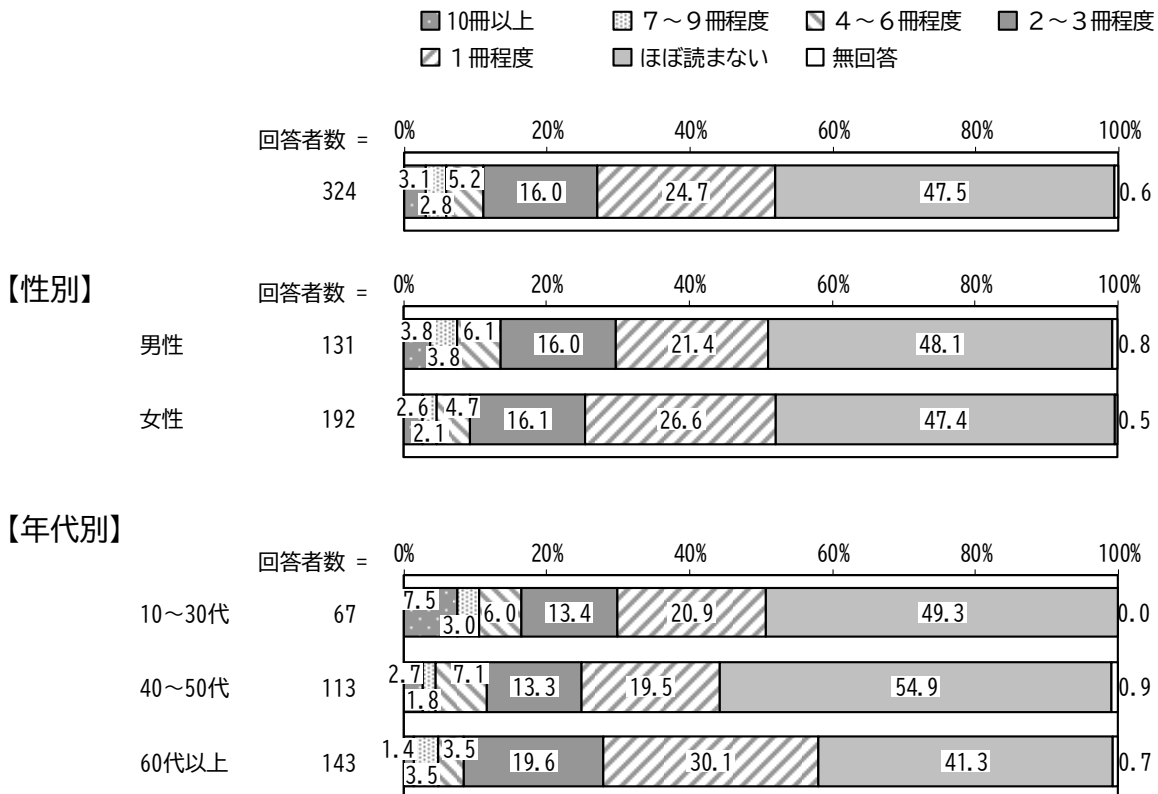
「自分の趣味の範囲で楽しめれば良い（特に何かに生かしたいとは思わない）」の割合が36.3%と最も高く、次いで「学業・仕事」の割合が32.7%となっている。

【60代以上】

「自分の趣味の範囲で楽しめれば良い（特に何かに生かしたいとは思わない）」の割合が43.4%と最も高く、次いで「日常生活」の割合が34.3%、「地域活動・ボランティア」の割合が18.9%となっている。

(5) 1 か月あたりに読む本の数

問7. あなたは電子書籍を含め1 か月におよそ何冊ぐらい本を読みますか。



「ほぼ読まない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「1冊程度」の割合が24.7%、「2～3冊程度」の割合が16.0%となっている。

【男性】

「ほぼ読まない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「1冊程度」の割合が21.4%、「2～3冊程度」の割合が16.0%となっている。

【女性】

「ほぼ読まない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「1冊程度」の割合が26.6%、「2～3冊程度」の割合が16.1%となっている。

【10～30代】

「ほぼ読まない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「1冊程度」の割合が20.9%、「2～3冊程度」の割合が13.4%となっている。

【40～50代】

「ほぼ読まない」の割合が54.9%と最も高く、次いで「1冊程度」の割合が19.5%、「2～3冊程度」の割合が13.3%となっている。

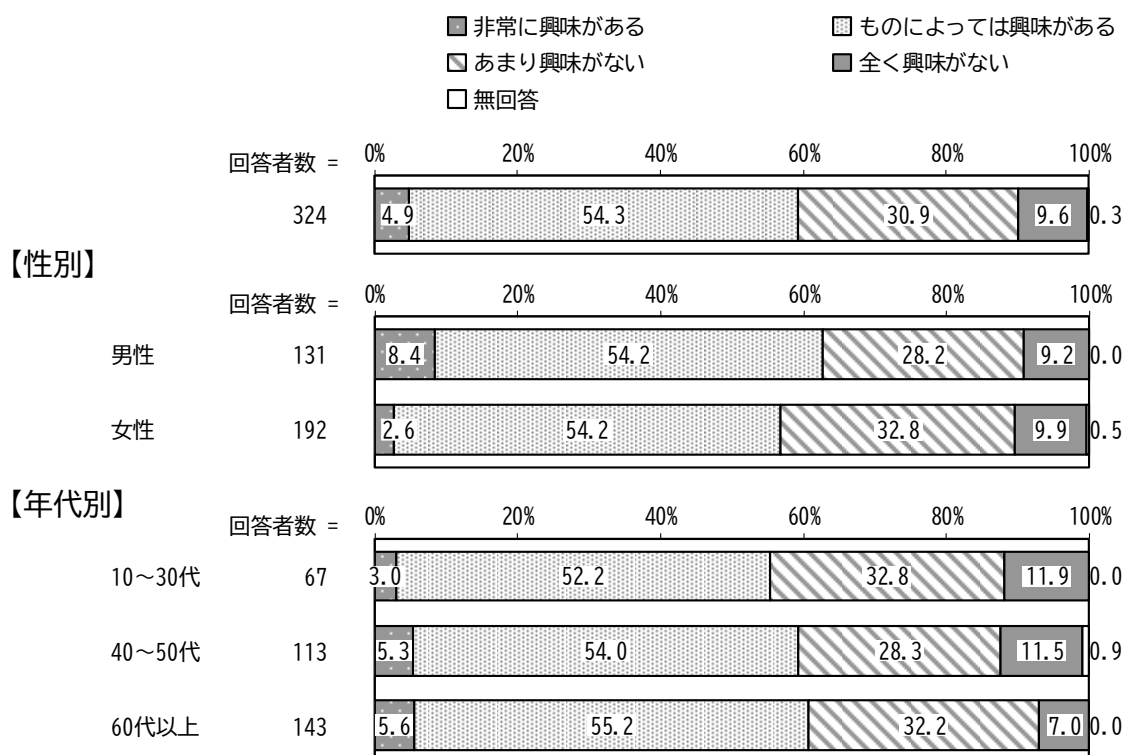
【60代以上】

「ほぼ読まない」の割合が41.3%と最も高く、次いで「1冊程度」の割合が30.1%、「2～3冊程度」の割合が19.6%となっている。

3 文化財や文化施設について

(1) 郷土の歴史や文化についての興味

問8. あなたは郷土の歴史や文化に興味がありますか。



「ものによっては興味がある」の割合が54.3%と最も高く、次いで「あまり興味がない」の割合が30.9%、「全く興味がない」の割合が9.6%となっている。

【男性】

「ものによっては興味がある」の割合が54.2%と最も高く、次いで「あまり興味がない」の割合が28.2%となっている。

【女性】

「ものによっては興味がある」の割合が54.2%と最も高く、次いで「あまり興味がない」の割合が32.8%となっている。

【10～30代】

「ものによっては興味がある」の割合が52.2%と最も高く、次いで「あまり興味がない」の割合が32.8%、「全く興味がない」の割合が11.9%となっている。

【40～50代】

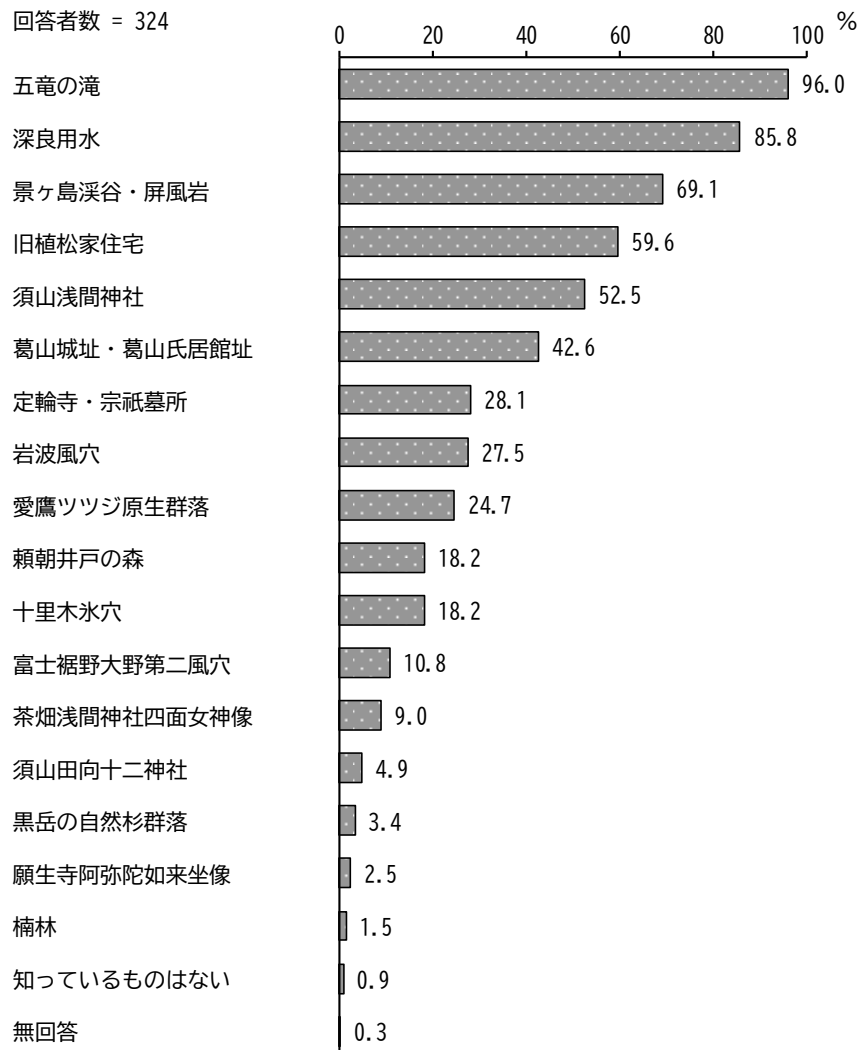
「ものによっては興味がある」の割合が54.0%と最も高く、次いで「あまり興味がない」の割合が28.3%、「全く興味がない」の割合が11.5%となっている。

【60代以上】

「ものによっては興味がある」の割合が55.2%と最も高く、次いで「あまり興味がない」の割合が32.2%となっている。

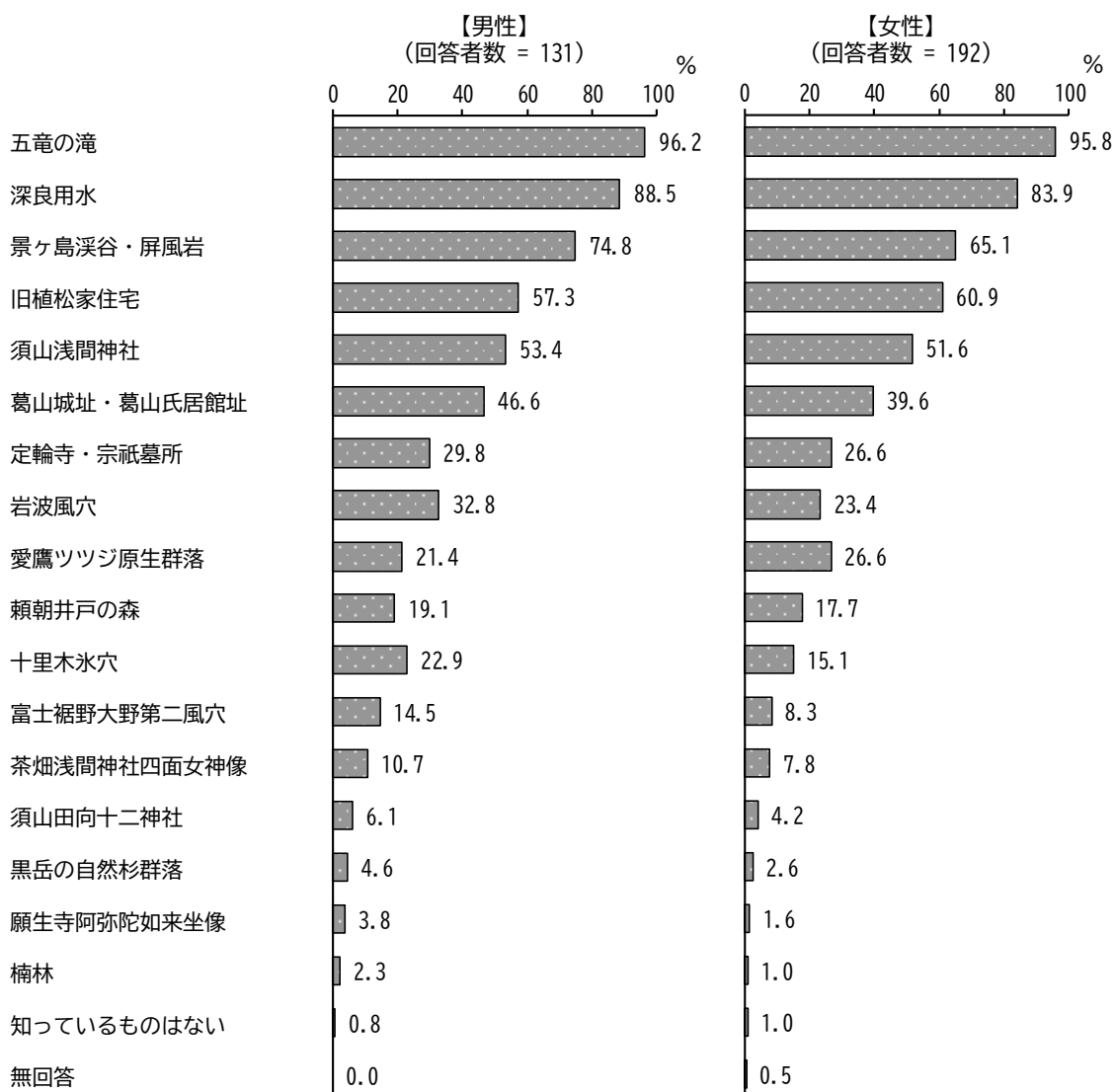
(2) 知っている裾野市の文化財

問9. あなたは裾野市にある文化財を知っていますか。(知っているものすべてに○)



「五竜の滝」の割合が96.0%と最も高く、次いで「深良用水」の割合が85.8%、「景ヶ島溪谷・屏風岩」の割合が69.1%となっている。

【性別】



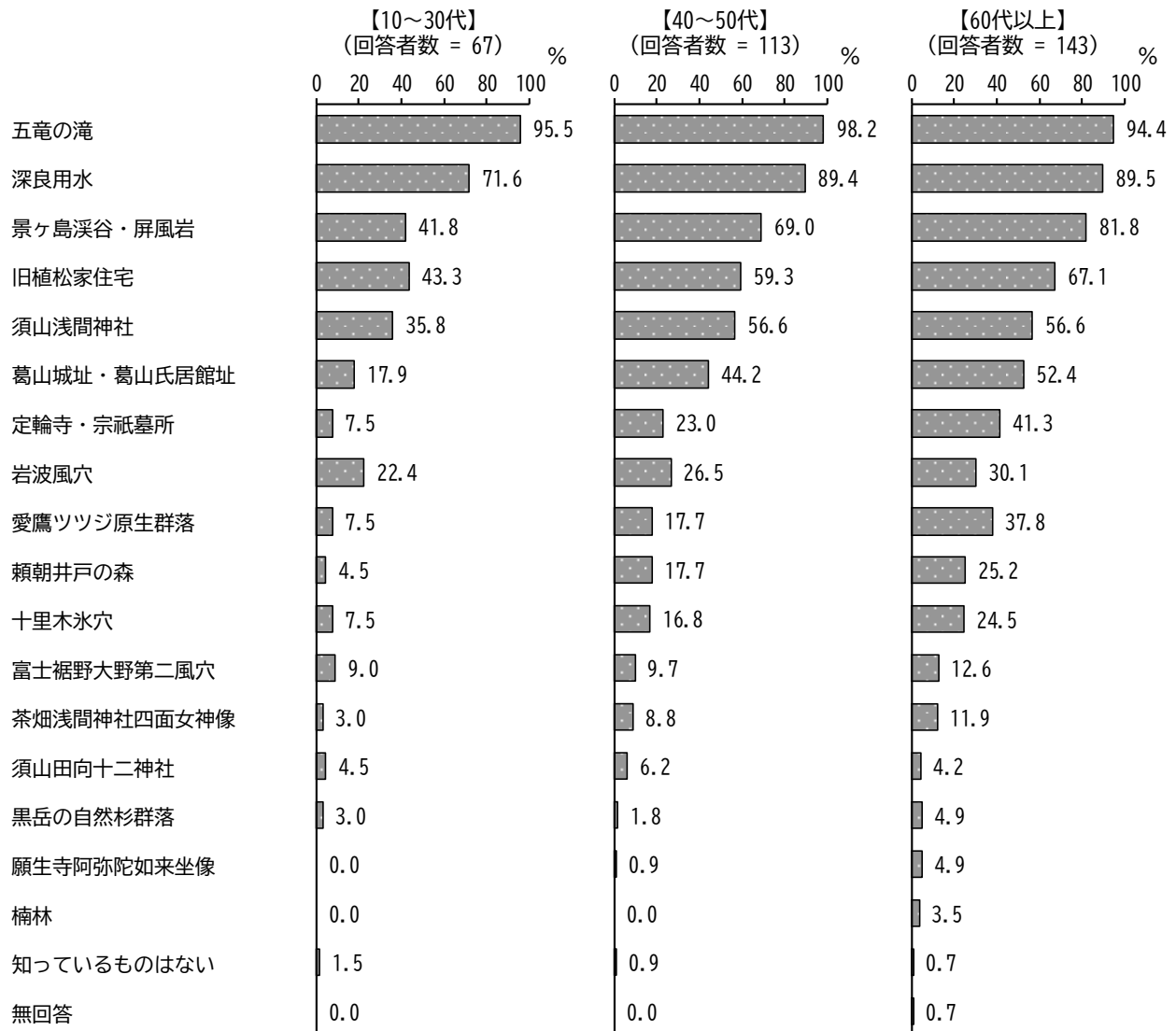
【男性】

「五竜の滝」の割合が96.2%と最も高く、次いで「深良用水」の割合が88.5%、「景ヶ島溪谷・屏風岩」の割合が74.8%となっている。

【女性】

「五竜の滝」の割合が95.8%と最も高く、次いで「深良用水」の割合が83.9%、「景ヶ島溪谷・屏風岩」の割合が65.1%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「五竜の滝」の割合が95.5%と最も高く、次いで「深良用水」の割合が71.6%、「旧植松家住宅」の割合が43.3%となっている。

【40～50代】

「五竜の滝」の割合が98.2%と最も高く、次いで「深良用水」の割合が89.4%、「景ヶ島溪谷・屏風岩」の割合が69.0%となっている。

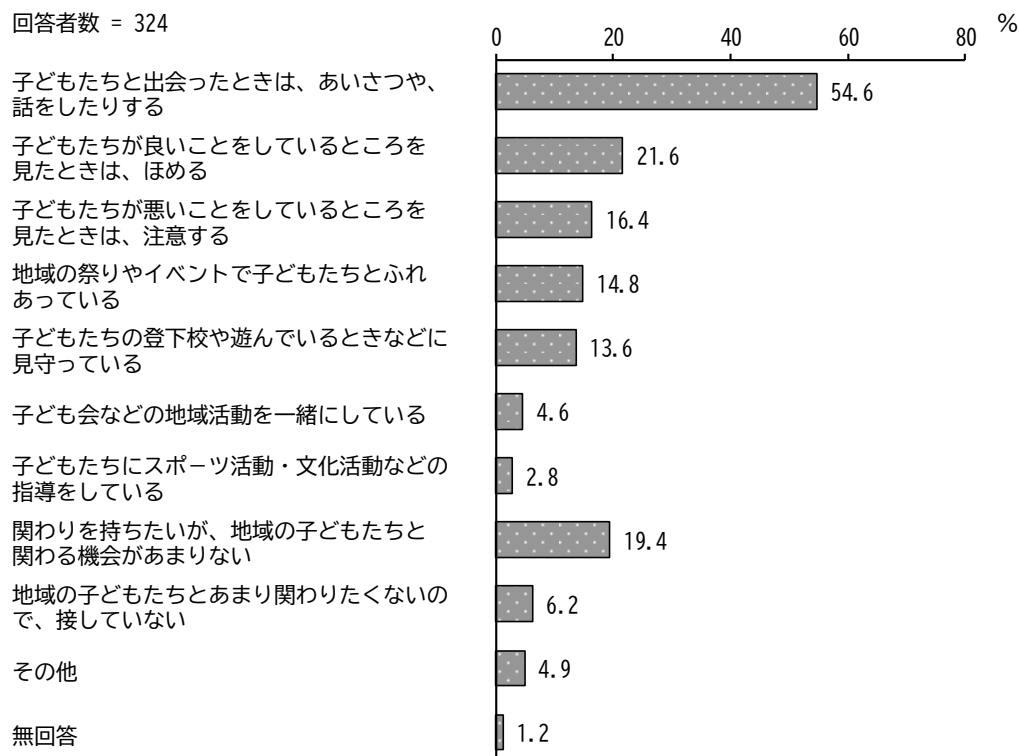
【60代以上】

「五竜の滝」の割合が94.4%と最も高く、次いで「深良用水」の割合が89.5%、「景ヶ島溪谷・屏風岩」の割合が81.8%となっている。

4 裾野市の子どもたちとの接し方やご意見について

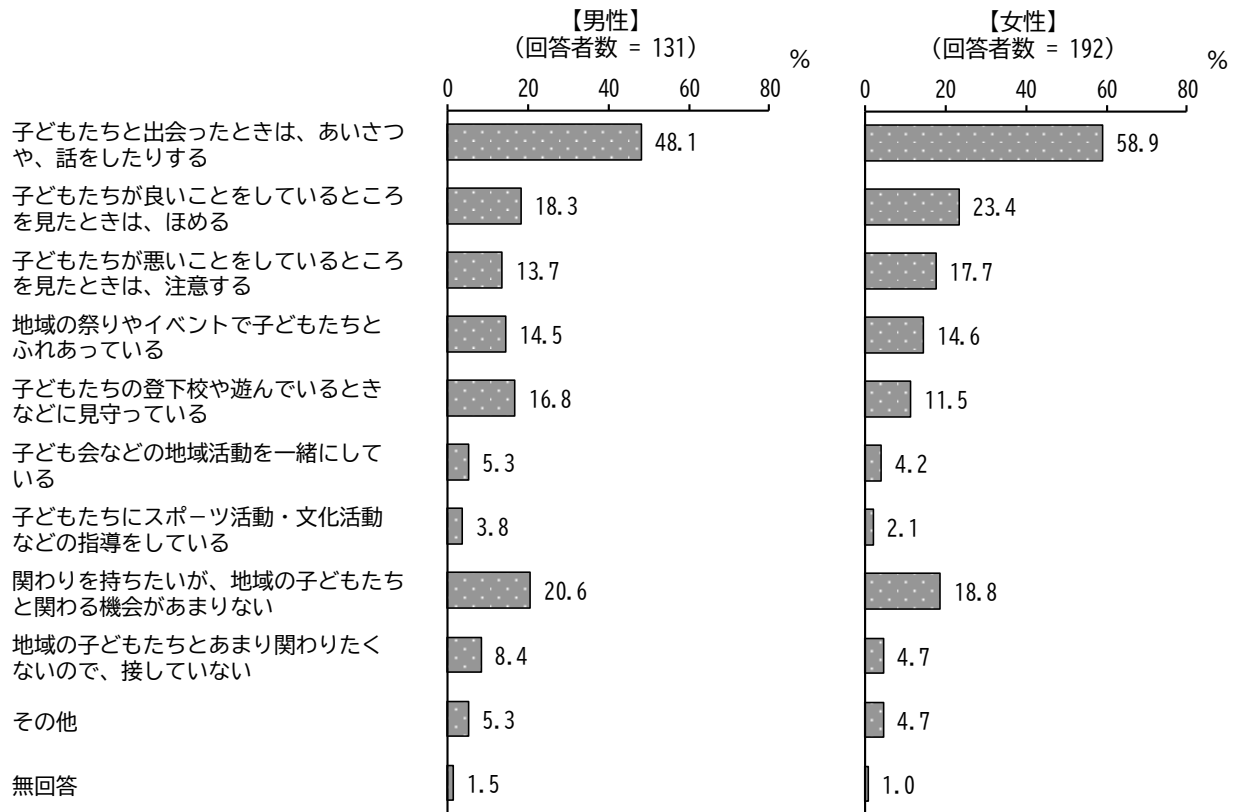
(1) 地域の子どもたちへの接し方

問 10. 地域の子どもたちとどのように接していますか。(あてはまるものすべてに○)



「子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「子どもたちが良いことをしているところを見たときは、ほめる」の割合が 21.6%、「関わりを持ちたいが、地域の子どもたちと関わる機会があまりない」の割合が 19.4%となっている。

【性別】



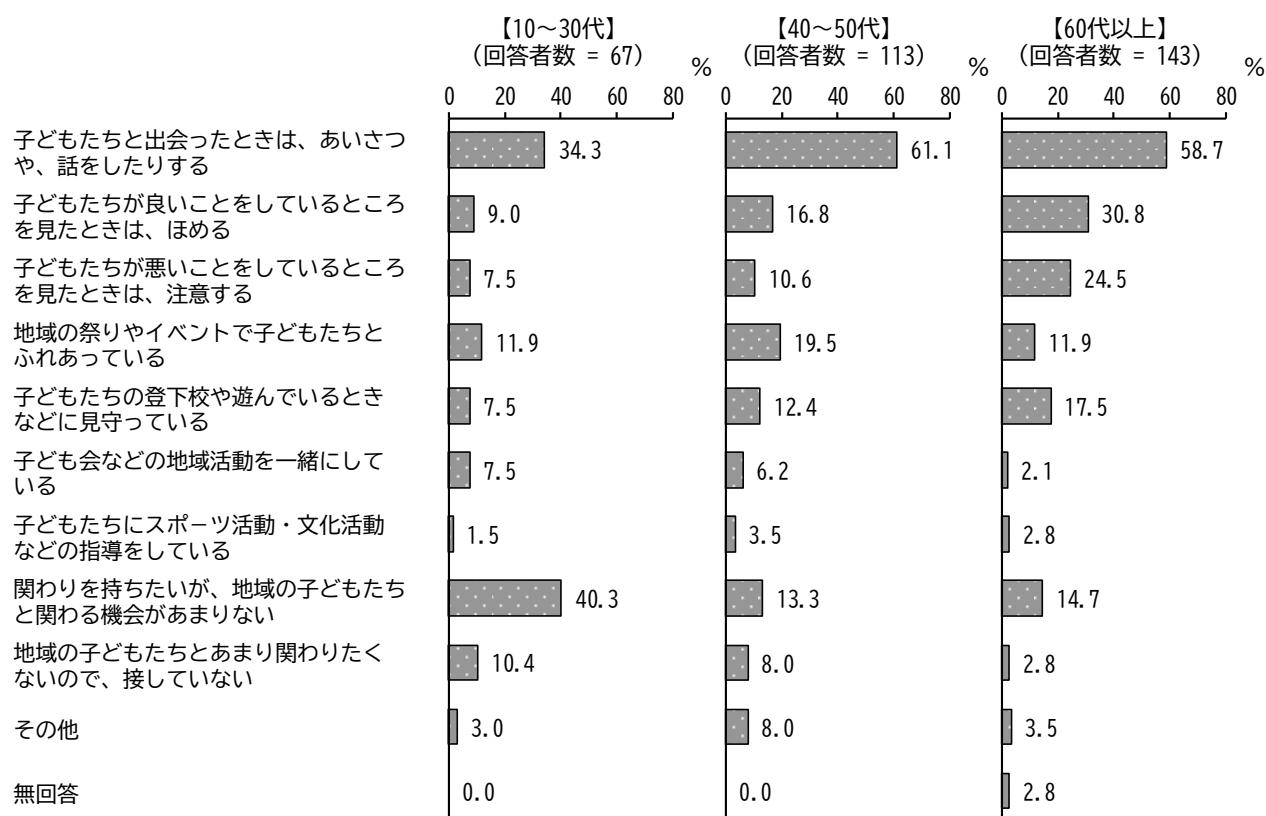
【男性】

「子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「関わりを持ちたいが、地域の子どもたちと関わる機会があまりない」の割合が 20.6%、「子どもたちが良いことをしているところを見たときは、ほめる」の割合が 18.3%となっている。

【女性】

「子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「子どもたちが良いことをしているところを見たときは、ほめる」の割合が 23.4%、「関わりを持ちたいが、地域の子どもたちと関わる機会があまりない」の割合が 18.8%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「関わりを持ちたいが、地域の子どもたちと関わる機会があまりない」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする」の割合が 34.3%、「地域の祭りやイベントで子どもたちとふれあっている」の割合が 11.9%となっている。

【40～50代】

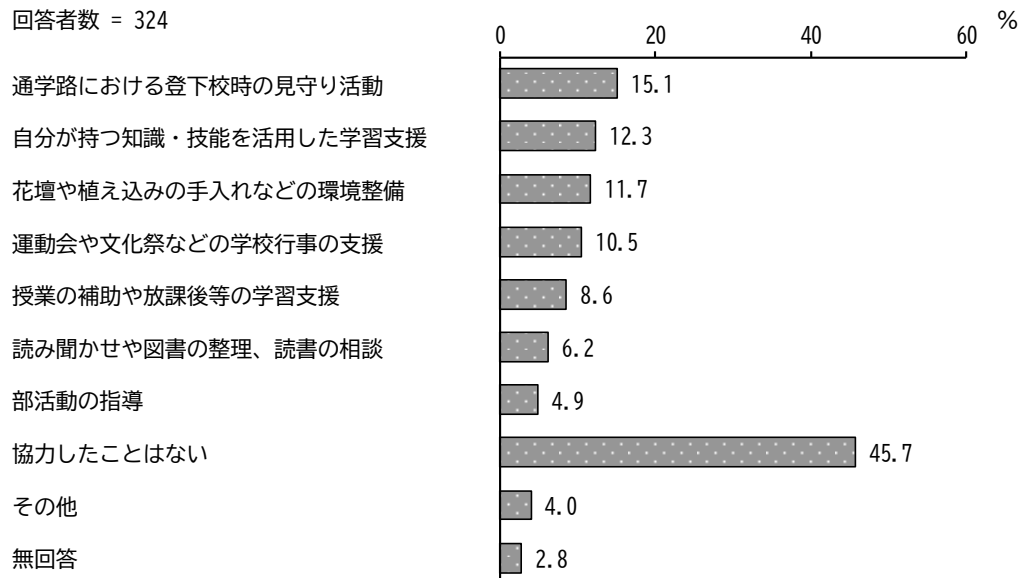
「子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「地域の祭りやイベントで子どもたちとふれあっている」の割合が 19.5%、「子どもたちが良いことをしているところを見たときは、ほめる」の割合が 16.8%となっている。

【60代以上】

「子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「子どもたちが良いことをしているところを見たときは、ほめる」の割合が 30.8%、「子どもたちが悪いことをしているところを見たときは、注意する」の割合が 24.5%となっている。

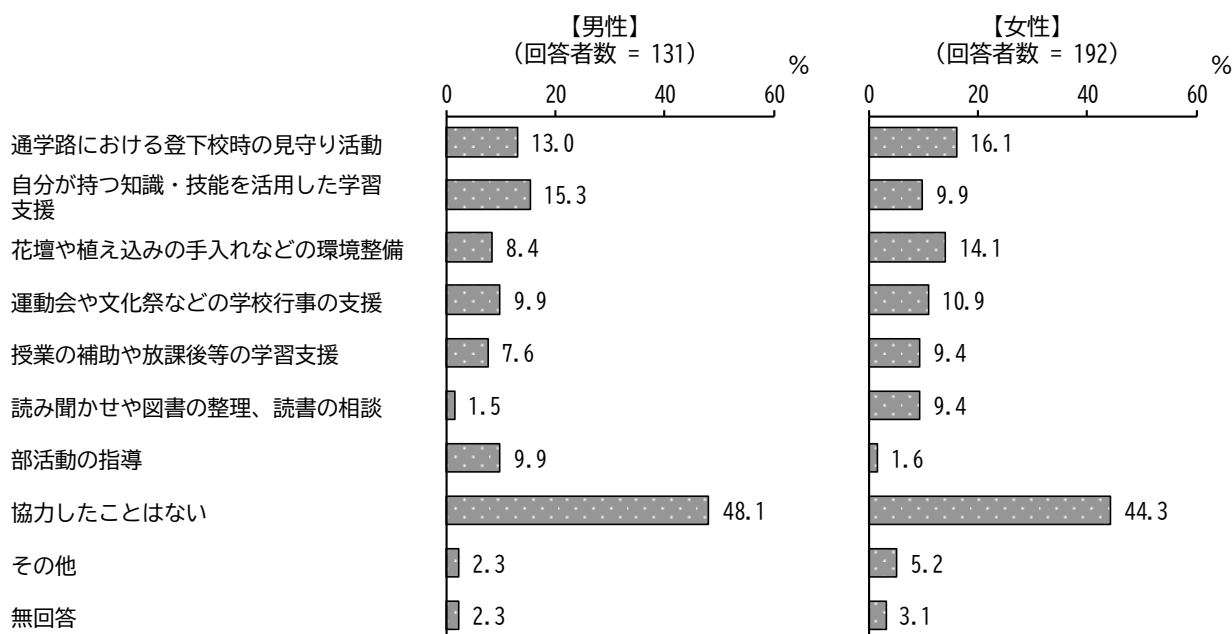
(2) 学校に対して協力してみたいと思うこと

問 11. 学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)



「協力したことはない」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が 15.1%、「自分が持つ知識・技能を活用した学習支援」の割合が 12.3%となっている。

【性別】



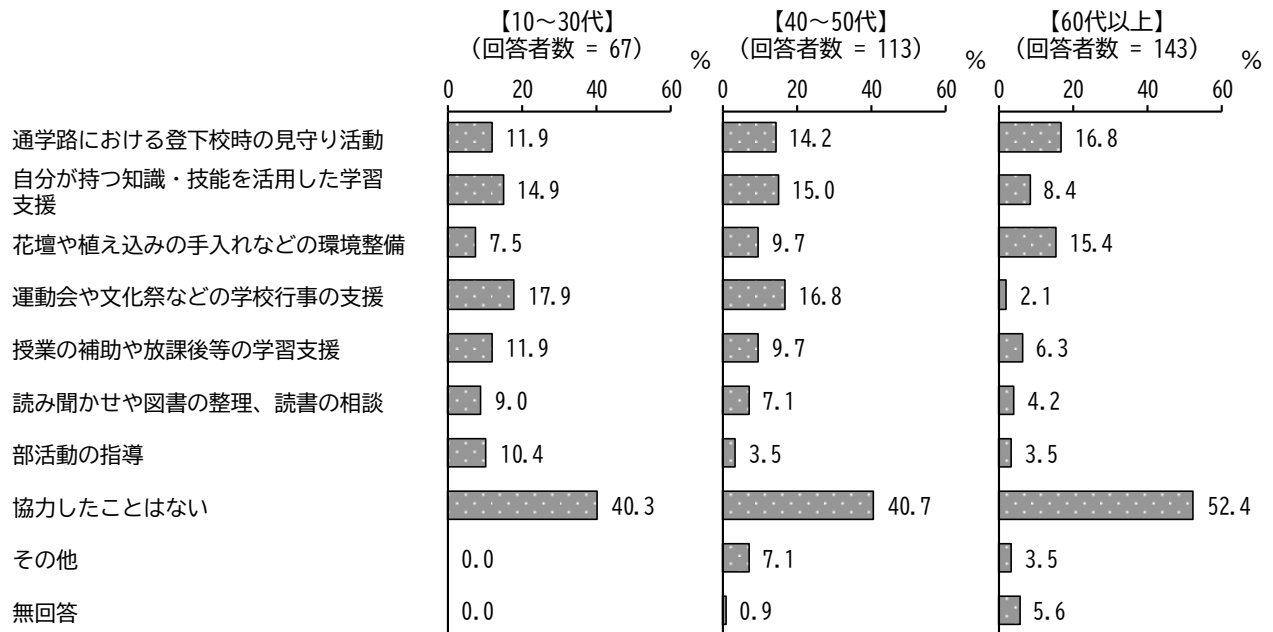
【男性】

「協力したことはない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「自分が持つ知識・技能を活用した学習支援」の割合が15.3%、「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が13.0%となっている。

【女性】

「協力したことはない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が16.1%、「花壇や植え込みの手入れなどの環境整備」の割合が14.1%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「協力したことはない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「運動会や文化祭などの学校行事の支援」の割合が17.9%、「自分が持つ知識・技能を活用した学習支援」の割合が14.9%となっている。

【40～50代】

「協力したことはない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「運動会や文化祭などの学校行事の支援」の割合が16.8%、「自分が持つ知識・技能を活用した学習支援」の割合が15.0%となっている。

【60代以上】

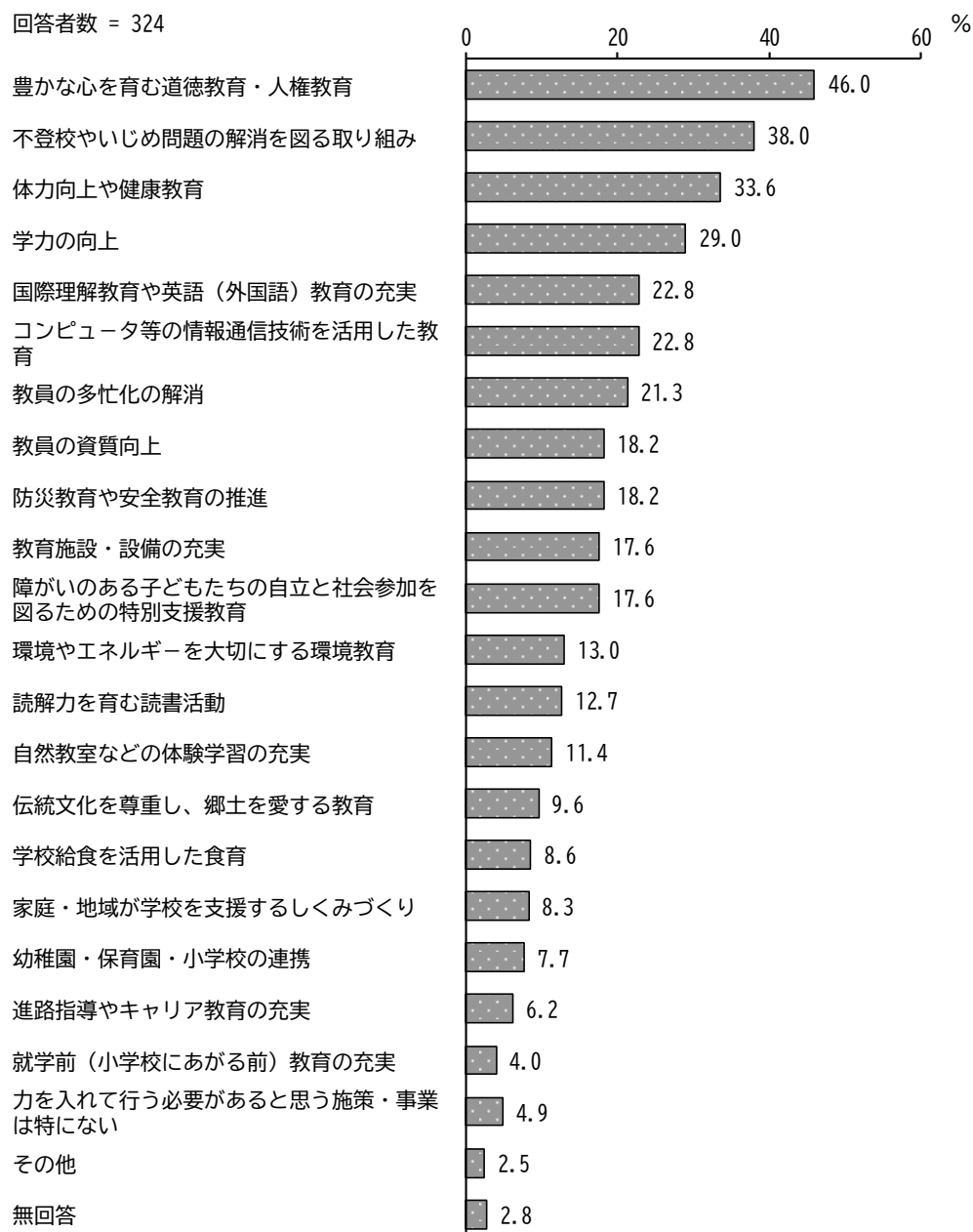
「協力したことはない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が16.8%、「花壇や植え込みの手入れなどの環境整備」の割合が15.4%となっている。

5 裾野市の教育施策や教育事業について

(1) 裾野市が特に力を入れて行う必要があると思う教育施策や教育事業

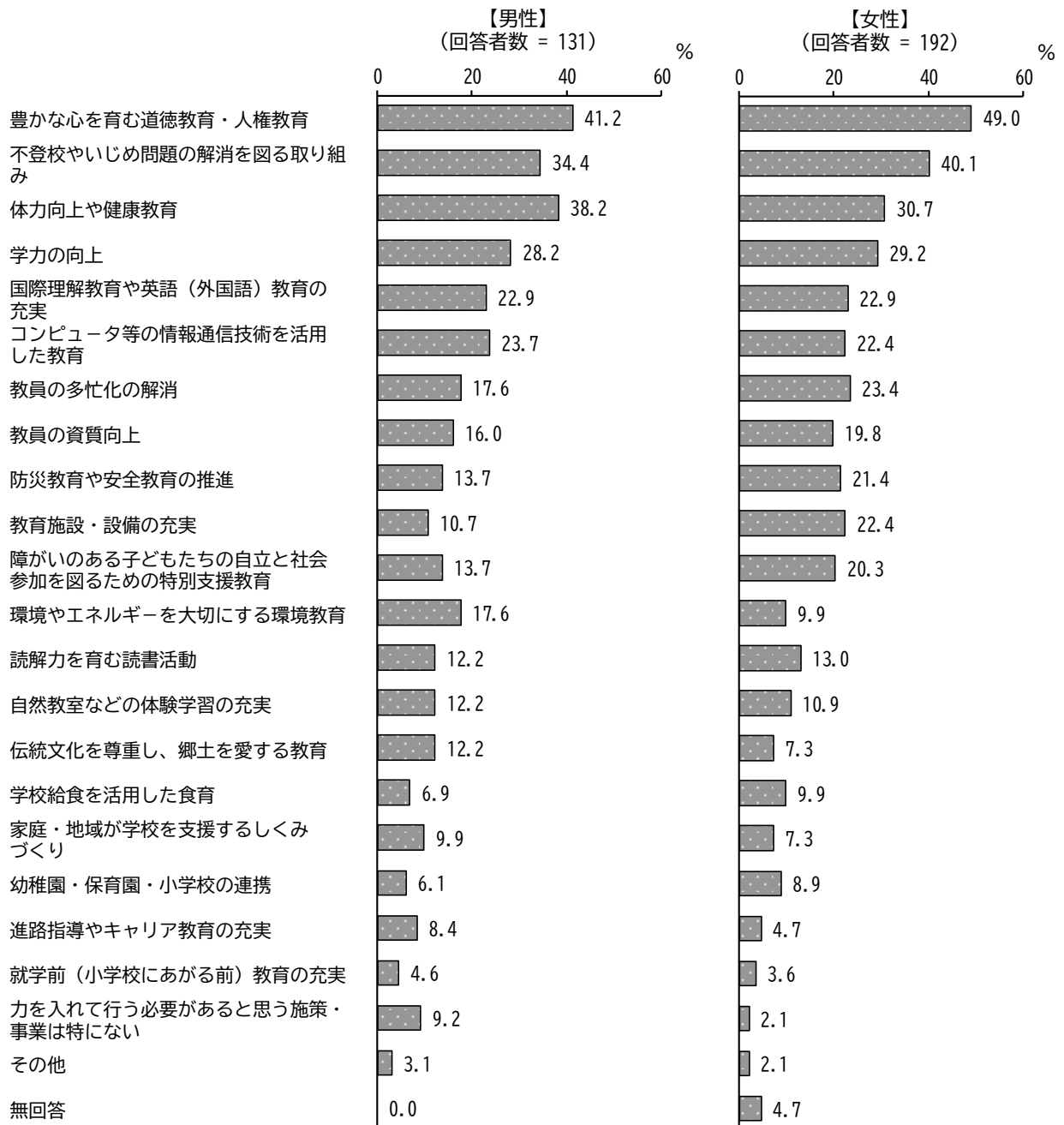
問 12. 裾野市が特に力を入れて行う必要があると思う教育施策や教育事業は何ですか。
学校教育、生涯学習、スポーツ活動について、それぞれご回答ください。

①学校教育について（5つまで○）



「豊かな心を育む道徳教育・人権教育」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が 38.0%、「体力向上や健康教育」の割合が 33.6%となっている。

【性別】



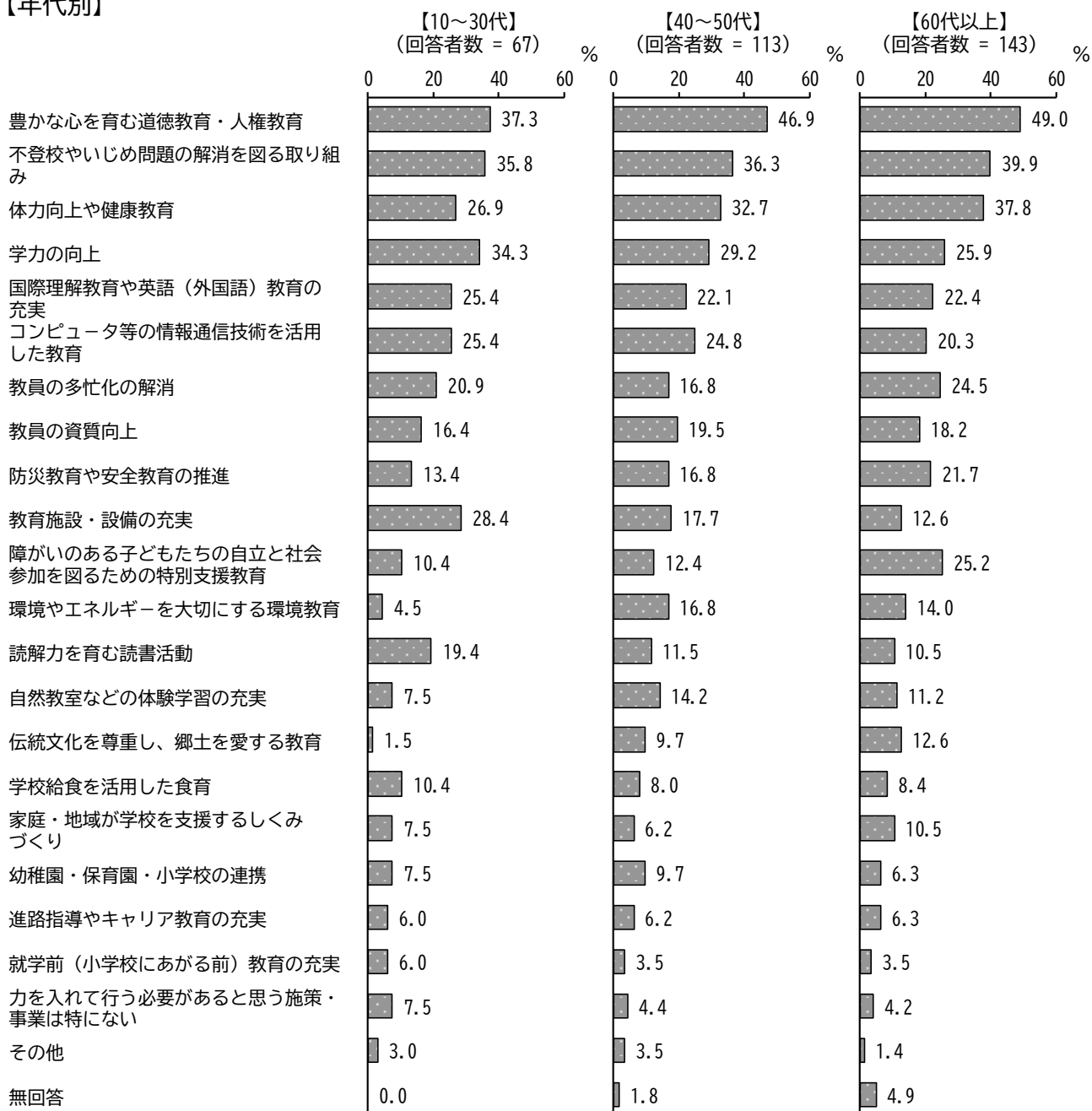
【男性】

「豊かな心を育む道德教育・人権教育」の割合が41.2%と最も高く、次いで「体力向上や健康教育」の割合が38.2%、「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が34.4%となっている。

【女性】

「豊かな心を育む道德教育・人権教育」の割合が49.0%と最も高く、次いで「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が40.1%、「体力向上や健康教育」の割合が30.7%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「豊かな心を育む道徳教育・人権教育」の割合が37.3%と最も高く、次いで「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が35.8%、「学力の向上」の割合が34.3%となっている。

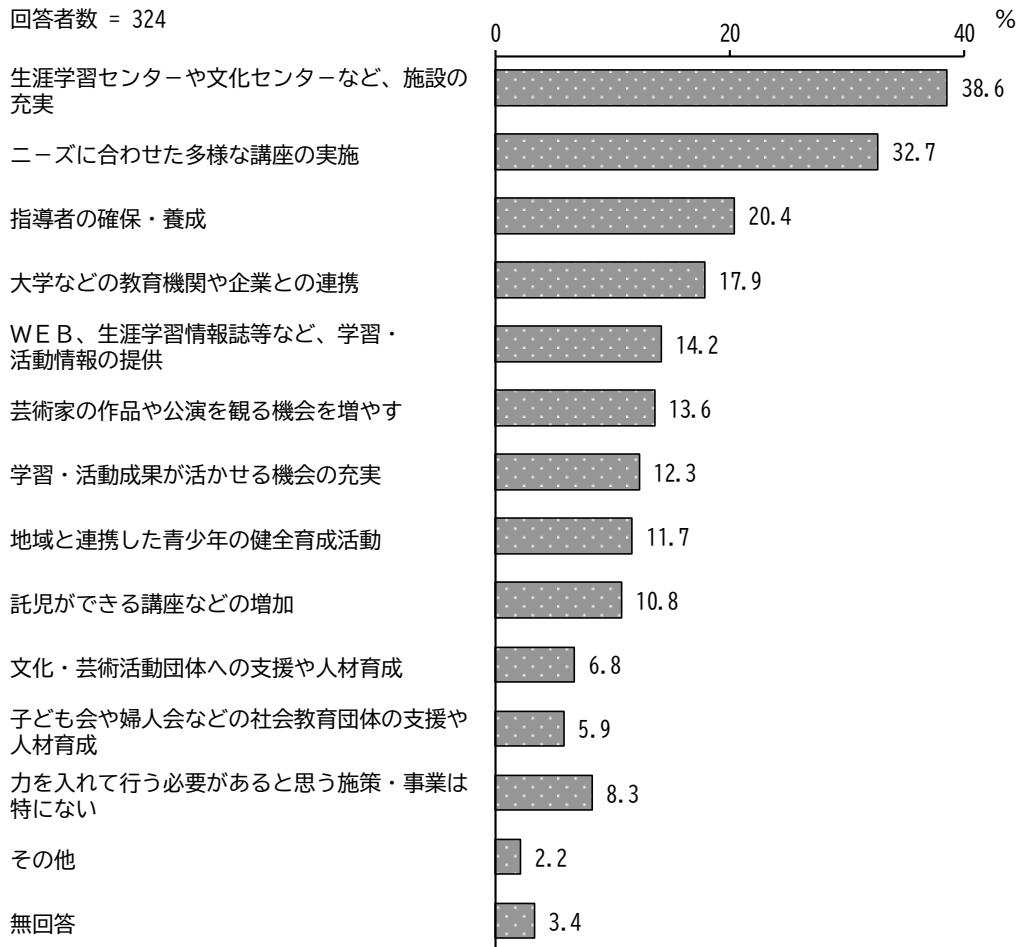
【40～50代】

「豊かな心を育む道徳教育・人権教育」の割合が46.9%と最も高く、次いで「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が36.3%、「体力向上や健康教育」の割合が32.7%となっている。

【60代以上】

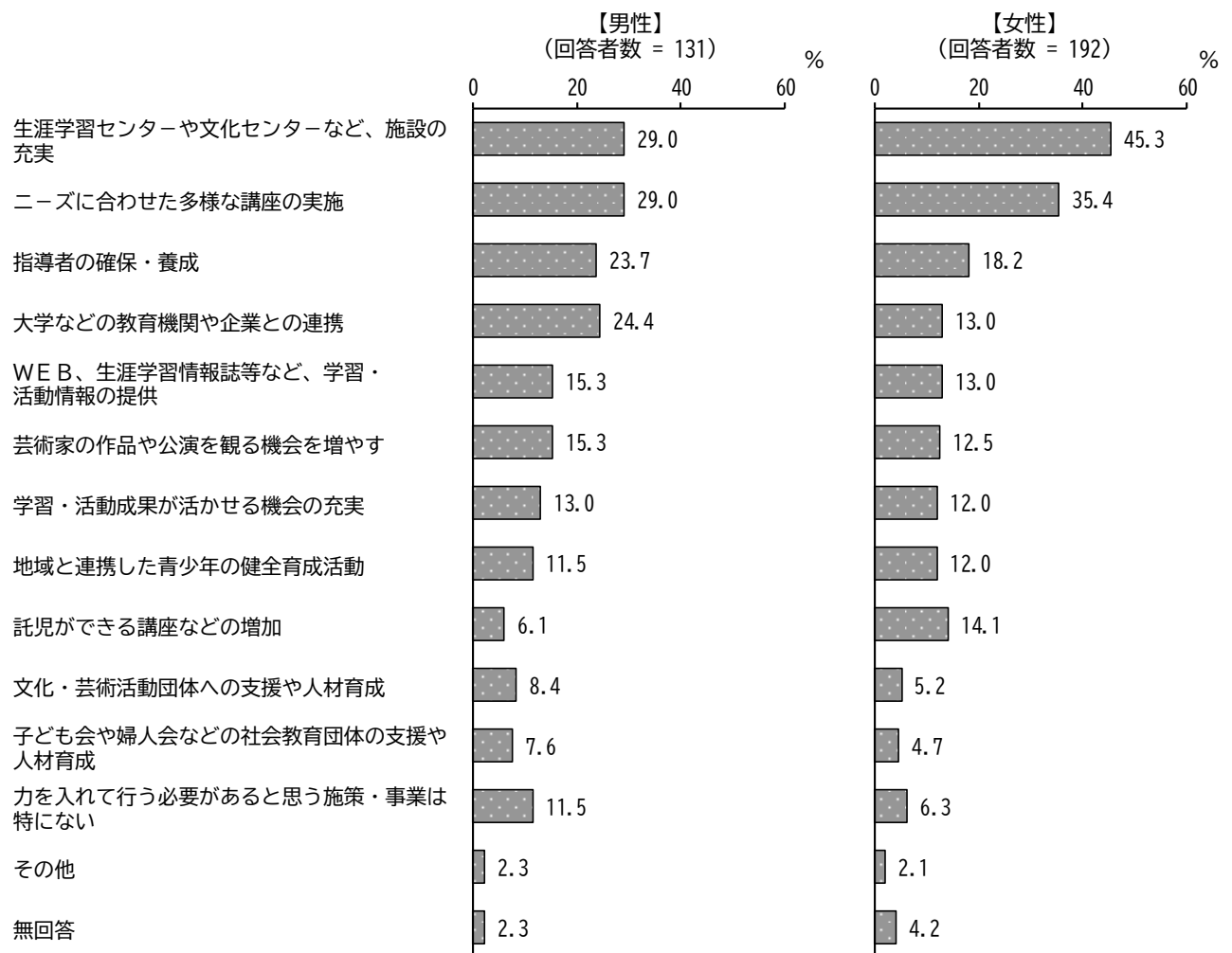
「豊かな心を育む道徳教育・人権教育」の割合が49.0%と最も高く、次いで「不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み」の割合が39.9%、「体力向上や健康教育」の割合が37.8%となっている。

②生涯学習について（3つまで○）



「生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「ニーズに合わせた多様な講座の実施」の割合が 32.7%、「指導者の確保・養成」の割合が 20.4%となっている。

【性別】



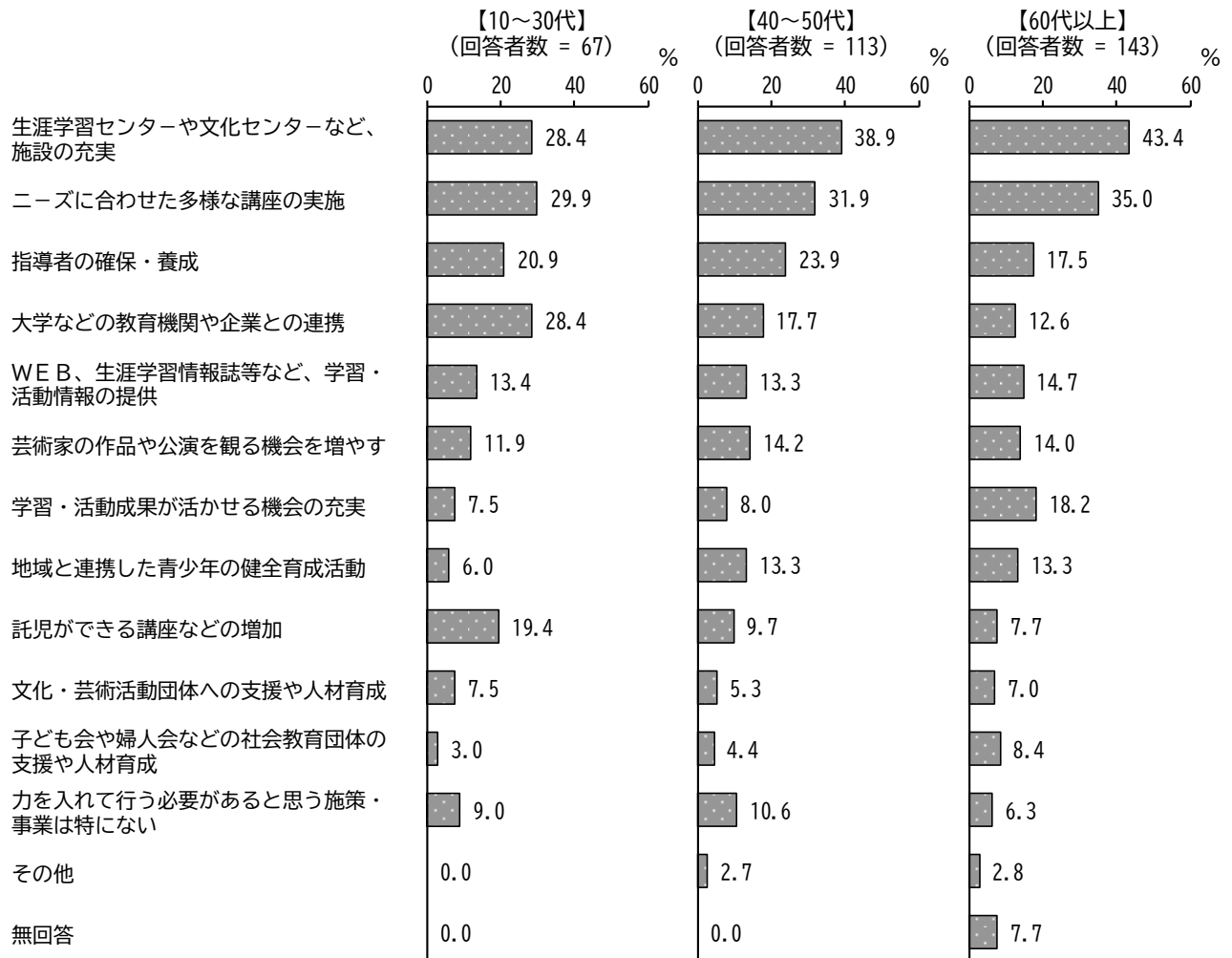
【男性】

「生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実」、「ニーズに合わせた多様な講座の実施」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「大学などの教育機関や企業との連携」の割合が 24.4%となっている。

【女性】

「生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「ニーズに合わせた多様な講座の実施」の割合が 35.4%、「指導者の確保・養成」の割合が 18.2%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「ニーズに合わせた多様な講座の実施」の割合が29.9%と最も高く、次いで「生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実」、「大学などの教育機関や企業との連携」の割合が28.4%となっている。

【40～50代】

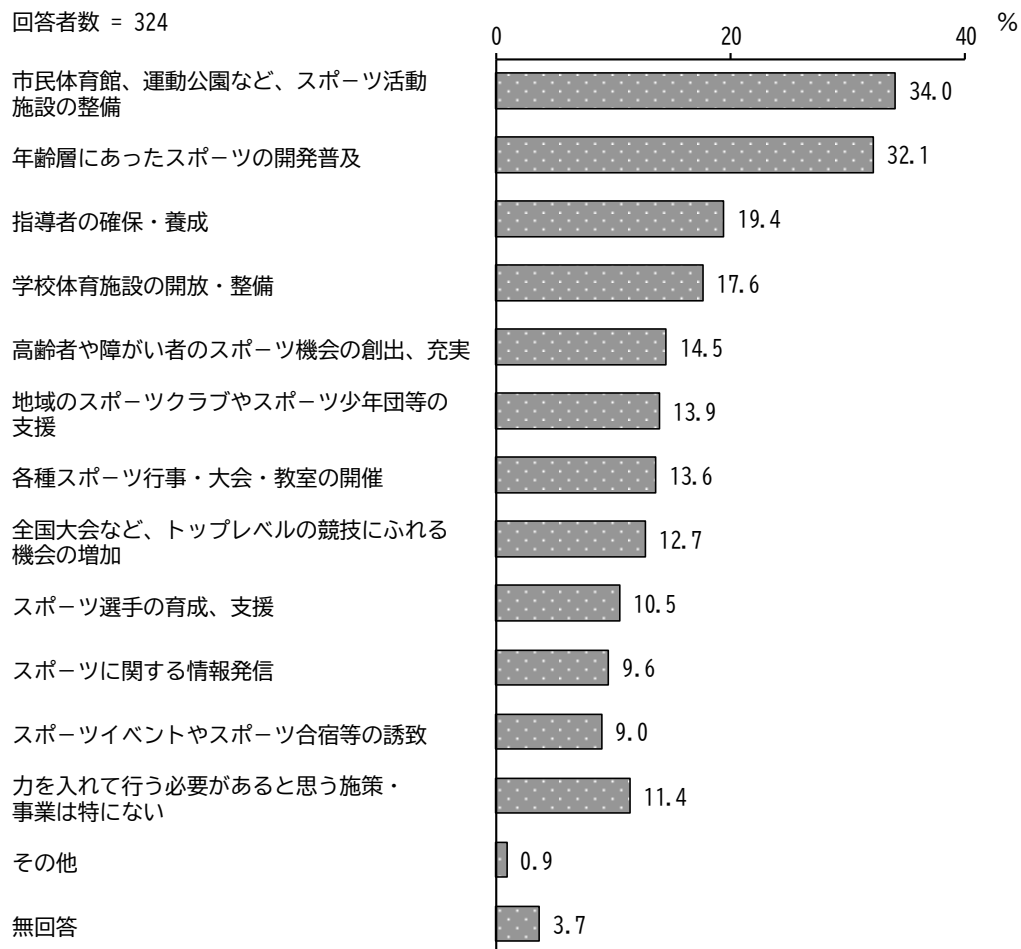
「生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実」の割合が38.9%と最も高く、次いで「ニーズに合わせた多様な講座の実施」の割合が31.9%、「指導者の確保・養成」の割合が23.9%となっている。

【60代以上】

「生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実」の割合が43.4%と最も高く、次いで「ニーズに合わせた多様な講座の実施」の割合が35.0%、「学習・活動成果が活かせる機会の充実」の割合が18.2%となっている。

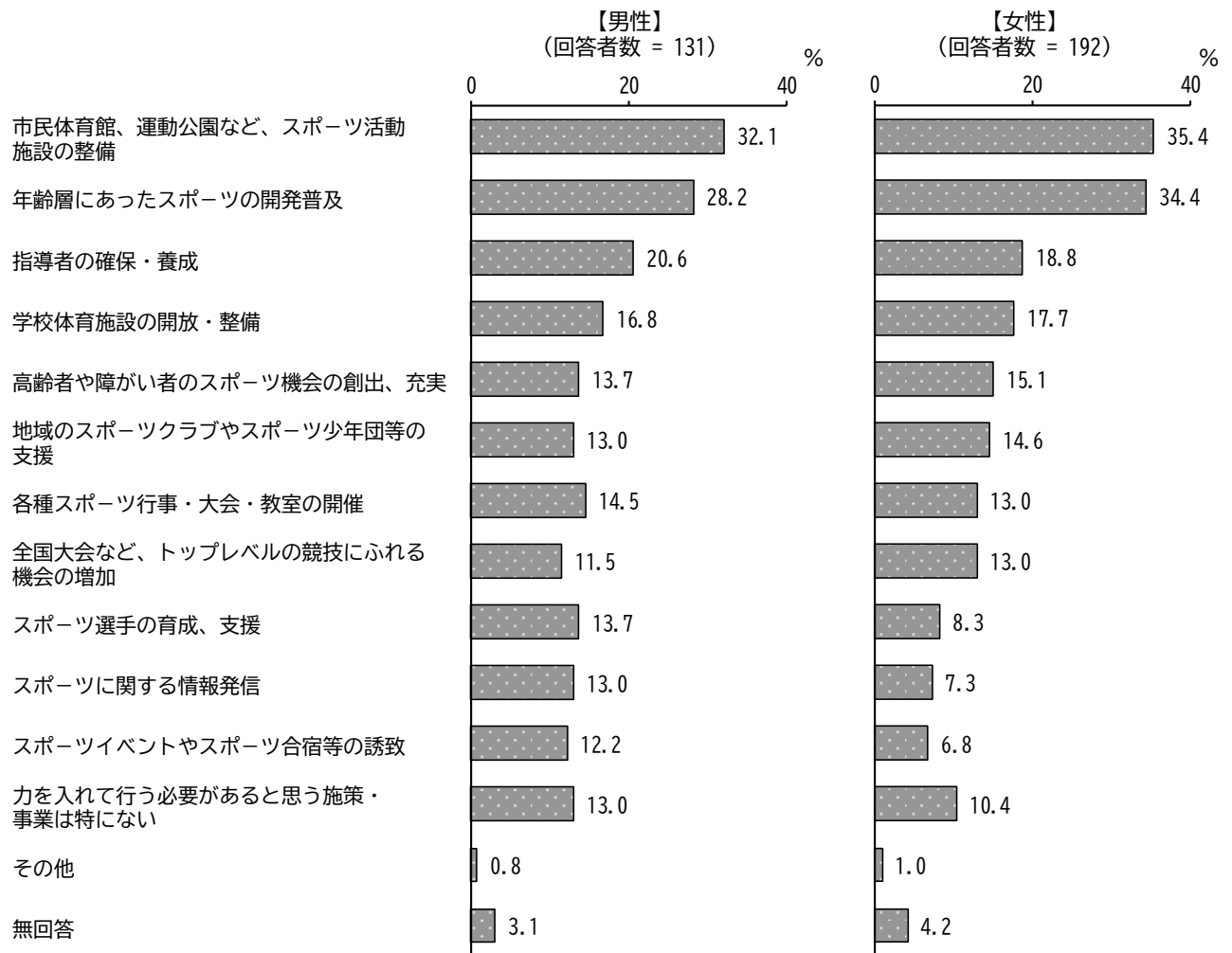
③スポーツ活動について（3つまで○）

回答者数 = 324



「市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が 32.1%、「指導者の確保・養成」の割合が 19.4%となっている。

【性別】



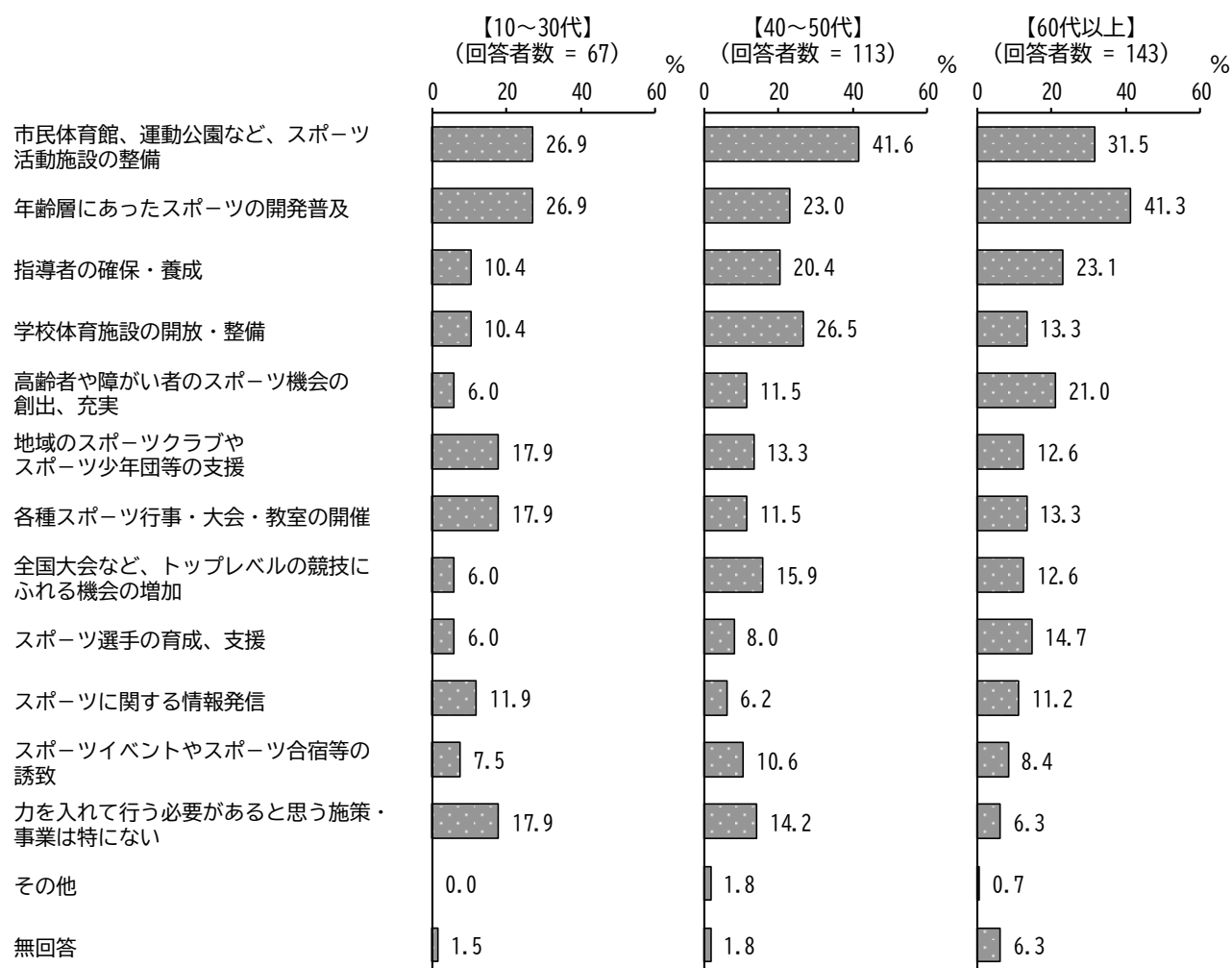
【男性】

「市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備」の割合が32.1%と最も高く、次いで「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が28.2%、「指導者の確保・養成」の割合が20.6%となっている。

【女性】

「市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備」の割合が35.4%と最も高く、次いで「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が34.4%、「指導者の確保・養成」の割合が18.8%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備」、「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の支援」、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」の割合が 17.9%となっている。

【40～50代】

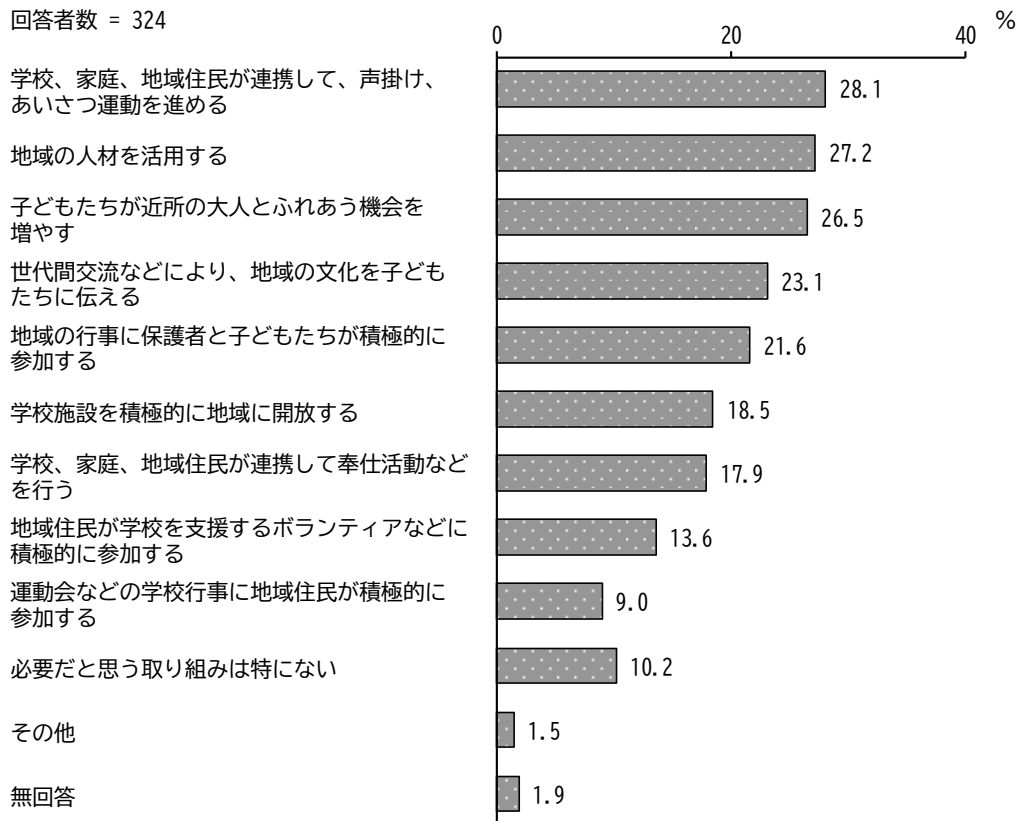
「市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「学校体育施設の開放・整備」の割合が 26.5%、「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が 23.0%となっている。

【60代以上】

「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備」の割合が 31.5%、「指導者の確保・養成」の割合が 23.1%となっている。

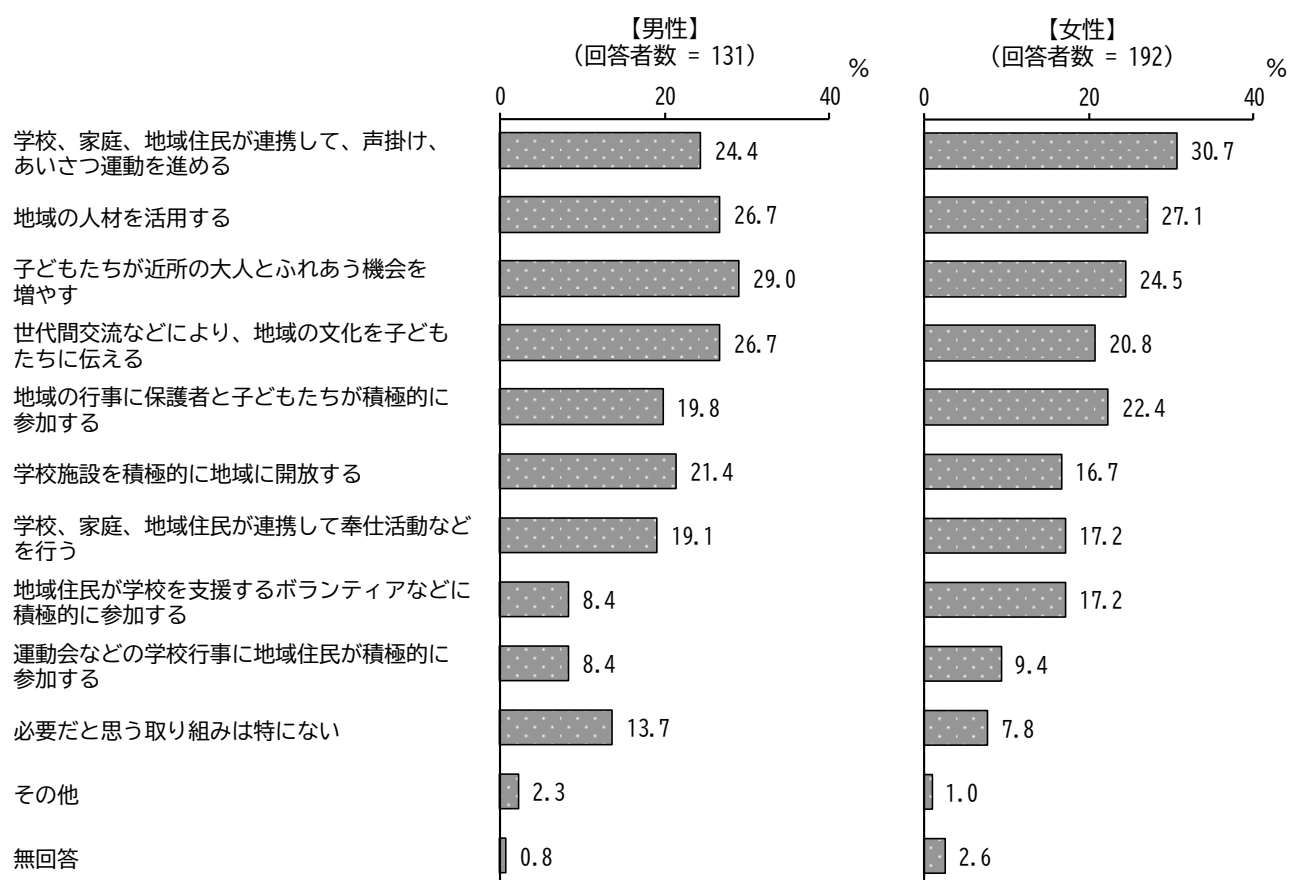
(2) 社会全体の教育力を高めるために必要だと思う取り組み

問 13. 学校・地域・家庭の連携により社会全体の教育力を高めるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで○)



「学校、家庭、地域住民が連携して、声掛け、あいさつ運動を進める」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「地域の人材を活用する」の割合が 27.2%、「子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす」の割合が 26.5%となっている。

【性別】



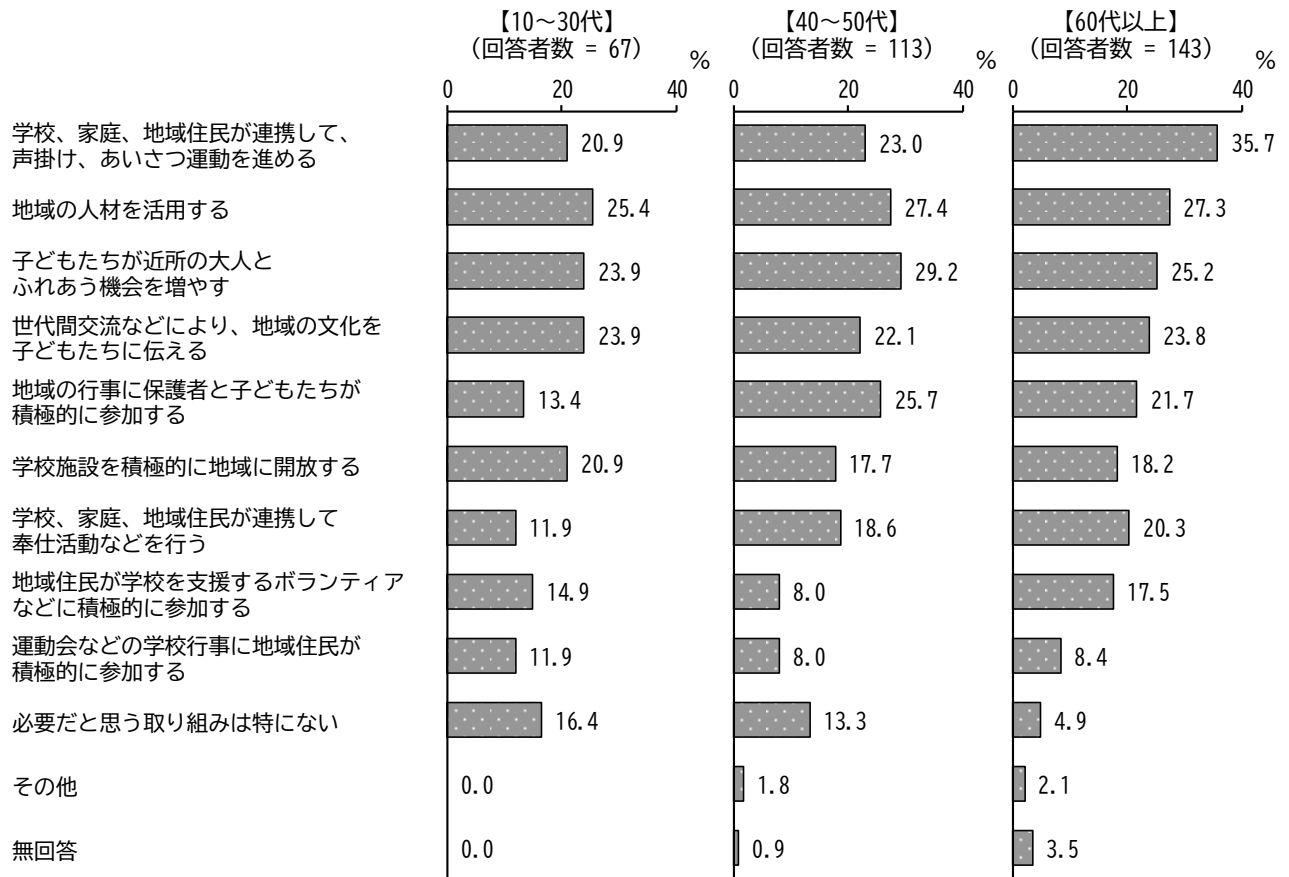
【男性】

「子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす」の割合が29.0%と最も高く、次いで「地域の人材を活用する」、「世代間交流などにより、地域の文化を子どもたちに伝える」の割合が26.7%となっている。

【女性】

「学校、家庭、地域住民が連携して、声掛け、あいさつ運動を進める」の割合が30.7%と最も高く、次いで「地域の人材を活用する」の割合が27.1%、「子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす」の割合が24.5%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「地域の人材を活用する」の割合が25.4%と最も高く、次いで「子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす」、「世代間交流などにより、地域の文化を子どもたちに伝える」の割合が23.9%となっている。

【40～50代】

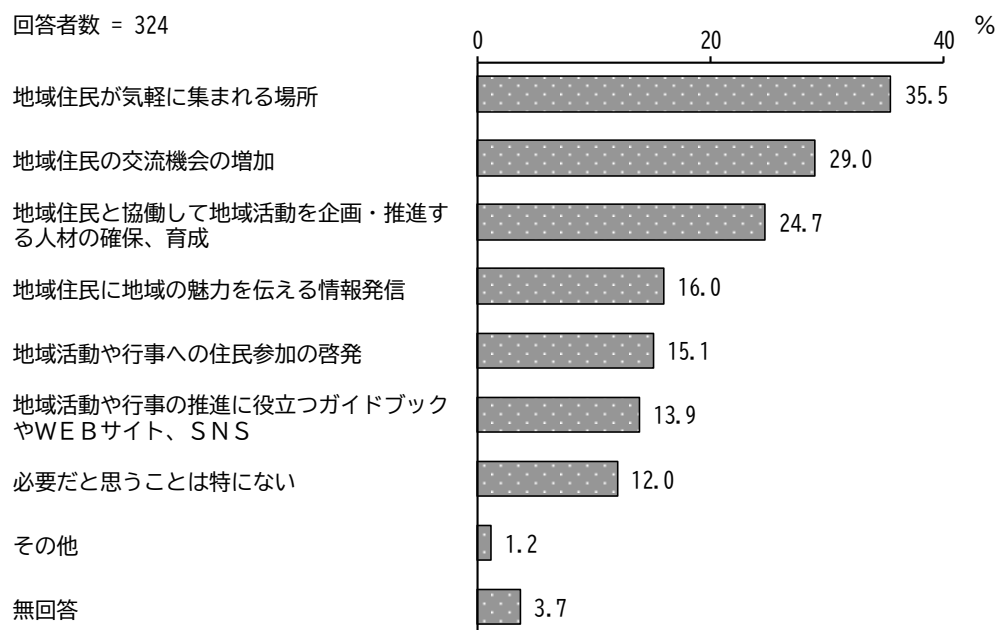
「子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす」の割合が29.2%と最も高く、次いで「地域の人材を活用する」の割合が27.4%、「地域の行事に保護者と子どもたちが積極的に参加する」の割合が25.7%となっている。

【60代以上】

「学校、家庭、地域住民が連携して、声掛け、あいさつ運動を進める」の割合が35.7%と最も高く、次いで「地域の人材を活用する」の割合が27.3%、「子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす」の割合が25.2%となっている。

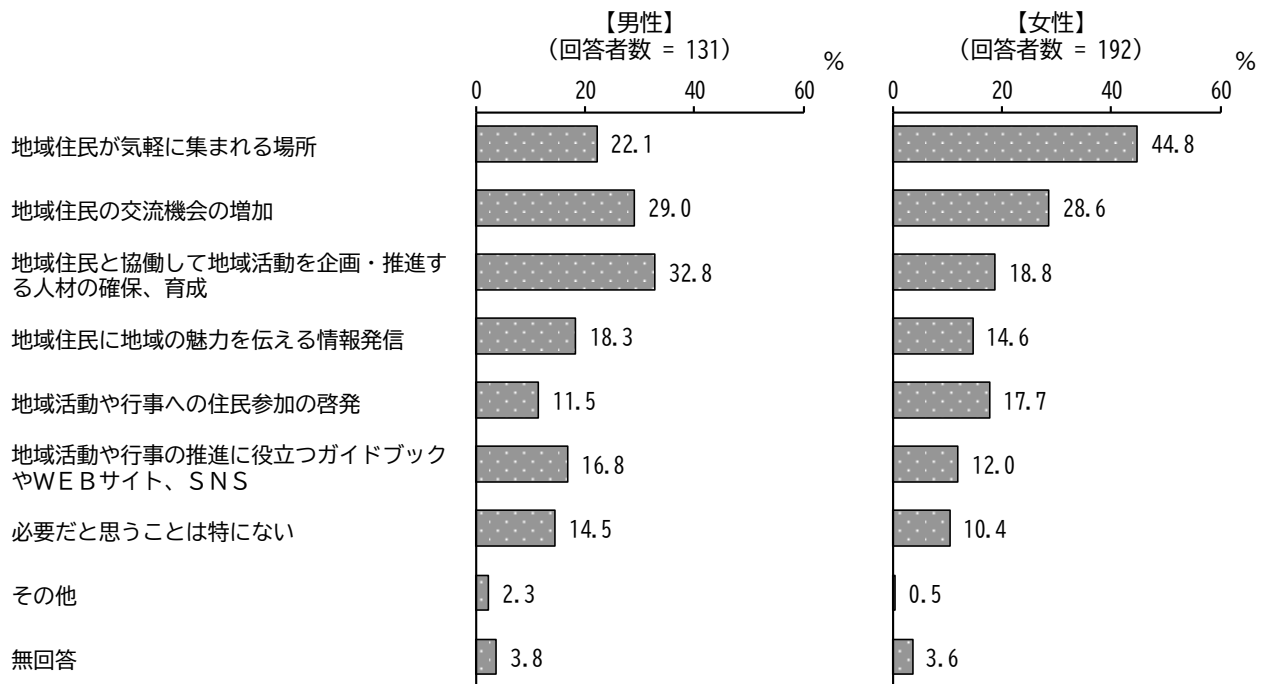
(3) 地域住民のつながりを広げるために必要だと思うこと

問 14. 地域をより良くするためには人と人のつながりが大切です。
地域住民のつながりのためには何が必要だと思いますか。(2つまで○)



「地域住民が気軽に集まれる場所」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「地域住民の交流機会の増加」の割合が 29.0%、「地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成」の割合が 24.7%となっている。

【性別】



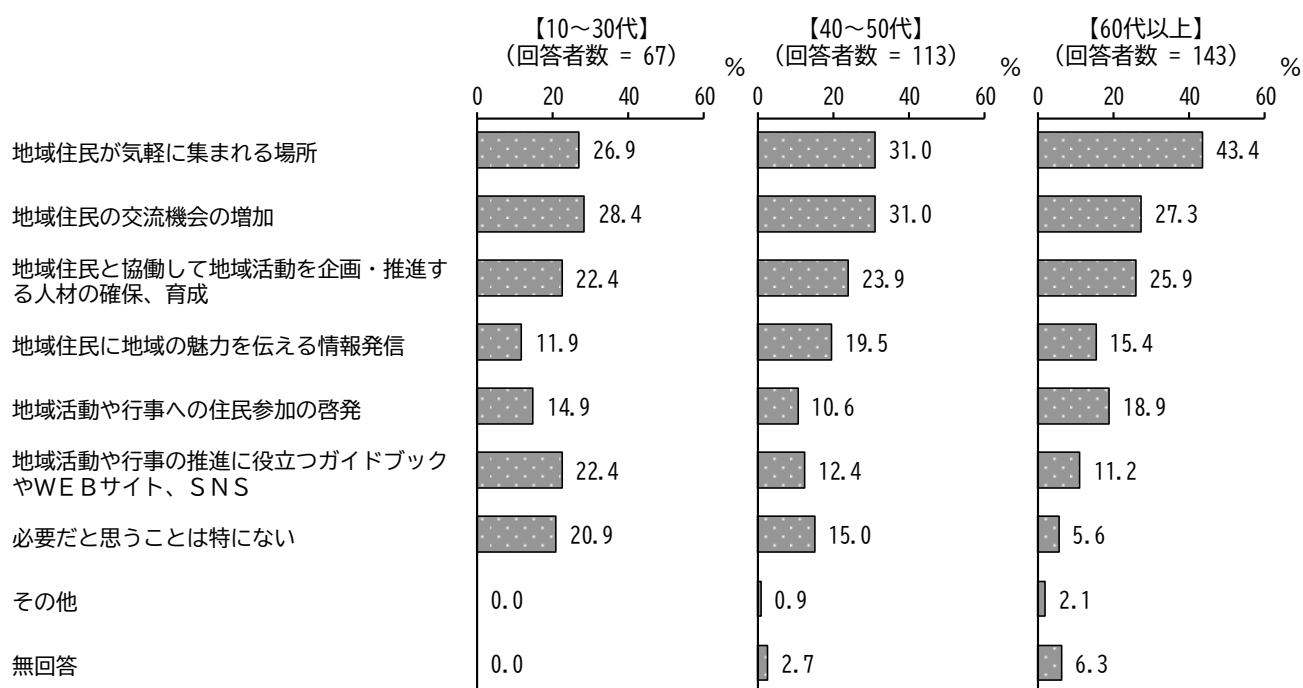
【男性】

「地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成」の割合が32.8%と最も高く、次いで「地域住民の交流機会の増加」の割合が29.0%、「地域住民が気軽に集まれる場所」の割合が22.1%となっている。

【女性】

「地域住民が気軽に集まれる場所」の割合が44.8%と最も高く、次いで「地域住民の交流機会の増加」の割合が28.6%、「地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成」の割合が18.8%となっている。

【年代別】



【10～30代】

「地域住民の交流機会の増加」の割合が28.4%と最も高く、次いで「地域住民が気軽に集まれる場所」の割合が26.9%、「地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成」、「地域活動や行事の推進に役立つガイドブックやWEBサイト、SNS」の割合が22.4%となっている。

【40～50代】

「地域住民が気軽に集まれる場所」、「地域住民の交流機会の増加」の割合が31.0%と最も高く、次いで「地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成」の割合が23.9%となっている。

【60代以上】

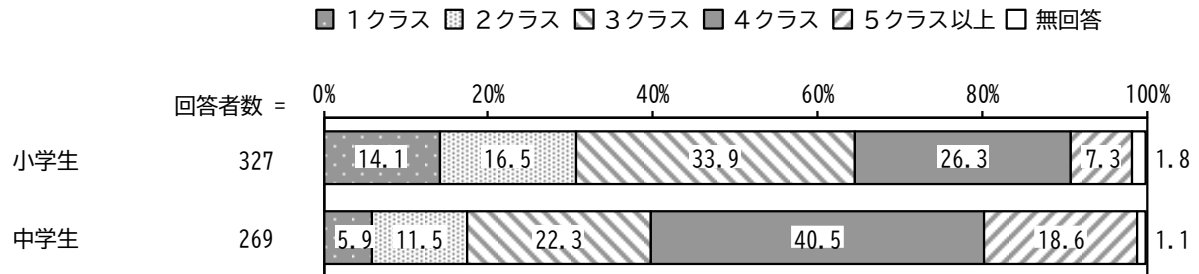
「地域住民が気軽に集まれる場所」の割合が43.4%と最も高く、次いで「地域住民の交流機会の増加」の割合が27.3%、「地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成」の割合が25.9%となっている。

V 調査の結果
【裾野市の教育のあり方に関すること】
≪児童・生徒≫

V 調査の結果【裾野市の教育のあり方に関すること】《児童・生徒》

(1) 1学年にあったらいいと思うクラス数

【問 12】 あなたは同じ学年にクラスがいくつあったらいいと思いますか。



【小学生】

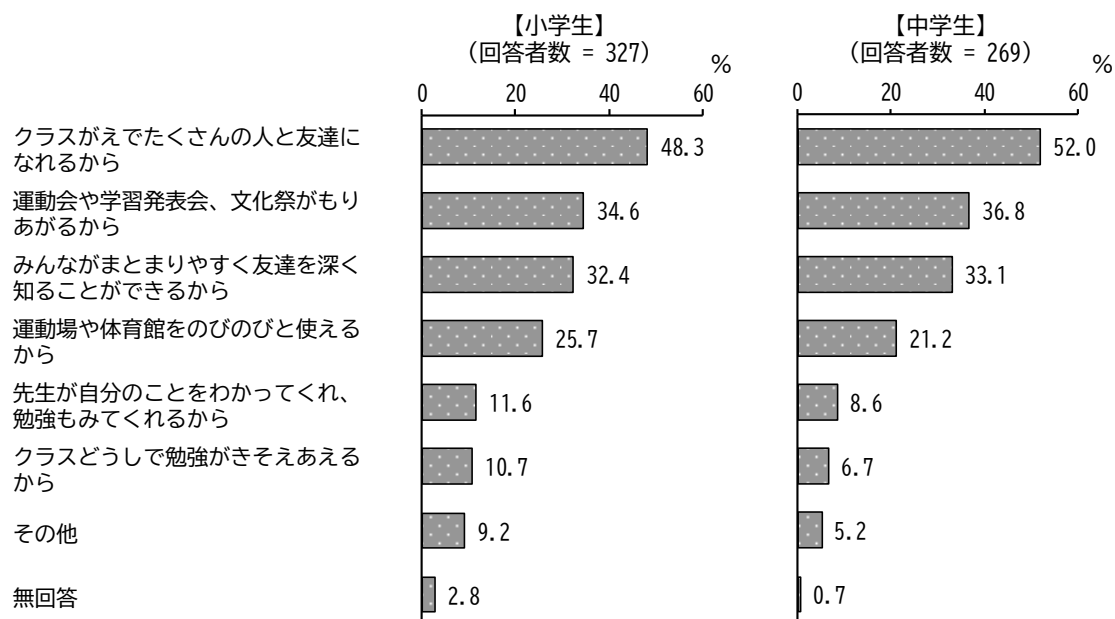
「3クラス」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「4クラス」の割合が 26.3%、「2クラス」の割合が 16.5%となっている。

【中学生】

「4クラス」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「3クラス」の割合が 22.3%、「5クラス以上」の割合が 18.6%となっている。

(2) その理由

【問 12-1】 それはどうしてですか。(2つまで○)



【小学生】

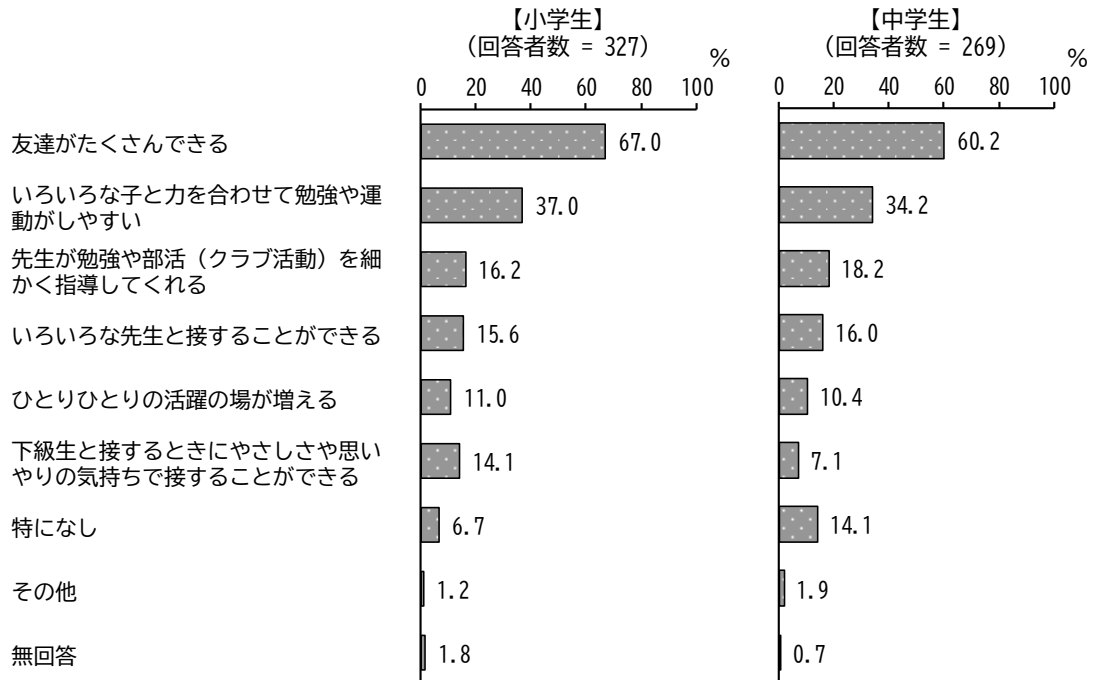
「クラスがえてたくさんの人と友達になれるから」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「運動会や学習発表会、文化祭がもりあがるから」の割合が 34.6%、「みんながまとまりやすく友達を深く知ることができるから」の割合が 32.4%となっている。

【中学生】

「クラスがえてたくさんの人と友達になれるから」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「運動会や学習発表会、文化祭がもりあがるから」の割合が 36.8%、「みんながまとまりやすく友達を深く知ることができるから」の割合が 33.1%となっている。

(3) 学校のいいなと感じる点

【問 13】 学校がいいなと感じる点がありますか。(2つまで○)



【小学生】

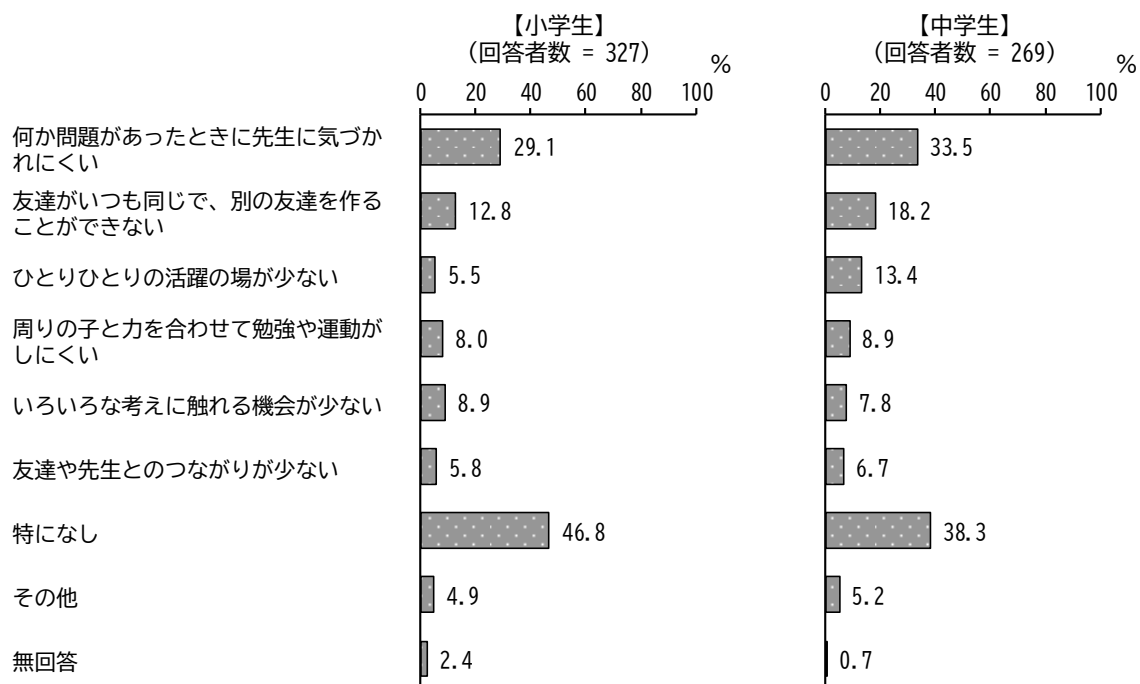
「友達がたくさんできる」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「いろいろな子と力を合わせて勉強や運動がしやすい」の割合が 37.0%、「先生が勉強や部活（クラブ活動）を細かく指導してくれる」の割合が 16.2%となっている。

【中学生】

「友達がたくさんできる」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「いろいろな子と力を合わせて勉強や運動がしやすい」の割合が 34.2%、「先生が勉強や部活（クラブ活動）を細かく指導してくれる」の割合が 18.2%となっている。

(3) 学校がよくないと感じる点

【問 14】 学校がよくないと感じる点がありますか。(2つまで○)



【小学生】

「特になし」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「何か問題があったときに先生に気づかれにくい」の割合が 29.1%、「友達がいつも同じで、別の友達を作ることができない」の割合が 12.8%となっている。

【中学生】

「特になし」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「何か問題があったときに先生に気づかれにくい」の割合が 33.5%、「友達がいつも同じで、別の友達を作ることができない」の割合が 18.2%となっている。

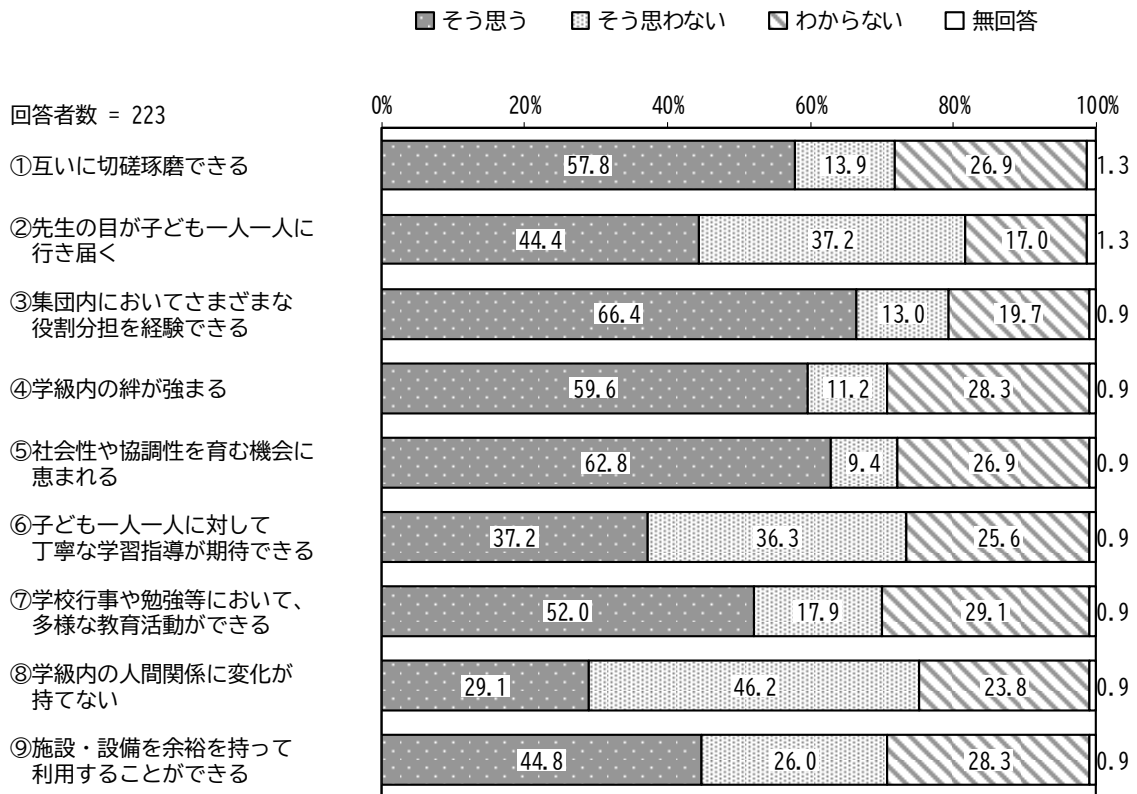
VI 調査の結果
【裾野市の教育のあり方に関すること】
≪保護者・市民≫

VI 調査の結果【裾野市の教育のあり方に関すること】《保護者・市民》

(1) 小学校5年生の教育環境[平均児童数]

【問1】 お子さんの出身小学校・お住いの学区の5年生の1学級の平均児童数をご覧になり教育環境をどう思いますか。(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

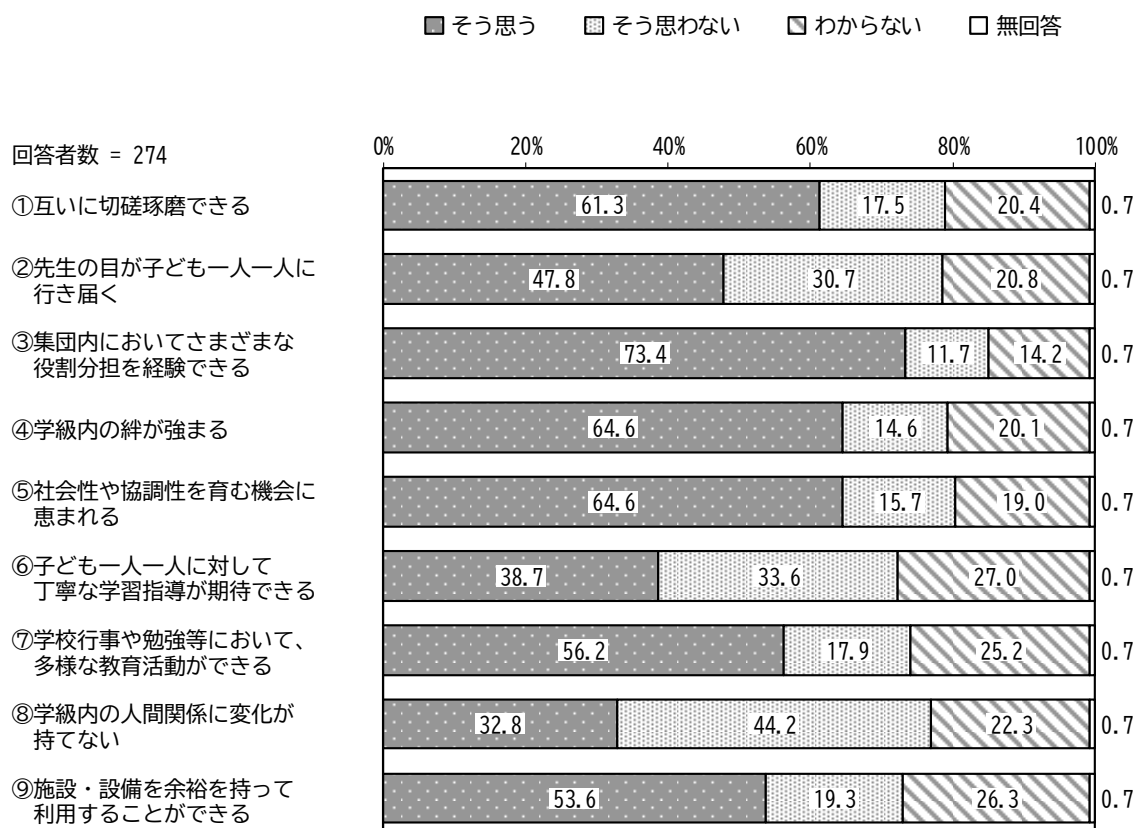


【年長児保護者】

「そう思う」が最も多いのは《③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる》(66.4%)で、《⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる》(62.8%)、《④学級内の絆が強まる》(59.6%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《⑧学級内の人間関係に変化が持てない》(46.2%)で、《②先生が目子ども一人一人に行き届く》(37.2%)、《⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる》(36.3%)が続いている。

【小学生保護者】

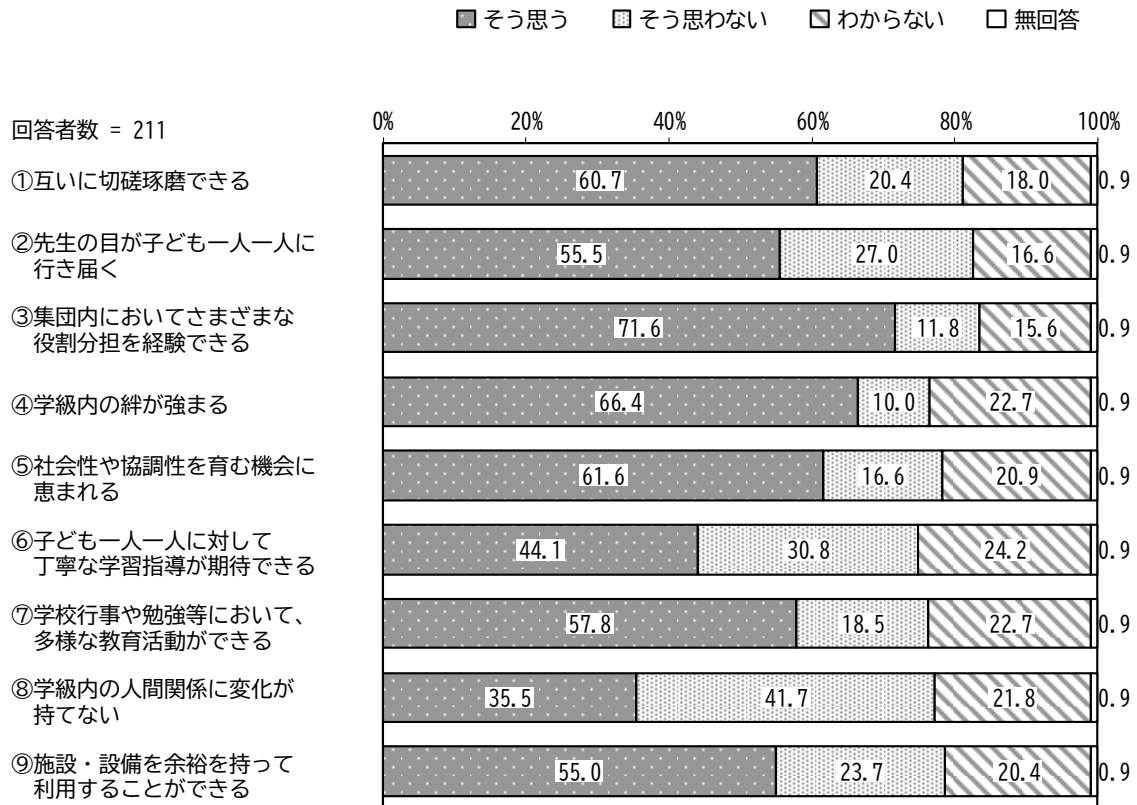


【小学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは「③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる」(73.4%)で、「④学級内の絆が強まる」(64.6%)、「⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる」(64.6%)が同率で続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑧学級内の人間関係に変化が持てない」(44.2%)で、「⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる」(33.6%)、「②先生が目が子ども一人一人に行き届く」(30.7%)が続いている。

【中学生保護者】

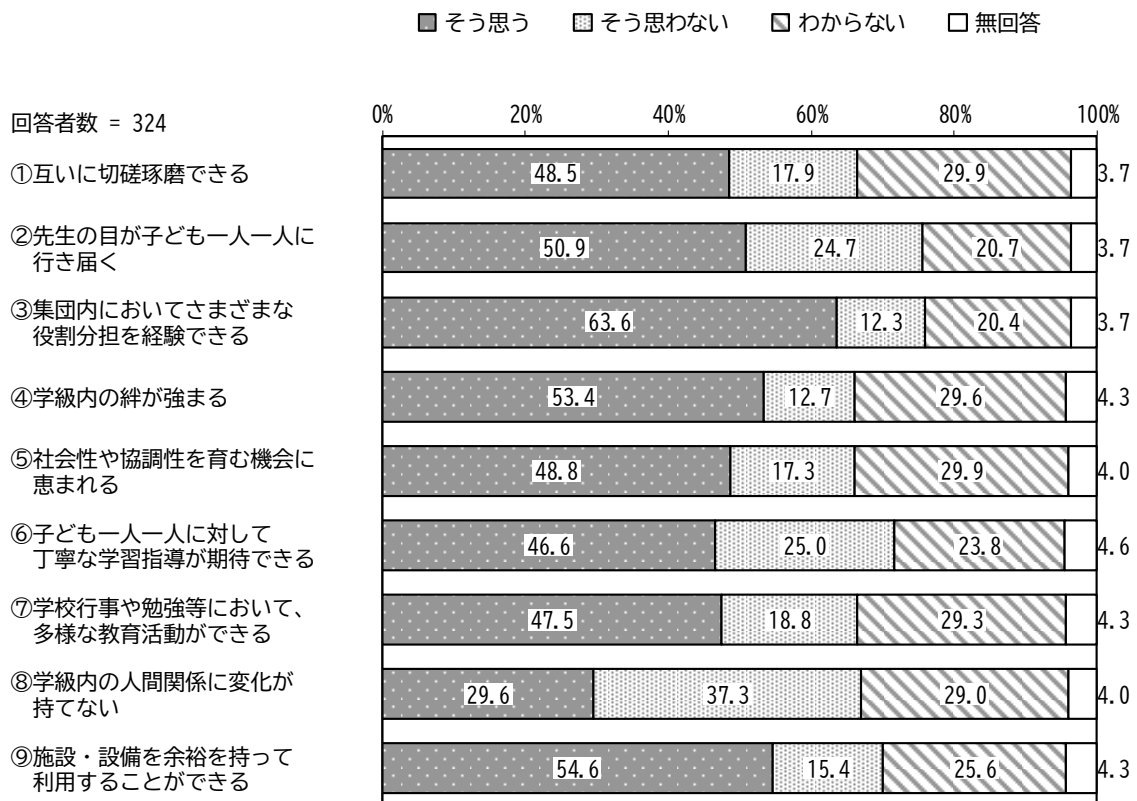


【中学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは《③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる》(71.6%)で、《④学級内の絆が強まる》(66.4%)、《⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる》(61.6%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《⑧学級内の人間関係に変化が持てない》(41.7%)で、《⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる》(30.8%)、《②先生が目が子ども一人一人に行き届く》(27.0%)が続いている。

【市民】



【市民】

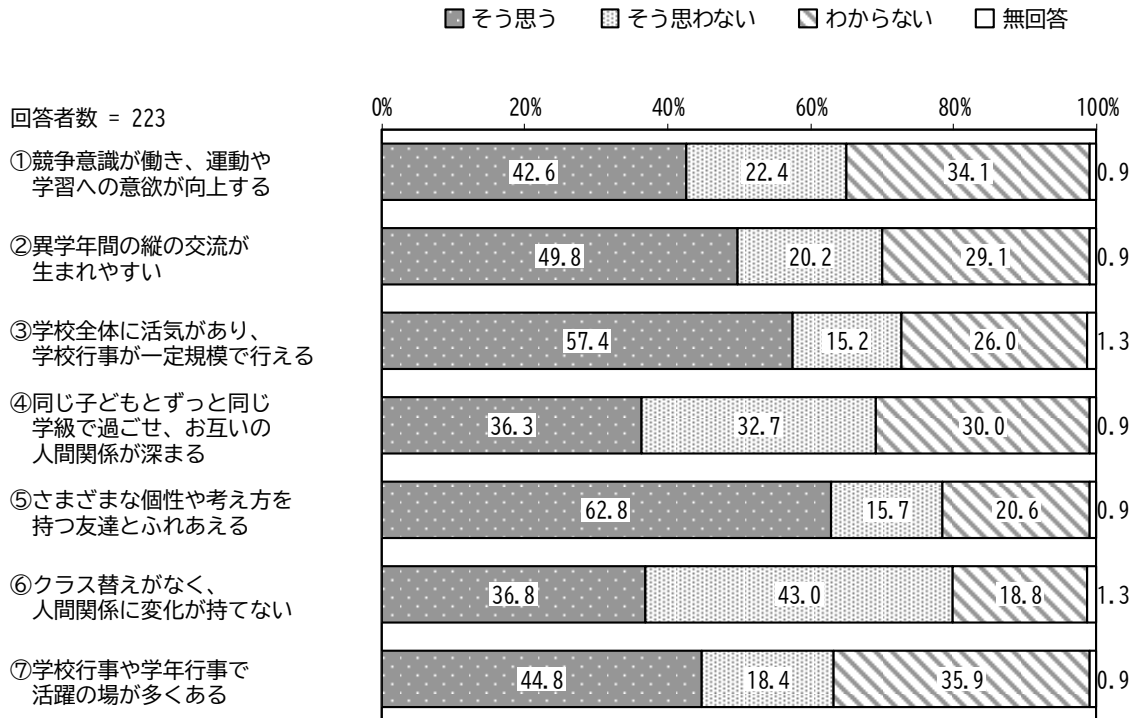
「そう思う」が最も多いのは「③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる」(63.6%)で、「⑨施設・設備を余裕を持って利用することができる」(54.6%)、「④学級内の絆が強まる」(53.4%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑧学級内の人間関係に変化が持てない」(37.3%)で、「⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる」(25.0%)、「②先生の目が子ども一人一人に行き届く」(24.7%)が続いている。

(2) 小学校5年生の教育環境[学級数]

【問2】 お子さんの出身小学校、お住いの学区の5年生の学級数をご覧になり、教育環境をどう思いますか。(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

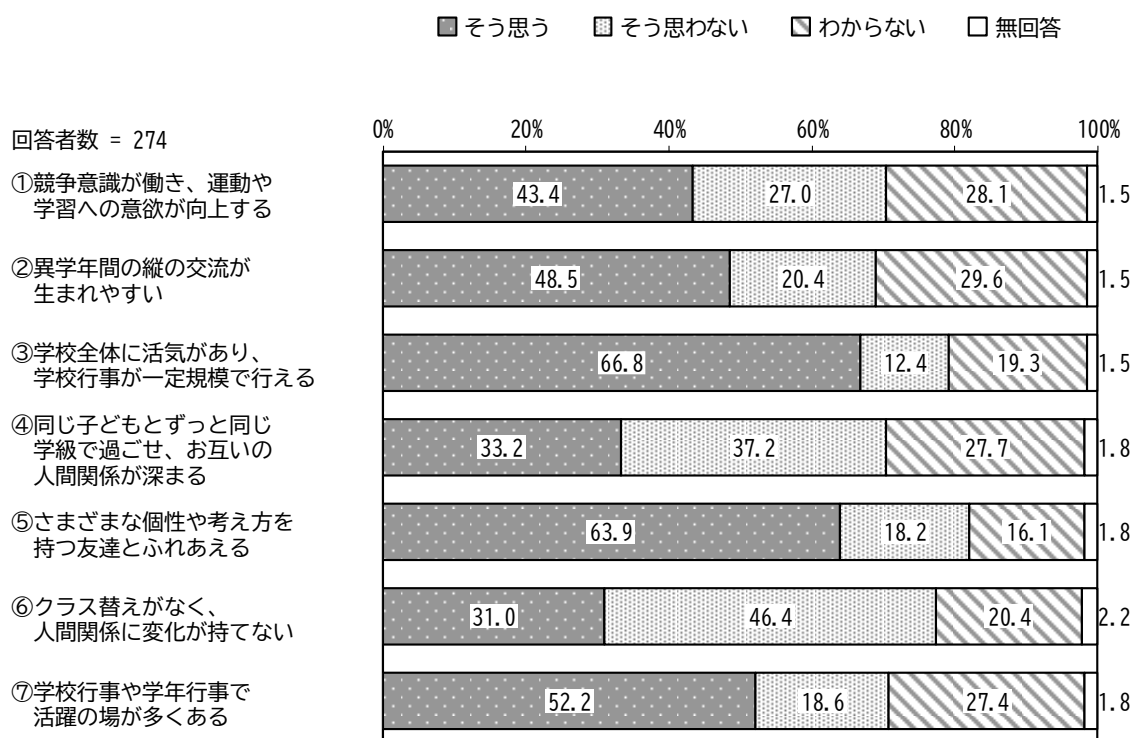


【年長児保護者】

「そう思う」が最も多いのは《⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる》(62.8%)で、《③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える》(57.4%)、《②異学年間の縦の交流が生まれやすい》(49.8%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない》(43.0%)で、《④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる》(32.7%)、《①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する》(22.4%)が続いている。

【小学生保護者】

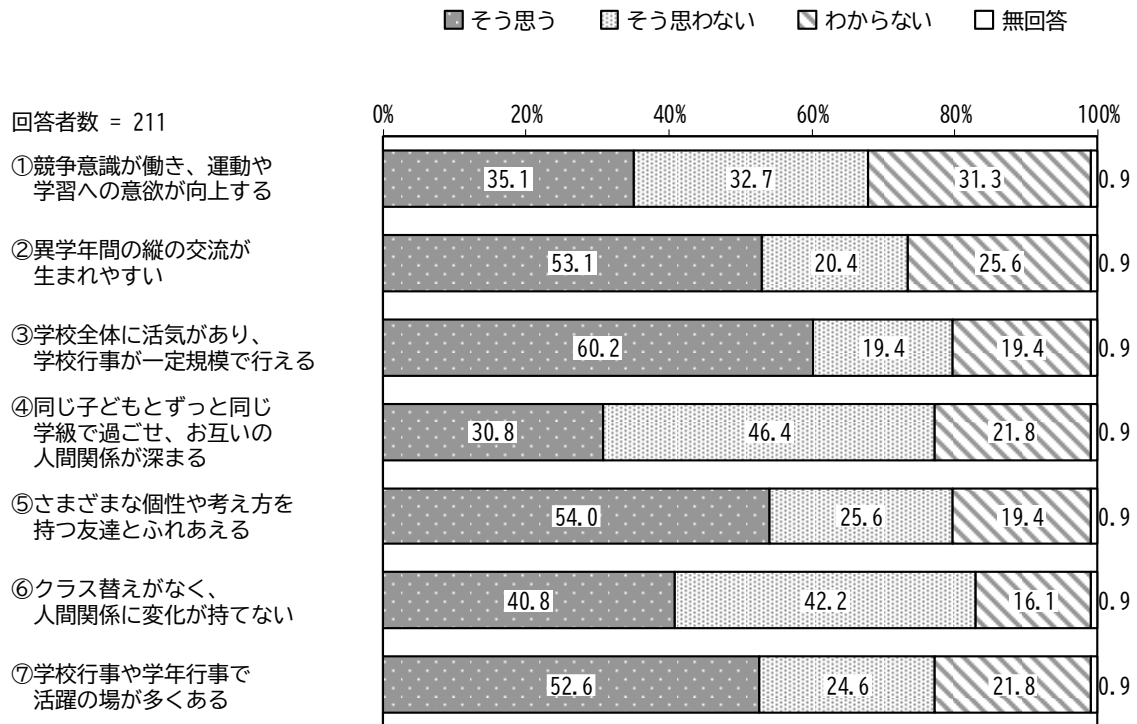


【小学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは「③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える」(66.8%)で、「⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる」(63.9%)、「⑦学校行事や学年行事で活躍の場が多くある」(52.2%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない」(46.4%)で、「④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる」(37.2%)、「①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する」(27.0%)が続いている。

【中学生保護者】

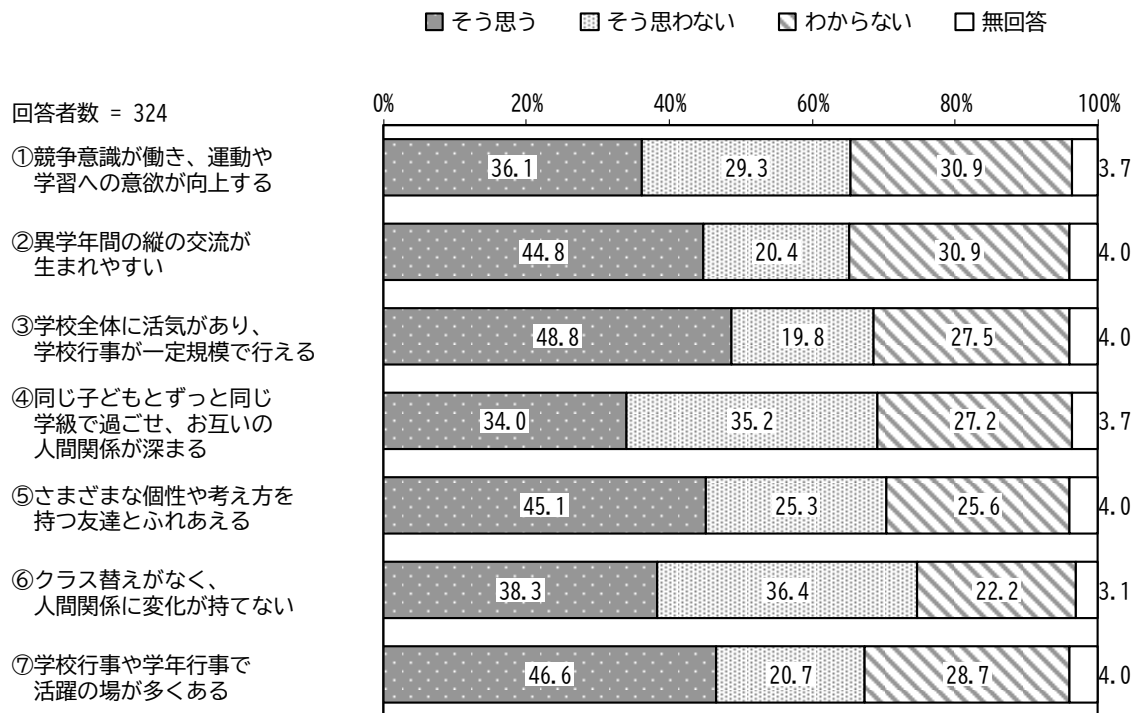


【中学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは《③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える》（60.2%）で、《⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる》（54.0%）、《②異学年間の縦の交流が生まれやすい》（53.1%）が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる》（46.4%）で、《⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない》（42.2%）、《①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する》（32.7%）が続いている。

【市民】



【市民】

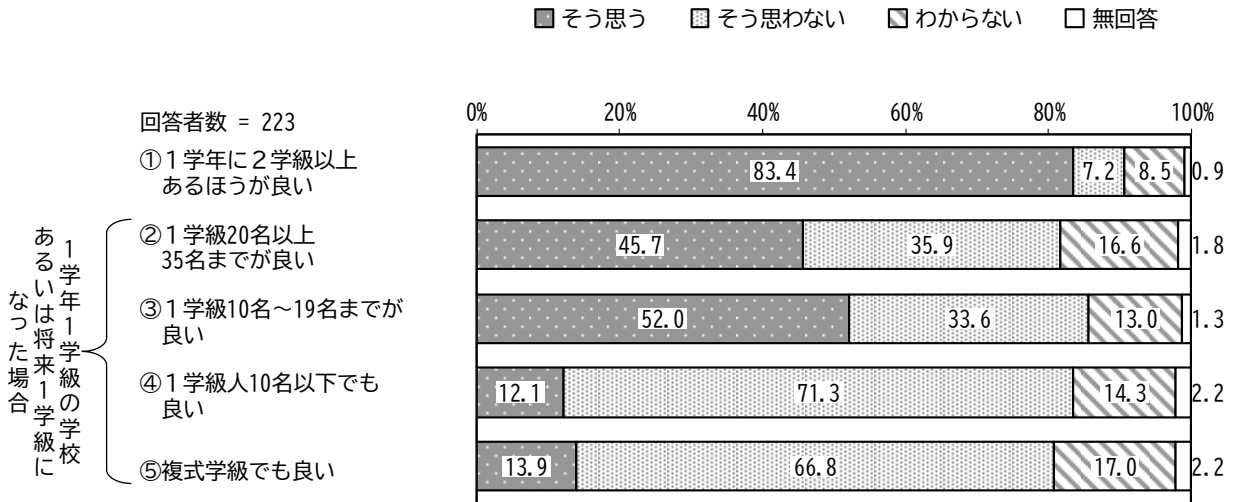
「そう思う」が最も多いのは「③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える」(48.8%)で、「⑦学校行事や学年行事で活躍の場が多くある」(46.6%)、「⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる」(45.1%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない」(36.4%)で、「④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる」(35.2%)、「①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する」(29.3%)が続いている。

(3) 裾野市の小学校規模

【問3】裾野市の小学校規模についてどう思いますか。(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

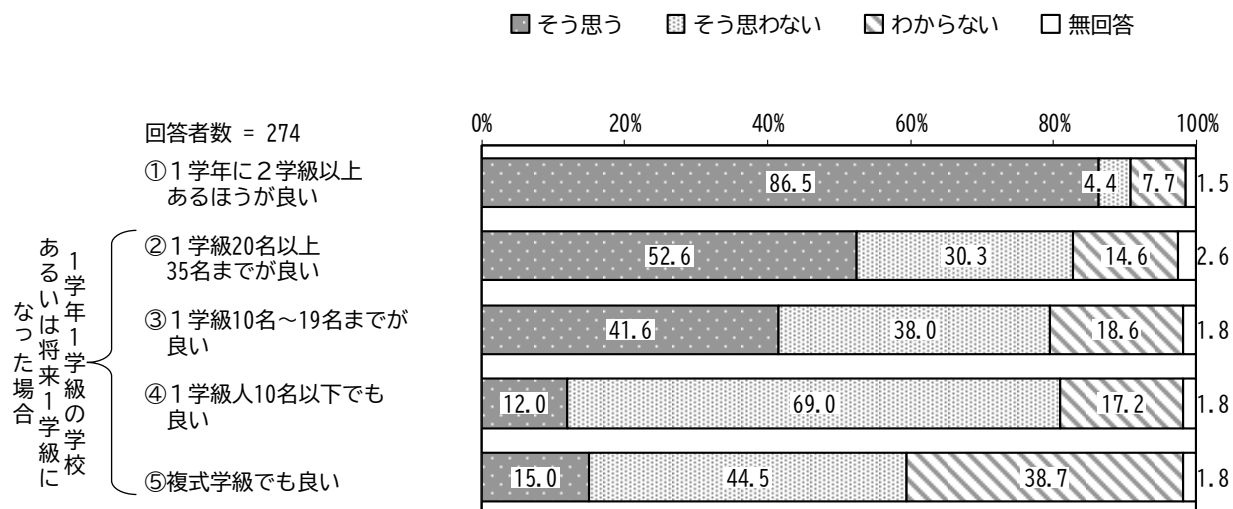


【年長児保護者】

「そう思う」が最も多いのは《① 1学年に2学級以上あるほうが良い》(83.4%)で、《③ 1学級10名～19名までが良い》(52.0%)、《② 1学年1学級の学校あるいは将来1学級になった場合1学級20名以上35名までが良い》(45.7%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《④ 1学級10名以下でも良い》(71.3%)で、《⑤ 複式学級でも良い》(66.8%)、《② 1学級20名以上35名までが良い》(35.9%)が続いている。

【小学生保護者】

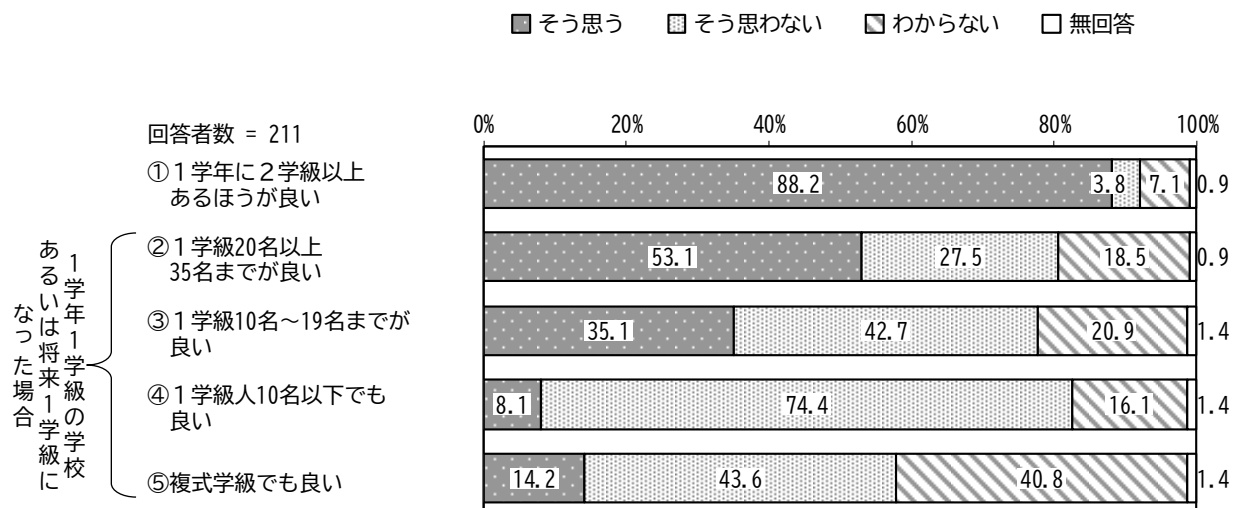


【小学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは「① 1学年に2学級以上あるほうが良い」（86.5%）で、「② 1学級 20 名以上 35 名までが良い」（52.6%）、「③ 1 学級 10 名～19 名までが良い」（41.6%）が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「④ 1 学級人 10 名以下でも良い」（69.0%）で、「⑤ 複式学級でも良い」（44.5%）、「③ 1 学級 10 名～19 名までが良い」（38.0%）が続いている。

【中学生保護者】

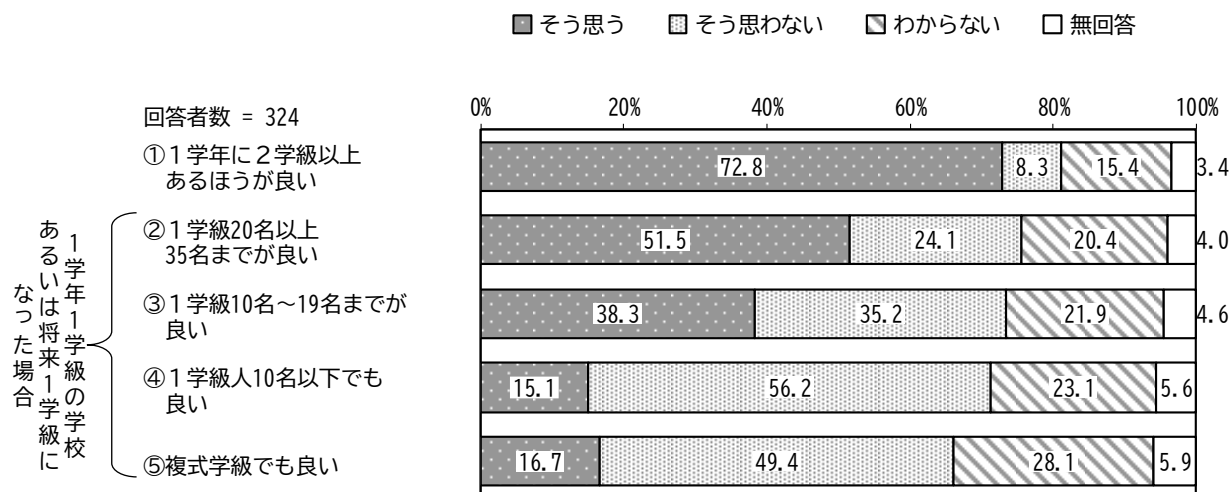


【中学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは《① 1学年に2学級以上あるほうが良い》（88.2%）で、《② 1学級 20 名以上 35 名までが良い》（53.1%）、《③ 1 学級 10 名～19 名までが良い》（35.1%）が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《④ 1 学級 10 名以下でも良い》（74.4%）で、《⑤ 複式学級でも良い》（43.6%）、《③ 1 学級 10 名～19 名までが良い》（42.7%）が続いている。

【市民】



【市民】

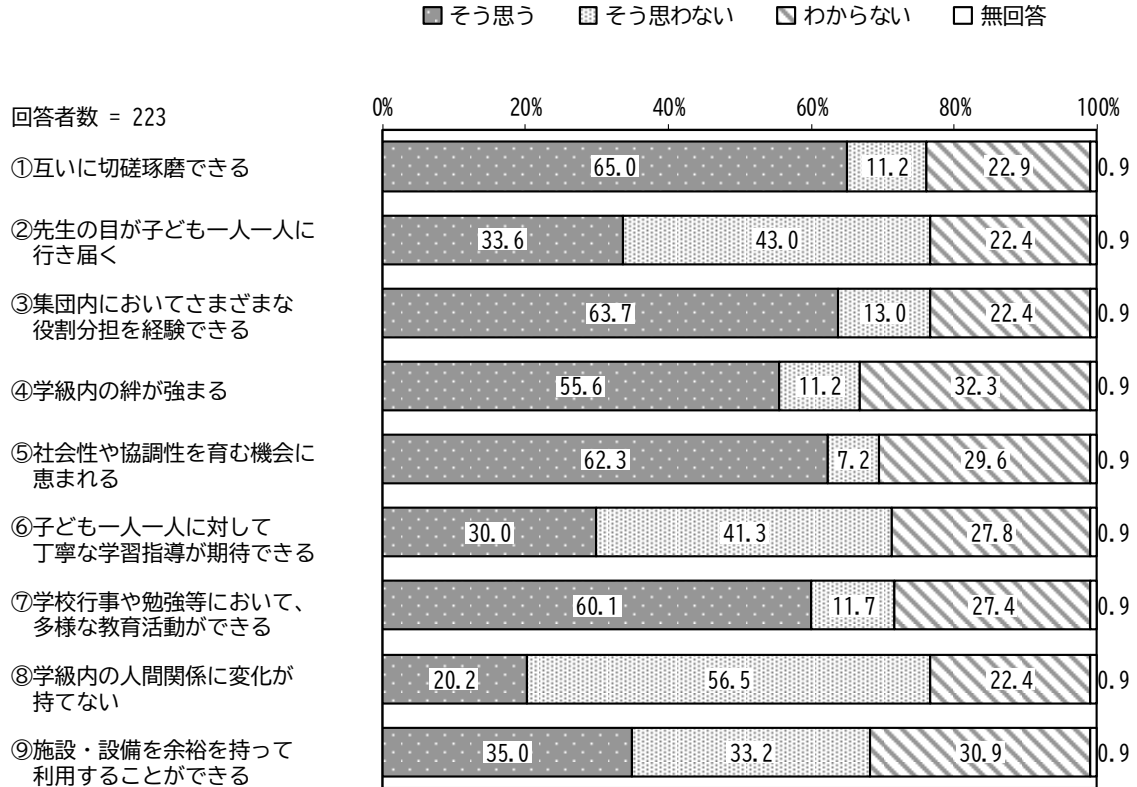
「そう思う」が最も多いのは「① 1学年に2学級以上あるほうが良い」(72.8%)で、「② 1学級20名以上35名までが良い」(51.5%)、「③ 1学級10名～19名までが良い」(38.3%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「④ 1学級10名以下でも良い」(56.2%)で、「⑤ 複式学級でも良い」(49.4%)、「③ 1学級10名～19名までが良い」(35.2%)が続いている。

(4) 中学校2年生の教育環境[平均生徒数]

【問4】 お子さんが通学している中学校・お住いの学区の2年生の1学級の平均生徒数をご覧になり教育環境をどう思いますか。(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

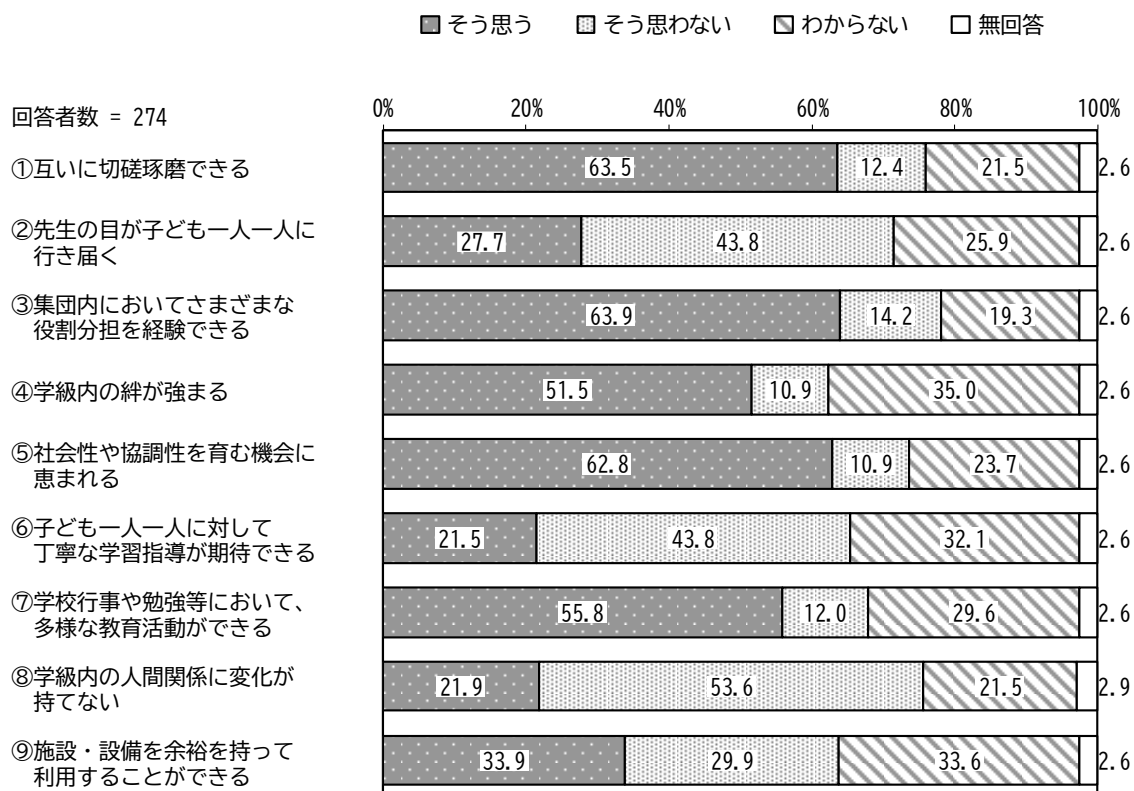


【年長児保護者】

「そう思う」が最も多いのは《①互いに切磋琢磨できる》(65.0%)で、《③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる》(63.7%)、《⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる》(62.3%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《⑧学級内の人間関係に変化が持てない》(56.5%)で、《②先生が目が子ども一人一人に行き届く》(43.0%)、《⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる》(41.3%)が続いている。

【小学生保護者】

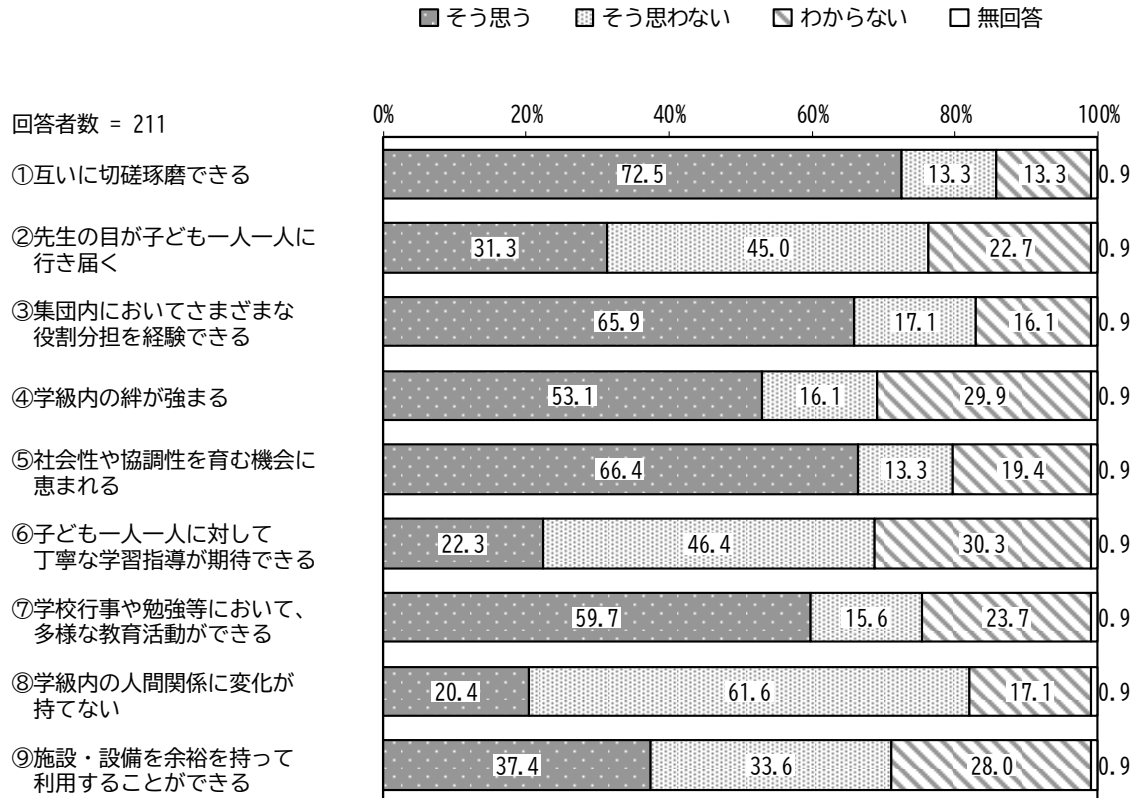


【小学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは「③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる」(63.9%)で、「①互いに切磋琢磨できる」(63.5%)、「⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる」(62.8%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑧学級内の人間関係に変化が持てない」(53.6%)で、「②先生が目が子ども一人一人に行き届く」(43.8%)、「⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる」(43.8%)が同率が続いている。

【中学生保護者】

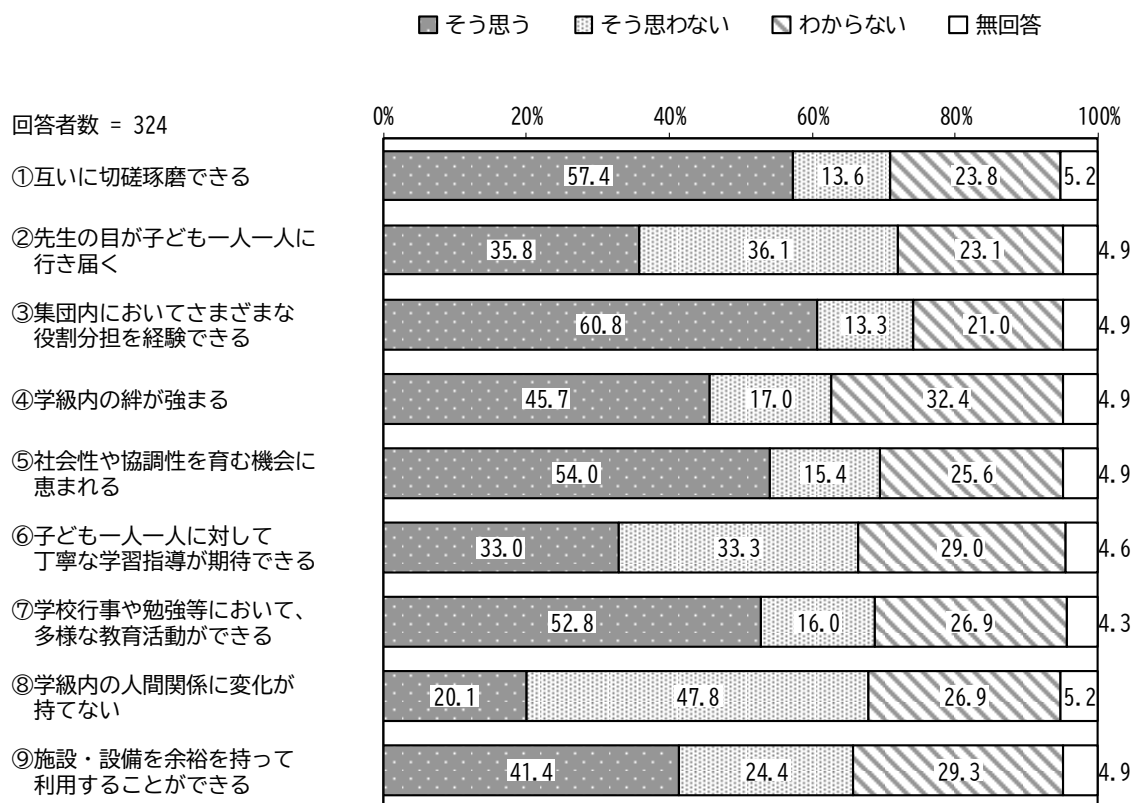


【中学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは《①互いに切磋琢磨できる》（72.5%）で、《⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる》（66.4%）、《③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる》（65.9%）が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《⑧学級内の人間関係に変化が持てない》（61.6%）で、《⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる》（46.4%）、《②先生が目が子ども一人一人に行き届く》（45.0%）が続いている。

【市民】



【市民】

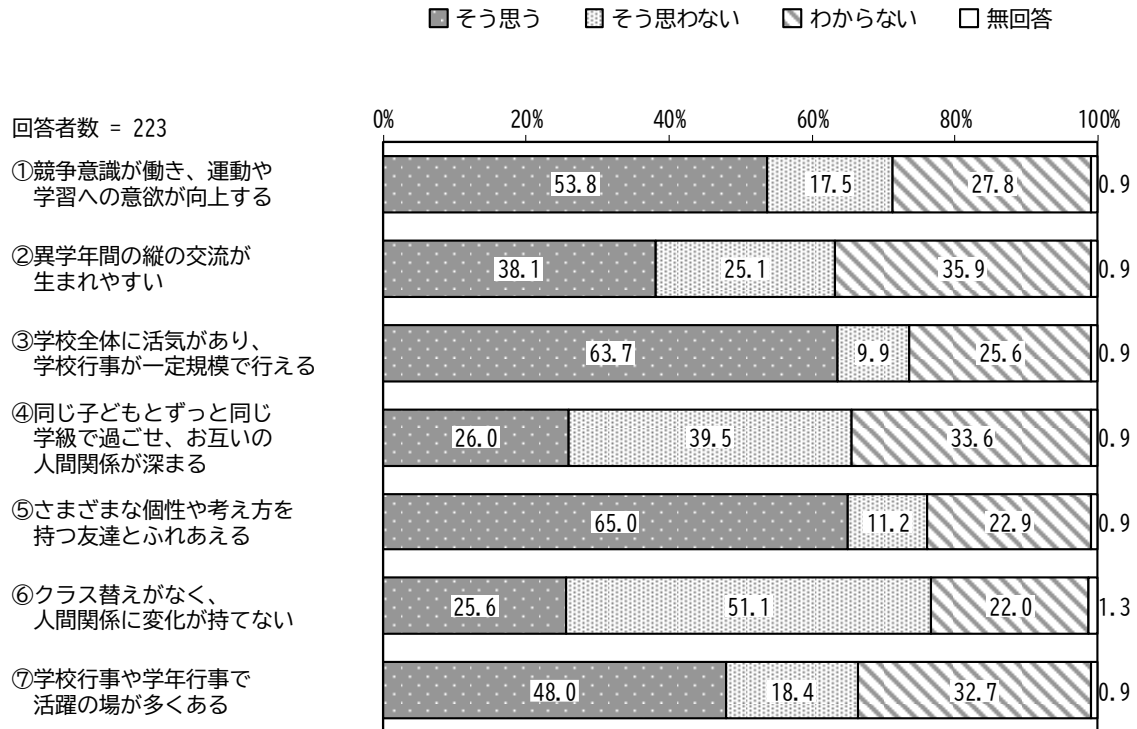
「そう思う」が最も多いのは「③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる」(60.8%)で、「①互いに切磋琢磨できる」(57.4%)、「⑤社会性や協調性を育む機会に恵まれる」(54.0%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑧学級内の人間関係に変化が持てない」(47.8%)で、「②先生が目が子ども一人一人に行き届く」(36.1%)、「⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる」(33.3%)が続いている。

(5) 中学校2年生の教育環境[学級数]

【問5】 お子さんが通学している中学校・お住いの学区の2年生の学級数をご覧になり、教育環境をどう思いますか。(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

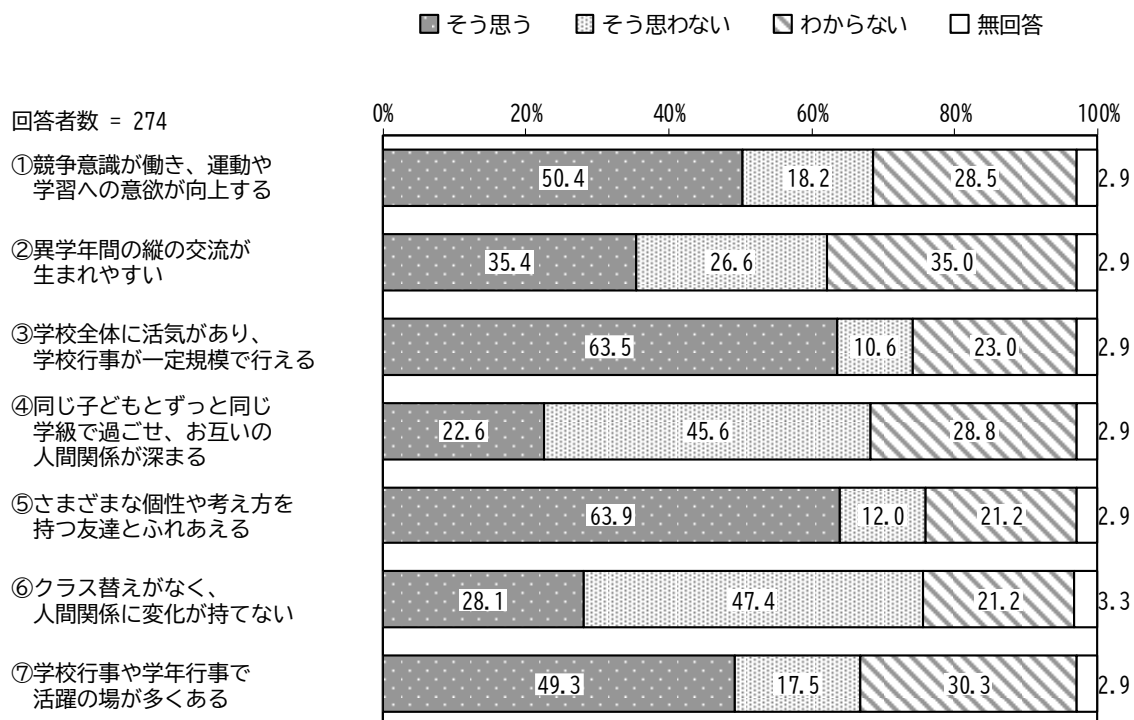


【年長児保護者】

「そう思う」が最も多いのは《⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる》(65.0%)で、《③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える》(63.7%)、《①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する》(53.8%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない》(51.1%)で、《④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる》(39.5%)、《②異学年間の縦の交流が生まれやすい》(25.1%)が続いている。

【小学生保護者】

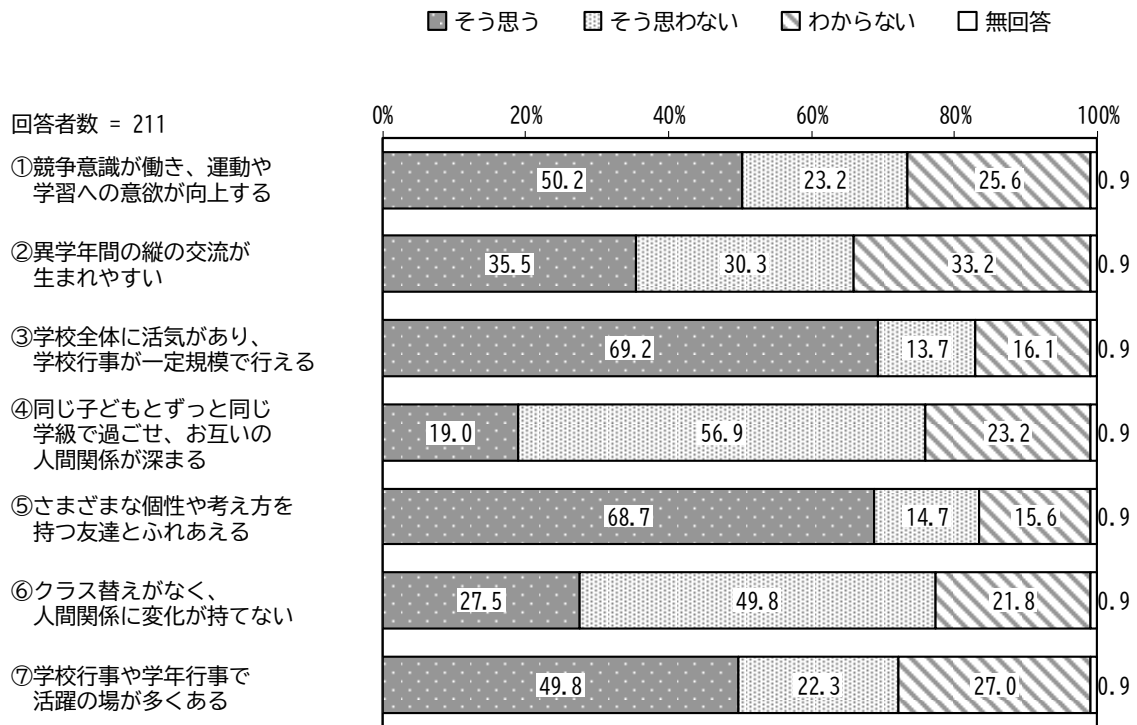


【小学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは「⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる」(63.9%)で、「③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える」(63.5%)、「①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する」(50.4%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない」(47.4%)で、「④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる」(45.6%)、「②異学年間の縦の交流が生まれやすい」(26.6%)が続いている。

【中学生保護者】

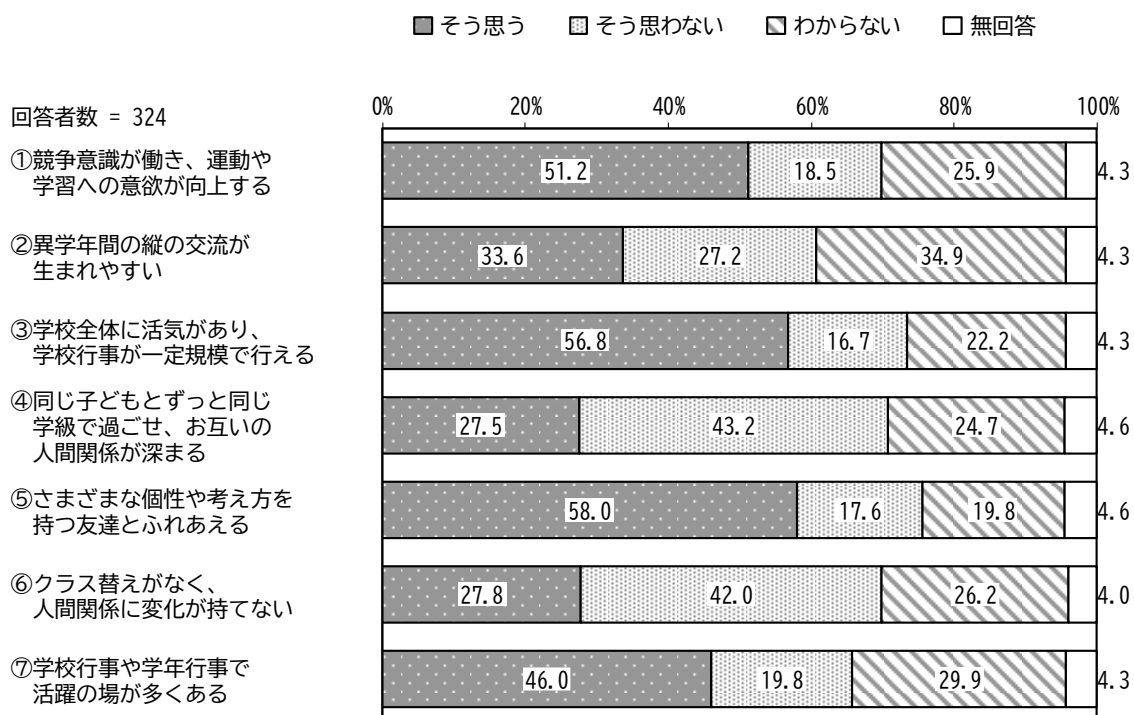


【中学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは《③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える》（69.2%）で、《⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる》（68.7%）、《①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する》（50.2%）が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは《④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる》（56.9%）で、《⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない》（49.8%）、《②異学年間の縦の交流が生まれやすい》（30.3%）が続いている。

【市民】



【市民】

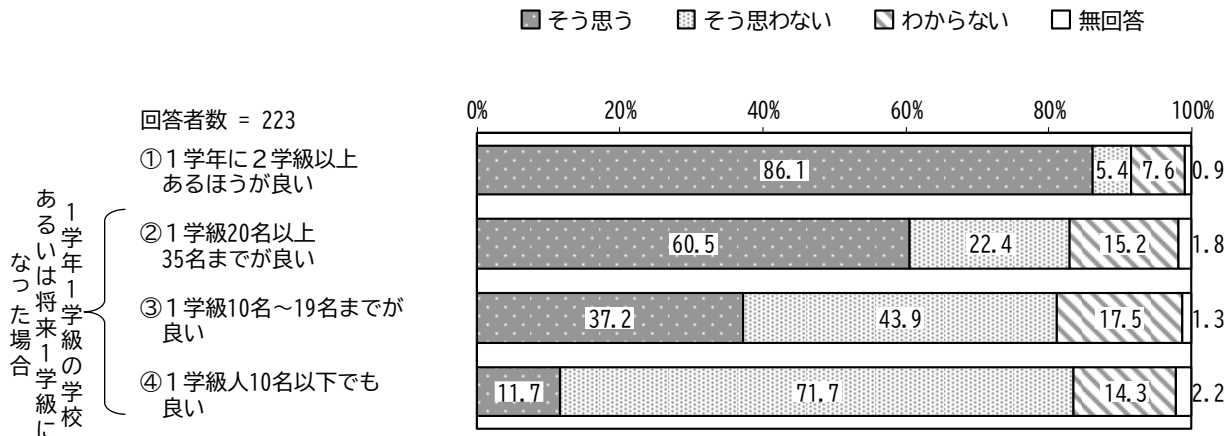
「そう思う」が最も多いのは「⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる」(58.0%)で、「③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える」(56.8%)、「①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する」(51.2%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは「④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる」(43.2%)で、「⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない」(42.0%)、「②異学年間の縦の交流が生まれやすい」(27.2%)が続いている。

(6) 裾野市の中学校規模

【問6】 裾野市の中学校規模についてどう思いますか。(それぞれ単数回答)

【年長児保護者】

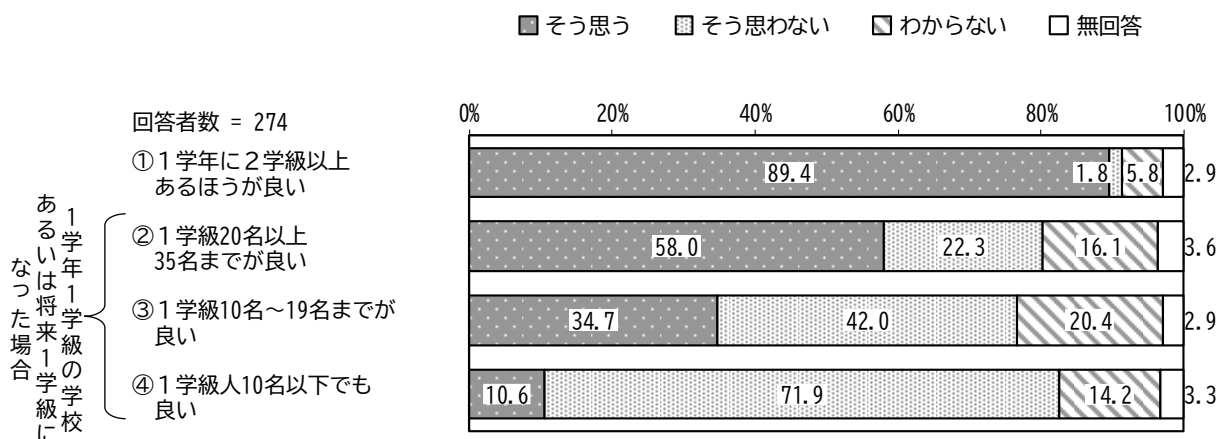


【年長児保護者】

「そう思う」が最も多いのは、《① 1学年に2学級以上あるほうが良い》(86.1%)で、《② 1学年1学級の学校あるいは将来1学級になった場合1学級 20 名以上 35 名までが良い》(60.5%)、《③ 1学級 10 名～19 名までが良い》(37.2%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは、《④ 1学級人 10 名以下でも良い》(71.7%)で、《③ 1学級 10 名～19 名までが良い》(43.9%)、《② 1学級 20 名以上 35 名までが良い》(22.4%)が続いている。

【小学生保護者】

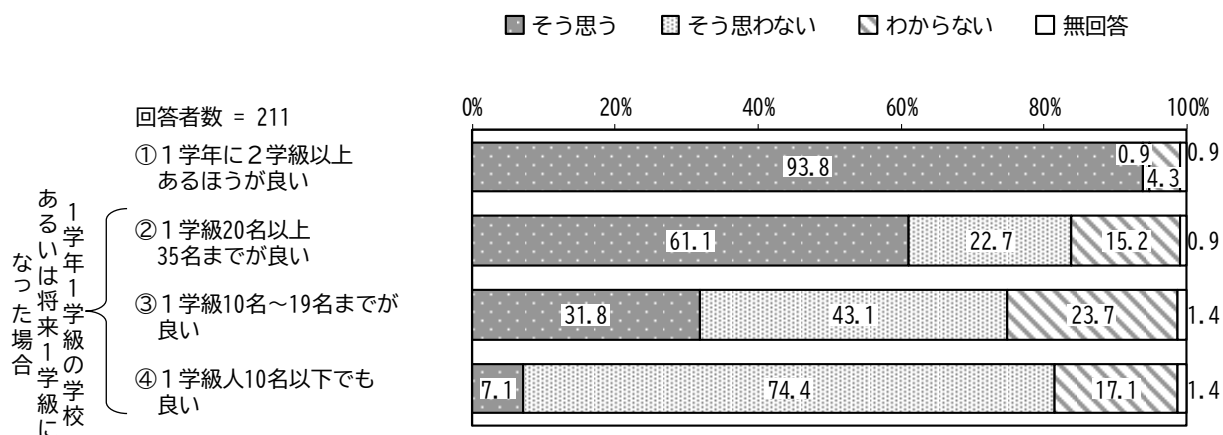


【小学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは、《①1学年に2学級以上あるほうが良い》(89.4%)で、《②1学級20名以上35名までが良い》(58.0%)、《③1学級10名～19名までが良い》(34.7%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは、《④1学級10名以下でも良い》(71.9%)で、《③1学級10名～19名までが良い》(42.0%)、《②1学級20名以上35名までが良い》(22.3%)が続いている。

【中学生保護者】

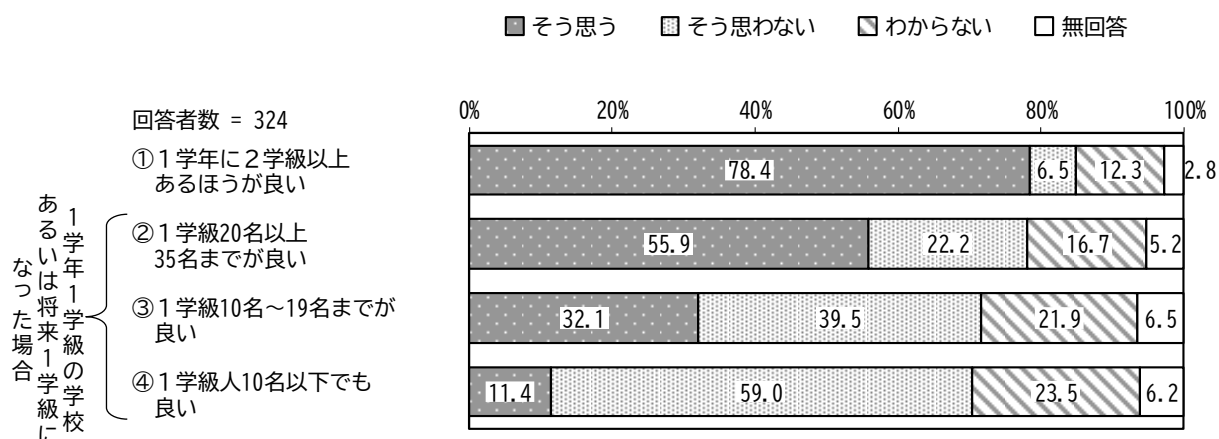


【中学生保護者】

「そう思う」が最も多いのは、《① 1学年に2学級以上あるほうが良い》(93.8%)で、《② 1学級 20 名以上 35 名までが良い》(61.1%)、《③ 1学級 10 名～19 名までが良い》(31.8%)が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは、《④ 1学級人 10 名以下でも良い》(74.4%)で、《③ 1学級 10 名～19 名までが良い》(43.1%)、《② 1学級 20 名以上 35 名までが良い》(22.7%)が続いている。

【市民】



【市民】

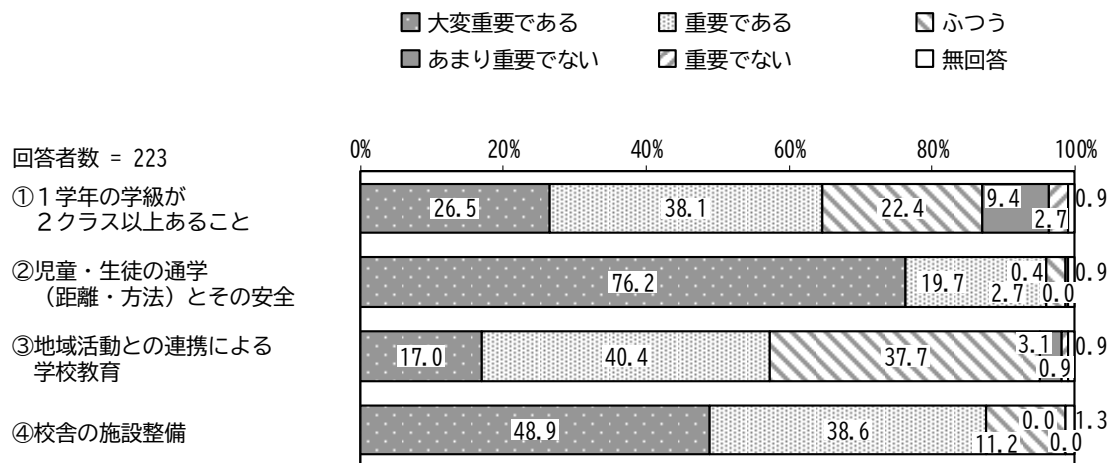
「そう思う」が最も多いのは、《① 1学年に2学級以上あるほうが良い》（78.4%）で、《② 1学級 20 名以上 35 名までが良い》（55.9%）、《③ 1学級 10 名～19 名までが良い》（32.1%）が続いている。

一方で、「そう思わない」が最も多いのは、《④ 1学級 10 名以下でも良い》（59.0%）で、《③ 1学級 10 名～19 名までが良い》（39.5%）、《② 1学級 20 名以上 35 名までが良い》（22.2%）が続いている。

(7) これから子ども達が行く学校についての考え

【問7】 これから子ども達が行く学校について検討していく上で、以下の点をどのように考えますか。(それぞれ単数回答)

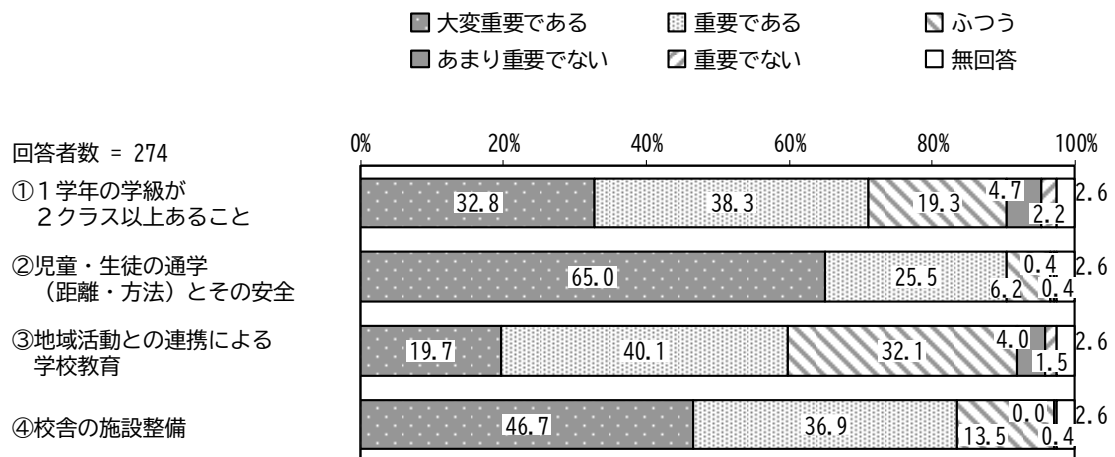
【年長児保護者】



【年長児保護者】

「大変重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が最も多いのは、《②児童・生徒の通学（距離・方法）とその安全》（95.9%）で、《④校舎の施設整備》（87.5%）、《①1 学年の学級が2クラス以上あること》（64.6%）が続いている。

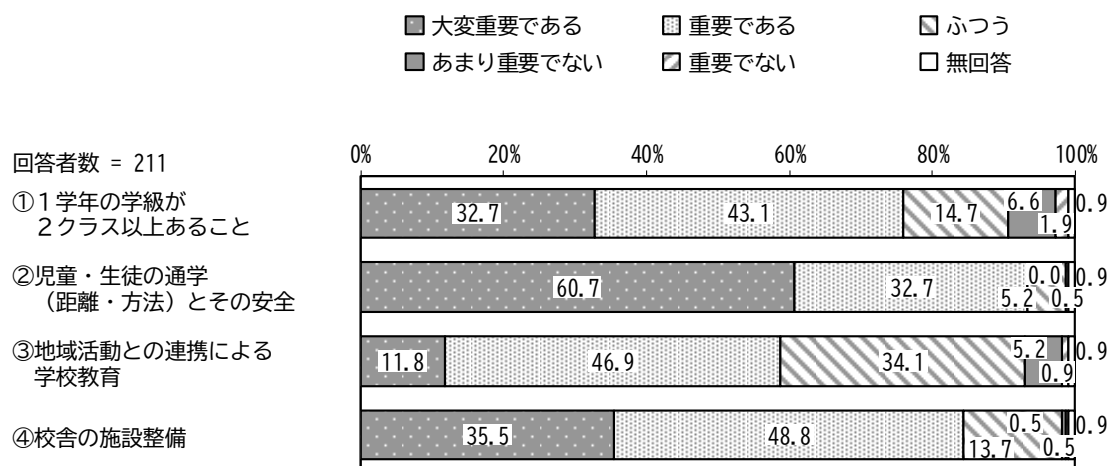
【小学生保護者】



【小学生保護者】

「大変重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が最も多いのは、《②児童・生徒の通学（距離・方法）とその安全》（90.5%）で、《④校舎の施設整備》（83.6%）、《①1 学年の学級が 2 クラス以上あること》（71.1%）が続いている。

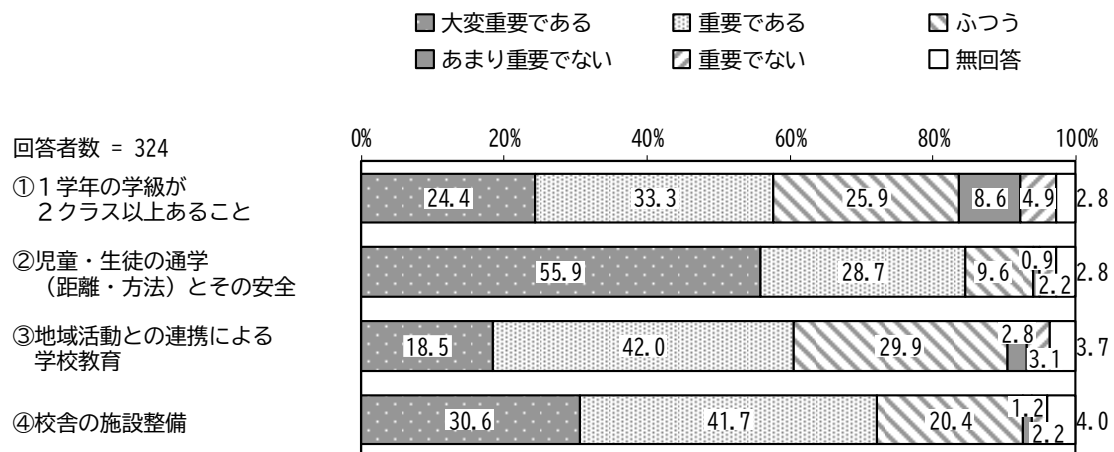
【中学生保護者】



【中学生保護者】

「大変重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が最も多いのは、《②児童・生徒の通学（距離・方法）とその安全》（93.4%）で、《④校舎の施設整備》（84.3%）、《①1 学年の学級が2クラス以上あること》（75.8%）が続いている。

【市民】



【市民】

「大変重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が最も多いのは、《②児童・生徒の通学（距離・方法）とその安全》（84.6%）で、《④校舎の施設整備》（72.3%）、《③地域活動との連携による学校教育》（60.5%）が続いている。

VII 調査票

Ⅶ 調査票

1 児童・生徒

裾野市教育に関するアンケート

児童・生徒用

【問1】 通っている学校はどちらですか。（学校名を記入してください）

____ 中学校・小学校

ようしくお聞いしま
す。二桁コードから
の回答も出来るよ

【問2】 あなたの性別はどちらですか。（どちらかに○）

1. 男 2. 女

【問3】 あなたは、学校生活に関する次のように感じていますか。（それぞれについてひとつだけ○をつけてください）

項 目	満足	まあ満足	やや不満	不満
1 授業のわかりやすさ	4	3	2	1
2 学校の行事（遠足や運動会など）	4	3	2	1
3 校舎や教室のきれいさ	4	3	2	1
4 校舎や教室の広さ	4	3	2	1
5 トイレなどの設備のきれいさ	4	3	2	1
6 図書室の使いやすさ	4	3	2	1
7 休み時間や放課後の過ごし方	4	3	2	1
8 学校のまわりやルール	4	3	2	1
9 信頼できる先生がいる	4	3	2	1
10 クラスの係や委員会活動	4	3	2	1
11 クラブや部活動	4	3	2	1

【問4】 あなたは、次のことについて、どのように感じていますか。（それぞれについてひとつだけ○をつけてください）

項 目	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1 学校が楽しい	4	3	2	1
2 クラスの雰囲気がいよい	4	3	2	1
3 友だちと仲良くできている	4	3	2	1
4 先生との良い関係ができている	4	3	2	1
5 もっと学力を向上させたい	4	3	2	1
6 何事にも積極的に取り組んでいる	4	3	2	1
7 授業がわかりやすい	4	3	2	1
8 たくさん読書をしている	4	3	2	1
9 学校以外でスポーツ（運動）をしている	4	3	2	1
10 何よりも勉強をがんばりたい	4	3	2	1
11 勉強より趣味や特技などをがんばりたい	4	3	2	1

児童・生徒用

12 ルールやまを守りたい	4	3	2	1
13 家族とのふれあいを大切にしたい	4	3	2	1
14 地域の人たちとの交流をしたい	4	3	2	1
15 友だちを大切にしたい	4	3	2	1
16 クラスの係や委員会活動を進んでやりたい	4	3	2	1

【問5】 あなたはどのような授業、学習が好きですか。（3つまで○をつけてください）

1. 先生が教えてくれる授業
2. 自分で調べる学習
3. グループで話し合う学習
4. パソコンを使って調べる学習
5. 観察や実験
6. 考えたこと、調べたことを発表する学習
7. 地域のことを調べる学習
8. 学校の先生以外の人の話を聞く学習
9. 違う学年の人と一緒に活動する学習
10. テスト



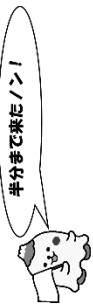
【問6】 あなたは悩み事や困ったことがある場合必ず誰に相談しますか。（ひとつだけ○をつけてください）

1. 親 2. 先生 3. 友だち 4. その他（ ）

【問7】 学校や先生に、どのようなことを望みますか。（4つまで○をつけてください）

1. 興味のあることをたくさん勉強したい
2. クラスの人数をもっと少なくしてほしい
3. クラスの人数をもっと多くしてほしい
4. 体験学習などをたくさんしたい
5. 一人一人の力に合わせた内容を教えてほしい
6. 学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい
7. 全国の子どもの中で自分の学力がどれくらいなのかを知りたい
8. 地域のボランティアの人などに勉強の手助けをしてほしい
9. いけないことはいけなさと、しっかり注意してほしい
10. 悩みや意見をじっくり聞いてほしい
11. がんばっていることをもっと認めてほしい
12. いじめのない楽しい生活が送れる学校づくりをしてほしい
13. その他（ ）

児童・生徒用



[問 8] あなたは地域の歴史や文化に興味がありますか。
(例えば、五竜の滝、深食用水、奈波の墓、佐野屋神社、葛山城址、須山浅間神社などの文化財やその物語など)
(ひとつだけ○をつけてください)

1. 興味がある
2. 興味があるものもある
3. あまり興味はない
4. 興味はない

[問 9] あなたはどのくらい読書をしていますか。(電子書籍を含みます)
(ひとつだけ○をつけてください)

1. 1 週間に 1 冊以上
2. 1 ヶ月に 1 冊以上
3. 1 年間に数冊
4. ほとんど読書はしない

[問 10] 家庭での食事について、次のことはあてはまりますか。
(それぞれについてひとつだけ○をつけてください)

項 目	あてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまる	あてはまらない
1. 朝食を毎朝食べる	4	3	2	1
2. 家族みんなで食事をする	4	3	2	1
3. 食事中は会話をする	4	3	2	1
4. 食事の準備や片付けを手伝う	4	3	2	1

[問 11] 給食について、次のことはあてはまりますか。
(それぞれについてひとつだけ○をつけてください)

項 目	そう思う	少しそう思う	そう思わない	思わない
1. 給食はおいしい	4	3	2	1
2. 給食の時間が楽しい	4	3	2	1
3. メニューに満足している	4	3	2	1
4. 栄養のバランスがとれている	4	3	2	1

3

児童・生徒用

[問 12] あなたは同じ学年にクラスがいくつあったらいいと思いますか。(1 つに○)

1. 1 クラス
2. 2 クラス
3. 3 クラス
4. 4 クラス
5. 5 クラス以上

[問 12-1] それはどうですか。(2 つまで○)

1. クラスがえでたくさんの人と友達になれるから
2. みんながまとまりやすく友達を深く知ることができるから
3. 運動場や体育館をのびのびと使えるから
4. 先生が自分のことをわかってくれ、勉強もみてくれるから
5. 運動会や学習発表会、文化祭がもりあがるから
6. クラスどうしで勉強がきそえあえるから
7. その他 ()

[問 13] 学校がよいなと感じる点は何ですか。(2 つまで○)

1. いろいろな子と力を合わせて勉強や運動がしやすい
2. 友達がたくさんできる
3. いろいろな先生と接することができる
4. 先生が勉強や部活 (クラブ活動) を細かく指導してくれる
5. 下級生と接するときにやさしいやりの気持ちで接することができる
6. ひとりひとりの活躍の場が増える
7. 特になし ()
8. その他 ()

[問 14] 学校がよくないと感じる点は何ですか。(2 つまで○)

1. 何か問題があったときに先生に気づかれにくい
2. 友達や先生とのつながりが少ない
3. ひとりひとりの活躍の場が少ない
4. 友達がいつも同じで、別の友達を作ることができない
5. 周りの子と力を合わせて勉強や運動がしにくい
6. いろいろな考えに触れる機会が少ない
7. 特になし ()
8. その他 ()



このアンケート用紙に記入した場合は、
学校で担任の先生に渡してね！
二次元コードから入力した場合は、先生に
渡さなくても大丈夫だよ。
～ご協力、ありがとう！～

4

2 年長児保護者

年長児保護者



よろしく願います。
二次元コードからの回答
も可能です。

園児保護者向けアンケート調査票

問1. このアンケートにお答えいただく保護者ご自身についてお答えください。
(当てはまる番号に○)

性別：1. 男 2. 女
年齢：1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代以上

問2. お子さん（この調査票を持ち帰ったお子さん）はこの小学校に通学予定ですか。
(当てはまる番号に○)

1. 東小 2. 西小 3. 深良小 4. 富岡第一小
5. 富岡第二小 6. 須山小 7. 千福が丘小 8. 南小 9. その他

第1部 裾野市教育振興基本計画等に関すること

問1. お子さんの習熟の様子について、次のことはどの程度あてはまりますか。
(それぞれ項目について当てはまる番号に1つ○)

項 目	あてはまる	どちらかとい えばあて はまる	どちらかとい えばあて はまらない	あてはまら ない
1 友だちとの良い関係ができている	4	3	2	1
2 先生との良い関係ができている	4	3	2	1
3 学校が楽しいと感じている	4	3	2	1
4 何事にも自信を持って取り組んでいる	4	3	2	1
5 よく読書をしている	4	3	2	1
6 自主的に勉強に取り組んでいる	4	3	2	1
7 スポーツや文化活動に取り組んでいる	4	3	2	1
8 あいさつをしっかりしている	4	3	2	1
9 テレビやゲームをやる時間が長い	4	3	2	1
10 うそをつかない	4	3	2	1
11 早起きをしている	4	3	2	1
12 部屋をきれいにしている	4	3	2	1
13 弱いものいじめはしない	4	3	2	1
14 人に迷惑をかけない	4	3	2	1
15 手伝いをよくする	4	3	2	1
16 先生や人の言うことをよく聞いている	4	3	2	1

問4. お子さんの通学予定の学校と協力したり、参加しても良いと思われるものがありますか。
(3つまで○)

1. PTAの役員としての活動
2. PTAの奉仕作業等の活動
3. 部活動や課外授業などでの指導支援
4. 登下校時の見守り
5. 非行防止や生徒指導への協力
6. 学校行事への参加
7. 学校図書ボランティア
8. 学校外での地域活動への協力
9. 特に協力したいとは思わない
10. その他 ()

問5. 子どもを育てるうえで、地域で力を入れるべきことはどんなことだと思いますか。
(3つまで○)

1. 地域内での子どもの安全を確保するための活動をする
2. 異なる考えを持った人たちや年齢の人たちと交流を進める
3. 地域の歴史や文化、自然を体験したり、学ぶ機会を増やす
4. 文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす体験をさせる
5. あいさつなど、礼儀やしつけをしっかり教える
6. 保護者・地域住民の地域の活動への参加を増やす
7. 保護者・地域住民の学校の活動への参加を増やす
8. その他 ()

問6. 地域ぐるみの教育について、どのような課題があると思いますか。
(3つまで○)

1. 大人が自分の子ども以外に無関心である
2. 地域の子どもと大人が交流する場がない
3. 地域と学校の連携があまりできていない
4. 他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある
5. 子どもたちが外で遊ばず、ふだん子どもの姿を見かけない
6. 地域の活動に参加したがらない人が多い
7. 特に課題はない
8. その他 ()

問7. お子さんの教育について気になること、心配なことはありますか。
(3つまで○)

1. 子どもの学力や学習状況
2. 子どもの体力や健康
3. 子どもの素行や生活態度
4. 家庭でのしつけや教育方法
5. 子どもと接する時間がなかなかとれない
6. 教育について気軽に相談できる場所がわからない
7. 保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
8. 学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない
9. 子どもの教育費の負担
10. 携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方
11. その他 ()

問8. 就学前(小学校入学前)教育の充実のために必要なことはなんだと思いますか。
(3つまで○)

1. 幼稚園、保育園等の教育内容の充実
2. 幼稚園、保育園等の設備の充実
3. 幼稚園教諭、保育士の資質向上
4. 待機児童対策
5. 家庭でのしつけ
6. 子どもが自由に遊べる場の充実
7. 子育てに關する情報提供や相談できる場所の充実
8. 幼稚園、保育園の一体的な運営
9. 同世代の子どもの交流
10. 異世代の子どもの交流
11. 地域の大人と子どもの交流
12. 幼稚園、保育園等と小学校の連携
13. その他 ()

問9. 稲野市が取り組む教育施策として、いずれの施策が重要だと思いますか。
(5つまで○)

1. 学力の向上
2. 読書の推進
3. ICT 活用教育の推進 ※1
4. 国際化に応じた教育や英語（外国語）教育の充実
5. 道徳心や他人を思いやる心を育む教育の推進
6. 不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み
7. 子どもたちの体力向上を図る取り組み
8. 郷土の自然や歴史、文化の学習
9. 学校、地域、家庭との連携
10. 家庭教育や子育てへの支援やアドバイス
11. 幼稚園・保育園・小学校の連携
12. 就学前（小学校に上がる前）教育の充実
13. 特別支援教育の充実
14. 教育施設・設備の充実
15. 進路指導やキャリア教育の充実 ※2
16. 教員の資質向上
17. 先生の多忙化の解消
18. 防災教育や安全教育の推進
19. 環境教育の推進
20. その他（ ）

※1 ICT 活用教育：教科等の学力の向上、情報活用能力や情報モラルの育成のためにコンピュータ等の情報通信技術を活用した教育（ICT=Information and Communication Technology の略）
※2 キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を促す教育

問10. お子さんに読み聞かせをしていますか（していませんか）。
(1つだけ○)

1. よくする（した）
2. ときどきする（した）
3. あまりしていない（しなかった）
4. まったくしていない（しなかった）

問11. どのくらいの頻度で読み聞かせをしていますか（していませんか）。
(1つだけ○)

1. ほぼ毎日
2. 週3～4回程度
3. 週1～2回程度
4. それ以下（月1回等）
5. 読み聞かせはしていない

問12. 子どもが本を読む習慣を身につけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答可)

1. 幼い時から読み聞かせをする
2. 親が本を読む姿を見せる
3. 親子で図書館を利用する
4. 子どもの好きそうな本を購入（借りる）する
5. できるだけテレビや動画を見せない
6. できるだけゲーム（スマホ含）を使わない
7. 家庭内に手に取れる本を常に用意しておく

問13. あなたは鈴木図書館（文化センター図書室含む）を利用したことがありますか。
(1つだけ○)

1. よく利用する
2. ときどき利用する
3. 利用したことはない（問13-1もご回答ください）

問13-1 利用しない主な理由は何ですか。
(1つだけ○)

1. 自宅から遠い
2. 探している本がない（蔵書が少ない）
3. 図書館に行く時間がない
4. 本にあまり興味がない
5. その他（ ）



続いては、稲野市の教育のあり方について、ご意見をお聞かせください。資料を掲載いたしますので、参考にしてください！

第2部 裾野市の教育のあり方に関すること

年長児の保護者でご自身のお子さんが小学校・中学校に通っていない場合についても次の資料をご覧ください
になり、お答えください。

裾野市立小学校児童数推移

[単位：人]

	全児童数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平成 26 年度	2,982	496	502	481	496	502	505
平成 27 年度	2,948	512	481	490	471	492	502
平成 28 年度	2,899	496	507	479	477	459	481
平成 29 年度	2,884	482	491	502	475	473	461
平成 30 年度	2,911	498	474	487	502	472	478
令和元年度	2,845	450	486	464	483	489	473
令和 2 年度	2,794	438	446	486	454	484	486
令和 3 年度	2,752	465	434	441	474	455	483
令和 4 年度	2,668	429	458	427	433	470	451
令和 5 年度	2,583	382	423	452	428	432	466
令和 6 年度	2,468	373	382	410	447	429	427

各小学校の児童数

[単位：人]

	H20	H25	H30	R5	R6	R7 見込	R8 見込	R9 見込	R10 見込
東 小	721	670	660	572	551	614	581	549	530
西 小	689	649	703	712	704	710	702	683	670
深良小	339	329	294	237	210	227	201	189	181
富一小	575	551	502	461	442	442	432	430	440
富二小	151	123	112	68	68	57	57	59	51
須山小	122	134	107	91	90	92	85	78	72
向田小	221	196	120	84	77	-	-	-	-
千 小	153	131	124	111	95	95	86	78	65
南 小	207	257	289	247	231	222	208	191	189
合 計	3,178	3,040	2,911	2,583	2,468	2,459	2,352	2,257	2,198

各中学校の生徒数

[単位：人]

	H20	H25	H30	R5	R6	R7 見込	R8 見込	R9 見込	R10 見込
東 中	435	467	400	361	349	351	341	346	344
西 中	395	427	401	482	469	489	473	484	483
深良中	132	143	157	128	129	134	132	119	118
富岡中	440	392	371	358	352	338	341	326	314
須山中	51	65	61	45	48	50	56	53	49

合 計	1,453	1,494	1,390	1,374	1,347	1,362	1,343	1,328	1,308
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(資料 1) 小学 5 年生の児童数・学級数・1 学級の平均児童数 (R6.5.1 現在)

	児童数	学級数	1 学級の平均児童数
東小学校	99 人	3 学級	33 人
西小学校	107 人	4 学級	27 人
深良小学校	42 人	2 学級	21 人
富岡第一小学校	81 人	3 学級	27 人
富岡第二小学校	8 人	1 学級	8 人
須山小学校	20 人	1 学級	20 人
向田小学校	17 人	1 学級	17 人
千福が丘小学校	18 人	1 学級	18 人
南小学校	37 人	2 学級	19 人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

(資料 2) 中学 2 年生の生徒数・学級数・1 学級の平均生徒数 (R6.5.1 現在)

	生徒数	学級数	1 学級の平均生徒数
東中学校	122 人	4 学級	31 人
西中学校	150 人	5 学級	30 人
深良中学校	40 人	2 学級	20 人
富岡中学校	105 人	3 学級	35 人
須山中学校	13 人	1 学級	13 人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

【お子さんがこれから通う小学校について】

問 1. お子さんがこれから通う小学校の 5 年生の 1 学級の平均児童数（資料 1）をご覧になり教育環境をどう思いますか。（①～⑨それぞれひとつに○）

項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 互いに切磋琢磨できる	1	2	3
② 先生の目が子ども一人一人に行き届く	1	2	3
③ 集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	1	2	3
④ 学級内の絆が強まる	1	2	3
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	1	2	3
⑥ 子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	1	2	3
⑦ 学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	1	2	3
⑧ 学級内の人間関係に変化が特でない	1	2	3
⑨ 施設・設備を余裕を持って利用することができる	1	2	3

問5. お子さんがこれから通う中学校の2年生の学級数(資料2)をご覧になり、教育環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

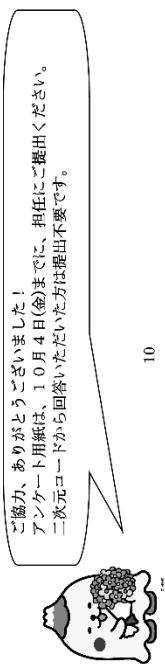
項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	1	2	3
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	1	2	3
③ 学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	1	2	3
④ 同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	1	2	3
⑤ さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	1	2	3
⑥ クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	1	2	3
⑦ 学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	1	2	3

問6. 稲野市の中学校規模についてどう思いますか。(①～④それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
①1 学年に2 学級以上あるほうが良い	1	2	2
1 学年1 学級の学校あるいは将来1 学級になった場合			
②1 学級20 名以上35 名までが良い	1	2	3
③1 学級10 名～19 名までが良い	1	2	3
④1 学級10 名以下でも良い	1	2	3

問7. これから子ども達が通う学校について検討していく上で、以下の点をどのように考えますか。
(①～⑤それぞれひとつに○)

項 目	大数重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
① 1 学年の学級が2 クラス以上あること	5	4	3	2	1
② 児童・生徒の通学(距離・方法)とその安全	5	4	3	2	1
③ 地域活動との連携による学校教育	5	4	3	2	1
④ 校舎の施設整備	5	4	3	2	1
⑤ その他					



問2. お子さんがこれから通う小学校の5年生の学級数(資料1)をご覧になり、教育環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	1	2	3
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	1	2	3
③ 学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	1	2	3
④ 同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	1	2	3
⑤ さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	1	2	3
⑥ クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	1	2	3
⑦ 学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	1	2	3

問3. 稲野市の小学校規模についてどう思いますか。(①～⑥それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
①1 学年に2 学級以上あるほうが良い	1	2	3
1 学年1 学級の学校あるいは将来1 学級になった場合			
②1 学級20 名以上35 名までが良い	1	2	3
③1 学級10 名～19 名までが良い	1	2	3
④1 学級10 名以下でも良い	1	2	3
⑤複式学級でも良い	1	2	3

※複式学級…2 学年以上の児童・生徒をひとつに編制した学級。

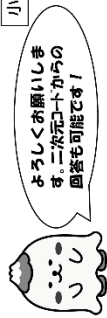
【お子さんがこれから通う[中学校]について】

問4. お子さんがこれから通う中学校の2年生の1 学級の平均生徒数(資料2)をご覧になり教育環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 互いに切磋琢磨できる	1	2	3
② 先生の目が子ども一人一人に行き届く	1	2	3
③ 集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	1	2	3
④ 学級内の絆が強まる	1	2	3
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	1	2	3
⑥ 子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	1	2	3
⑦ 学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	1	2	3
⑧ 学級内の人間関係に変化が持てない	1	2	3
⑨ 施設・設備を余裕を持って利用することができる	1	2	3

3 小学生保護者

小学生保護者



児童・生徒保護者向けアンケート調査票

問1. このアンケートにお答えいただく保護者自身についてお答えください。
(当てはまる番号に○)

- 性別：1. 男 2. 女
年齢：1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代以上

問2. お子さん（この調査票を持ち帰ったお子さん）はこの小学校に通学していますか。
(当てはまる番号に○)

1. 東小 2. 西小 3. 深良小 4. 富岡第一小
5. 富岡第二小 6. 須山小 7. 向田小
8. 千福が丘小 9. 南小 10. その他

第1部 裾野市教育振興基本計画等に関すること

問1. お子さんの習熟の様子について、次のことはどの程度あてはまりますか。
(それぞれの項目について当てはまる番号に1○)

項 目	あてはまる 4	どちらかといえ ばあてはまる 3	どちらかといえ ばあてはまらない 2	あてはまらない 1
1 友だちとの良い関係ができている	4	3	2	1
2 先生との良い関係ができている	4	3	2	1
3 学校が楽しいと感じている	4	3	2	1
4 何事にも自信を持って取り組んでいる	4	3	2	1
5 よく読書をしている	4	3	2	1
6 自主的に勉強に取り組んでいる	4	3	2	1
7 スポーツや文化活動に取り組んでいる	4	3	2	1
8 あいさつをしっかりとっている	4	3	2	1
9 テレビやゲームをやる時間が長い	4	3	2	1
10 うそをつかない	4	3	2	1
11 早寝早起きをしている	4	3	2	1
12 態度をきれいにしている	4	3	2	1
13 弱いものいじめはしない	4	3	2	1
14 人に迷惑をかけない	4	3	2	1
15 手伝いをよくする	4	3	2	1
16 先生や人の言うことをよく聞いている	4	3	2	1

1

問2. 現在、子どもの教育について関心があることはなんですか。（3つまで○）

1. 学力のレベル
2. 健康状態・体力の向上
3. スポーツや芸術分野のレベルの向上
4. 基本的な生活習慣
5. 道徳心や他人を思いやる心、規範意識
6. いじめ・不登校問題
7. 地域や家庭環境による教育格差
8. 学校の施設・設備
9. 教員の資質
10. 家庭でのしつけ・教育
11. 家庭・学校・地域の連携
12. その他（ ）

問3. 学校の教師にどのようなことを期待しますか。（3つまで○）

1. 子どもの気持ちを理解すること
2. 専門的な知識があり、教え方が上手なこと
3. 子どもと遊んだり話し相手になってくれること
4. 子どもを信頼し、自主性を育てること
5. 保護者とのコミュニケーションをとること
6. 幅広い経験を持っていること
7. 子どもに対して厳しくしつけができること
8. 子どもたちの様子を普段からしっかり見ていること
9. その他（ ）

問4. お子さんの通っている学校と協力したり、参加しても良いと思われるものはありますか。
(3つまで○)

1. PTAの役員としての活動
2. PTAの奉仕作業等の活動
3. 部活動や課外授業などでの指導支援
4. 登下校時の見守り
5. 非行防止や生徒指導への協力
6. 学校行事への参加
7. 学校図書ボランティア
8. 学校外での地域活動への協力
9. 特に協力したいとは思わない
10. その他（ ）

2

問5. 子どもを育てるうえで、地域で力を入れるべきことはどんなことだと思いますか。
 (3つまで○)

1. 地域内での子どもの安全を確保するための活動をする
2. 異なる考えを持った人たちや年齢の人たちと交流を進める
3. 地域の歴史や文化、自然を体験したり、学ぶ機会を増やす
4. 文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす体験をさせる
5. あいさつなど、礼儀やしつけをしっかりと教える
6. 保護者・地域住民の地域の活動への参加を増やす
7. 保護者・地域住民の学校の活動への参加を増やす
8. その他 ()

問6. 地域ぐるみの教育について、どのような課題があると思いますか。
 (3つまで○)

1. 大人が自分の子ども以外に無関心である
2. 地域の子どものと大人が交流する場がない
3. 地域と学校の連携があまりできていない
4. 他人の子どものを注意しづらい雰囲気がある
5. 子どもたちが外で遊ばず、ふだん子どもの姿を見かけない
6. 地域の活動に参加したがない人が多い
7. 特に課題はない
8. その他 ()

問7. お子さんの教育について気になること、心配なことはありますか。
 (3つまで○)

1. 子どもの学力や学習状況
2. 子どもの体力や健康
3. 子どもの業行や生活態度
4. 家庭でのしつけや教育方法
5. 子どもと接する時間がなかなかとれない
6. 教育について気軽に相談できる場所がわからない
7. 保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
8. 学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない
9. 子どもの教育費の負担
10. 携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方
11. その他 ()

3

問8. 就学前（小学校入学前）教育の充実のために必要なことはなんでしょうか。
 (3つまで○)

1. 幼稚園、保育園等の教育内容の充実
2. 幼稚園、保育園等の設備の充実
3. 幼稚園教諭、保育士の資質向上
4. 待機児童対策
5. 家庭でのしつけ
6. 子どもが自由に遊べる場の充実
7. 子育てに関する情報提供や相談できる場所の充実
8. 幼稚園、保育園等の一体的な運営
9. 同世代の子どものとの交流
10. 異世代の子どもとの交流
11. 地域の大人と子どもとの交流
12. 幼稚園、保育園と小学校の連携
13. その他 ()

問9. 裾野市が取り組む教育施策として、いずれの施策が重要だと思いますか。
 (5つまで○)

1. 学力の向上
2. 読書の推進
3. ICT 活用教育の推進 ※1
4. 国際化に応じた教育や英語（外国語）教育の充実
5. 道徳心や他人を思いやる心を育む教育の推進
6. 不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み
7. 子どもたちの体力向上を図る取り組み
8. 郷土の自然や歴史、文化の学習
9. 学校、地域、家庭との連携
10. 家庭教育や子育てへの支援やアドバイス
11. 幼稚園・保育園等・小学校の連携
12. 就学前（小学校に上がる前）教育の充実
13. 特別支援教育の充実
14. 教育施設・設備の充実
15. 進路指導やキャリア教育の充実 ※2
16. 教員の資質向上
17. 先生の多忙化の解消
18. 防災教育や安全教育の推進
19. 環境教育の推進
20. その他 ()

4

第2部 裾野市の教育のあり方に関すること

小学生の保護者でご自身のお子さんが中学校に通っていない場合についても次の資料をご覧ください。

参考・裾野市立小学校児童数推移

	全児童数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平成 26 年度	2,982	496	502	481	496	502	505
平成 27 年度	2,948	512	481	490	471	492	502
平成 28 年度	2,899	496	507	479	477	459	481
平成 29 年度	2,884	482	491	502	475	473	461
平成 30 年度	2,911	498	474	487	502	472	478
令和元年度	2,845	450	486	464	483	489	473
令和 2 年度	2,794	438	446	486	454	484	486
令和 3 年度	2,752	465	434	441	474	455	483
令和 4 年度	2,668	429	458	427	433	470	451
令和 5 年度	2,583	382	423	452	428	432	466
令和 6 年度	2,468	373	382	410	447	429	427

参考・各小学校の児童数 (R7～R10 は見込数)

	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10
東 小	721	670	660	572	551	614	581	549	530
西 小	689	649	703	712	704	710	702	683	670
深 小	339	329	294	237	210	227	201	189	181
富一小	575	551	502	461	442	442	432	430	440
富二小	151	123	112	68	68	57	57	59	51
須山小	122	134	107	91	90	92	85	78	72
向田小	221	196	120	84	77	-	-	-	-
千 小	153	131	124	111	95	95	86	78	65
南 小	207	257	289	247	231	222	208	191	189
合 計	3,178	3,040	2,911	2,583	2,468	2,459	2,352	2,257	2,198

参考・各中学校の生徒数 (R7～R10 は見込数)

	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10
東 中	435	467	400	361	349	351	341	346	344
西 中	395	427	401	482	469	489	473	484	483
深良中	132	143	157	128	129	134	132	119	118
富岡中	440	392	371	358	352	338	341	326	314
須山中	51	65	61	45	48	50	56	53	49
合 計	1,453	1,494	1,390	1,374	1,347	1,362	1,343	1,328	1,308

※1 ICT 活用教育：教科等の学力の向上、情報活用能力や情報モラルの育成のためにコンピュータ等の情報通信技術を活用した教育 (ICT=Information and Communication Technology の略)
※2 キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自らしい生き方を表現していく過程を促す教育

問10. あなたから見て、お子さんは普段どのようなことをして過ごすごことが多いですか。(1つだけ○)

- 1. 友だちと遊ぶ
- 2. ゲーム (スマホを含む) をする
- 3. 読書をする
- 4. 習い事 (スポーツ少年団等含) に行く
- 5. 学習塾に行く
- 6. その他 ()

問11. お子さんは読書が好きだと思いますか。(1つだけ○)

- 1. とても好きだと思う
- 2. どちらかというと好きだと思う
- 3. どちらかというと嫌いだと思う
- 4. 嫌いだと思う

問12. あなたは鈴木図書館 (文化センター図書室含む) を利用したことがありますか。(1つだけ○)

- 1. よく利用する
- 2. ときどき利用する
- 3. 利用したことはない (問13もご回答ください)

問13. 問12で「利用したことはない」と答えた方のみご回答ください。利用しない主な理由は何ですか。(1つだけ○)

- 1. 自宅から遠い
- 2. 探している本がない (蔵書が少ない)
- 3. 図書館に行く時間がない
- 4. 本にあまり興味がない
- 5. その他 ()

続いては、裾野市の教育のあり方について、ご意見をお聞かせください。資料を掲載いたしますので、参考にしていただければ幸いです！



問2. お子さんが通学している小学校の5年生の学級数(資料1)をご覧になり、教育環境をどう思
 いますか。
 (①～⑦それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	3	2	1
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	3	2	1
③ 学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	3	2	1
④ 同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	3	2	1
⑤ さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	3	2	1
⑥ クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑦ 学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	3	2	1

問3. 梶野市の小学校規模についてどう思いますか。(①～⑤それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
①1 学年に2 学級以上あるほうが良い	3	2	1
1 学年1 学級の学校あるいは将来1 学級になった場合			
②1 学級20 名以上35 名までが良い	3	2	1
③1 学級10 名～19 名までが良い	3	2	1
④1 学級10 名以下でも良い	3	2	1
⑤増式学級でも良い	3	2	1

※複式学級…? 学年以上の児童・生徒をひとつに編制した学級。

【お子さんがこれから通う中学校について】

問4. お子さんがこれから通う中学校の2 年生の1 学級の平均生徒数(資料2)をご覧になり教
 育環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 互いに切磋琢磨できる	3	2	1
② 先生の目が子ども一人一人に行き届く	3	2	1
③ 集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	3	2	1
④ 学級内の絆が強まる	3	2	1
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	3	2	1
⑥ 子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	3	2	1
⑦ 学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	3	2	1
⑧ 学級内の人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑨ 施設・設備を余裕を持って利用することができる	3	2	1

8

(資料1) 小学5 年生の児童数・学級数・1 学級の平均児童数 (R6.5.1 現在)

児童数	学級数	1 学級の平均児童数
東小学校	3 学級	33 人
西小学校	4 学級	27 人
深良小学校	2 学級	21 人
富岡第一小学校	3 学級	27 人
富岡第二小学校	1 学級	8 人
須山小学校	1 学級	20 人
向田小学校	1 学級	17 人
千福が丘小学校	1 学級	18 人
南小学校	2 学級	19 人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

(資料2) 中学2 年生の生徒数・学級数・1 学級の平均生徒数 (R6.5.1 現在)

中学校	生徒数	学級数	1 学級の平均生徒数
東中学校	122 人	4 学級	31 人
西中学校	150 人	5 学級	30 人
深良中学校	40 人	2 学級	20 人
富岡中学校	105 人	3 学級	35 人
須山中学校	13 人	1 学級	13 人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

【お子さんが通学している小学校について】

問1. お子さんが通学している小学校の5 年生の1 学級の平均児童数(資料1) をご覧になり、
 教育環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 互いに切磋琢磨できる	3	2	1
② 先生の目が子ども一人一人に行き届く	3	2	1
③ 集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	3	2	1
④ 学級内の絆が強まる	3	2	1
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	3	2	1
⑥ 子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	3	2	1
⑦ 学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	3	2	1
⑧ 学級内の人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑨ 施設・設備を余裕を持って利用することができる	3	2	1

7

問5. お子さんがこれから通学する中学校の2年生の学級数(資料2)をご覧になり、教育環境をどう思いますか。(①～⑦それぞれひとつに○)

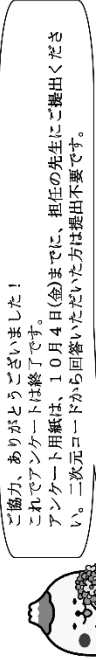
項 目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	3	2	1
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	3	2	1
③ 学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	3	2	1
④ 同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	3	2	1
⑤ さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	3	2	1
⑥ クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑦ 学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	3	2	1

問6. 裾野市の中学校規模についてどう思いますか。(①～④それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
①1学年に2学級以上あるほうが良い	3	2	1
1学年1学級の学校あるいは将来1学級になった場合			
②1学級20名以上35名までが良い	3	2	1
③1学級10名～19名までが良い	3	2	1
④1学級10名以下でも良い	3	2	1

問7. これから子ども達が通う学校について検討していく上で、以下の点をどのように考えますか。(①～④それぞれひとつに○)

項 目	大変重要である	重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない
① 1学年の学級が2クラス以上あること	5	4	3	2	1
② 児童・生徒の通学(距離・方法)とその安全	5	4	3	2	1
③ 地域活動との連携による学校教育	5	4	3	2	1
④ 校舎の施設整備	5	4	3	2	1
⑤ その他					



問8. 就学前（小学校入学前）教育の充実のために必要なことはなんでしょうか。
（3つまで○）

1. 幼稚園、保育園等の教育内容の充実
2. 幼稚園、保育園等の設備の充実
3. 幼稚園教諭、保育士の資質向上
4. 待機児童対策
5. 家庭でのしつけ
6. 子どもが自由に遊べる場の充実
7. 子育てに関する情報提供や相談できる場所の充実
8. 幼稚園、保育園等の一体的な運営
9. 同世代の子どもとの交流
10. 異世代の子どもとの交流
11. 地域の大人と子どもとの交流
12. 幼稚園、保育園と小学校の連携
13. その他（ ）

問9. 裾野市が取り組み教育施策として、いずれの施策が重要だと思いますか。
（5つまで○）

1. 学力の向上
2. 読書の推進
3. ICT 活用教育の推進 ※1
4. 国際化に応じた教育や英語（外国語）教育の充実
5. 道徳心や他人を思いやる心を育む教育の推進
6. 不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み
7. 子どもたちの体力向上を図る取り組み
8. 郷土の自然や歴史、文化の学習
9. 学校、地域、家庭との連携
10. 家庭教育や子育てへの支援やアドバイス
11. 幼稚園・保育園等・小学校の連携
12. 就学前（小学校に上がる前）教育の充実
13. 特別支援教育の充実
14. 教育施設・設備の充実
15. 進路指導やキャリア教育の充実 ※2
16. 教員の資質向上
17. 先生の多忙化の解消
18. 防災教育や安全教育の推進
19. 環境教育の推進
20. その他（ ）

4

問5. 子どもを育てるうえで、地域で力を入れるべきことはどんなことだと思いますか。
（3つまで○）

1. 地域内での子どもたちの安全を確保するための活動をする
2. 異なる考えを持った人たや年齢の人たちと交流を進める
3. 地域の歴史や文化、自然を体験したり、学ぶ機会を増やす
4. 文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす体験をさせる
5. あいさつなど、礼儀やしつけをしっかりと教える
6. 保護者・地域住民の地域の活動への参加を増やす
7. 保護者・地域住民の学校の活動への参加を増やす
8. その他（ ）

問6. 地域ぐるみの教育について、どのような課題があると思いますか。
（3つまで○）

1. 大人が自分の子ども以外に無関心である
2. 地域の子どもの大人が交流する場がない
3. 地域と学校の連携があまりできていない
4. 他人の子どものまを注意しづらい雰囲気がある
5. 子どもたちが外で遊ばず、ふだん子ども姿を見かけない
6. 地域の活動に参加したがらない人が多い
7. 特に課題はない
8. その他（ ）

問7. お子さんの教育について気になること、心配なことはありますか。
（3つまで○）

1. 子どもの学力や学習状況
2. 子どもの体力や健康
3. 子どもの業行や生活態度
4. 家庭でのしつけや教育方法
5. 子どもと接する時間がなかなかとれない
6. 教育について気軽に相談できる場所がわからない
7. 保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
8. 学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない
9. 子どもの教育費の負担
10. 携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方
11. その他（ ）

3

第2部 裾野市の教育のあり方に関すること

中学生の保護者でご自身のお子さんさんが小学校に通っていない場合についても次の資料をご覧ください。

参考・裾野市立中学校生徒数推移 [単位：人]

	全生徒数	1 年	2 年	3 年
平成 26 年度	1,502	499	515	488
平成 27 年度	1,493	490	495	508
平成 28 年度	1,472	482	492	498
平成 29 年度	1,432	461	479	492
平成 30 年度	1,390	447	461	482
令和元年度	1,371	468	446	457
令和 2 年度	1,371	457	468	446
令和 3 年度	1,380	463	453	464
令和 4 年度	1,379	470	461	448
令和 5 年度	1,374	442	470	462
令和 6 年度	1,347	456	430	461

参考・各小学校の児童数 (R7～R10 は見込数)

	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10
東 小	721	670	660	572	551	614	581	549	530
西 小	689	649	703	712	704	710	702	683	670
深 小	339	329	294	237	210	227	201	189	181
雷一 小	575	551	502	461	442	442	432	430	440
雷二 小	151	123	112	68	68	57	57	59	51
須山小	122	134	107	91	90	92	85	78	72
向田小	221	196	120	84	77	—	—	—	—
千 小	153	131	124	111	95	95	86	78	65
南 小	207	257	289	247	231	222	208	191	189
合 計	3,178	3,040	2,911	2,583	2,468	2,459	2,352	2,257	2,198

参考・各中学校の生徒数 (R7～R10 は見込数)

	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10
東 中	435	467	400	361	349	351	341	346	344
西 中	395	427	401	482	459	489	473	484	483
深良中	132	143	157	128	129	134	132	119	118
雷岡中	440	392	371	358	352	338	341	326	314
須山中	51	65	61	45	48	50	56	53	49
合 計	1,453	1,494	1,390	1,374	1,347	1,362	1,343	1,328	1,308

※1 ICT 活用教育：教科等の学力の向上、情報活用能力や情報モラルの育成のためにコンピュータ等の情報通信技術を活用した教育（ICT=Information and Communication Technology の略）
※2 キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自らしい生き方を実現していく過程を促す教育

問10. あなたから見て、お子さんは普段どのようなことをして過ごすごが多いですか。（1つだけ○）

- 1. 友だちと遊ぶ
- 2. ゲーム（スマホ含む）をする
- 3. 読書をする
- 4. 習い事（スポーツ少年団等含）に行く
- 5. 学習塾に行く
- 6. その他（ ）

問11. お子さんは読書が好きだと思いますか。（1つだけ○）

- 1. とても好きだと思う
- 2. どちらかというと好きだと思う
- 3. どちらかというと嫌いだと思う
- 4. 嫌いだと思う

問12. あなたは鈴木図書館（文化センター図書室含む）を利用したことがありますか。（1つだけ○）

- 1. よく利用する
- 2. ときどき利用する
- 3. 利用したことはない（問13もご回答ください）

問13. 問12で「利用したことはない」と答えた方のみご回答ください。（1つだけ○）

- 1. 自宅から遠い
- 2. 探している本がない（蔵書が少ない）
- 3. 図書館に行く時間がない
- 4. 本にあまり興味がない
- 5. その他（ ）



続いては、裾野市の教育のあり方について、ご意見をお聞かせください。資料を掲載いたしますので、参考にしてください！
は幸いです！

(資料1) 小学5年生の児童数・学級数・1学級の平均児童数 (R6.5.1 現在)

小学校	児童数	学級数	1学級の平均児童数
東小学校	99人	3学級	33人
西小学校	107人	4学級	27人
深良小学校	42人	2学級	21人
雷岡第一小学校	81人	3学級	27人
雷岡第二小学校	8人	1学級	8人
須山小学校	20人	1学級	20人
向田小学校	17人	1学級	17人
千福が丘小学校	18人	1学級	18人
南小学校	37人	2学級	19人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

(資料2) 中学2年生の生徒数・学級数・1学級の平均生徒数 (R6.5.1 現在)

中学校	生徒数	学級数	1学級の平均生徒数
東中学校	122人	4学級	31人
西中学校	150人	5学級	30人
深良中学校	40人	2学級	20人
雷岡中学校	105人	3学級	35人
須山中学校	13人	1学級	13人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

【お子さんの出身の小学校について】

問1. お子さんの出身小学校の5年生の1学級の平均児童数（資料1）をご覧になり、教育環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
① 互いに切磋琢磨できる	3	2	1
② 先生の目が子ども一人一人に行き届く	3	2	1
③ 集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	3	2	1
④ 学級内の絆が強まる	3	2	1
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	3	2	1
⑥ 子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	3	2	1
⑦ 学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	3	2	1
⑧ 学級内の人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑨ 施設・設備を余裕を持って利用することができる	3	2	1

7

問2. お子さんの出身小学校の5年生の学級数(資料1)をご覧になり、教員環境をどう思いますか。(①～⑦それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
① 競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	3	2	1
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	3	2	1
③ 学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	3	2	1
④ 同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	3	2	1
⑤ さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	3	2	1
⑥ クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑦ 学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	3	2	1

問3. 裾野市の小学校規模についてどう思いますか。(①～⑤それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
①1 学年に2 学級以上あるほうが良い	3	2	1
1 学年1 学級の学校あるいは将来1 学級になった場合			
②1 学級20 名以上35 名までが良い	3	2	1
③1 学級10 名～19 名までが良い	3	2	1
④1 学級10 名以下でも良い	3	2	1
⑤複式学級でも良い	3	2	1

※複式学級→2 学年以上の児童・生徒をひとつに編制した学級。

【お子さんが通学している中学校について】

問4. お子さんが通学している中学校の2年生の1学級の平均生徒数（資料2）をご覧になり、教員環境をどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わからない
① 互いに切磋琢磨できる	3	2	1
② 先生の目が子ども一人一人に行き届く	3	2	1
③ 集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	3	2	1
④ 学級内の絆が強まる	3	2	1
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	3	2	1
⑥ 子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	3	2	1
⑦ 学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	3	2	1
⑧ 学級内の人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑨ 施設・設備を余裕を持って利用することができる	3	2	1

8

問5. お子さんが通学している中学校の2年生の学級数(資料2)をご覧になり、教育環境をどう思
いますか。(①～④それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう 思わない	わかない
① 競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	3	2	1
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	3	2	1
③ 学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	3	2	1
④ 同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間 関係が深まる	3	2	1
⑤ さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	3	2	1
⑥ クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑦ 学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	3	2	1

問6. 裾野市の中学校規模についてどう思いますか。(①～④それぞれひとつに○)

項 目	そう思う	そう思わない	わかない
①1学年に2学級以上あるほうが良い	3	2	1
1学年1学級の学校あるいは将来1学級になった場合			
②1学級20名以上35名までが良い	3	2	1
③1学級10名～19名までが良い	3	2	1
④1学級10名以下でも良い	3	2	1

問7. これから子ども達が通う学校について検討していく上で、以下の点をどのように考えますか。
(①～④それぞれひとつに○)

項 目	大変重要 である	重要 である	ふつう	あまり重 要でない	重要 でない
① 1学年の学級が2クラス以上あること	5	4	3	2	1
② 児童・生徒の通学(距離・方法)と その安全	5	4	3	2	1
③ 地域活動との連携による学校教育	5	4	3	2	1
④ 校舎の施設整備	5	4	3	2	1
⑤ その他 []					

ご協力、ありがとうございます！
これでアンケートは終了です。
アンケート用紙は、10月4日(金)までに、担任の先生にご提出くださ
い。二次元コードから回答いただいた方は提出不要です。



5 市民

1. あなたご自身についてお尋ねします

問1. あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

1 男性	2 女性
------	------

問2. あなたの年代を教えてください。(1つだけ○)

1 10～20代	2 30代	3 40代
4 50代	5 60代	6 70代以上

問3. あなたのお住まいは、どの小学校区ですか。(1つだけ○)

1 東小学校	2 西小学校	3 深良小学校
4 富岡第一小学校	5 富岡第二小学校	6 須山小学校
7 向田小学校(菅葉台・鈴原・茶畑団地・崎下市の瀬)	8 千福が丘小学校	
9 南小学校(伊豆島田・堀原・水窪)	10 わからない(お住まいの区名:)	

裾野市 教育に関するアンケート

令和6年10月

裾野市民の皆様へ

裾野市教育委員会

裾野市の教育に関する保護者アンケートご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろより裾野市の教育にご理解ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。本調査は、市民の皆様のお考えやご意見をいただき、教育振興基本計画の策定、今後の教育施策推進に役立てていくために実施するものです。

今回の調査にあたり、裾野市の住民基本台帳の18歳以上の方から800人を無作為抽出した結果、あなた様にお願ひすることになりました。アンケートは無記名回答で、回答結果についても個別に取上げるようなことがないよう統計的な処理・集計を行い、教育振興基本計画の策定や本市政策検討に利用する以外の目的で使用することはありません。

大変お忙しい中恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

アンケートの回答方法について

1. 次のいずれかの方法で回答・提出をお願いします。

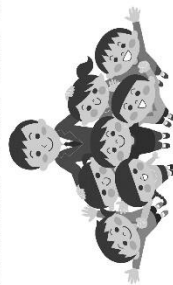
- ①アンケート(紙)に直接記入・郵送(返信用封筒をご利用ください)
- ②下記の二次元コード、アドレスから回答(アンケートの郵送は不要です。)



<https://logoform.jp/form/3FUc69G365>

いずれの場合も、11月11日(月)までにご提出ください。

- 2. このアンケートが送られたあて名のご本人がご回答ください。
(ご本人が回答できない場合には、ご家族等がご本人の考えを聞き取ってご記入ください。)
- 3. 各設問とも、黒のボールペンであてはまる番号を選択し、回答数は各設問の内容に従ってください。
- 4. ○の数は問によって異なります。その他()を選択した場合は、()内に具体的な内容をご記入いただけますよう、お願いいたします。
- 5. 設問中、各項目を段階でご回答いただくものがありますが、選択していただく数字は、集計上、便宜的に設定している数字であり、それぞれの点数を示すものではありません。



アンケートに関するお問い合わせについて

裾野市教育委員会 教育総務課
TEL : 995-1837
syomu@city.susono.shizuoka.jp

2. あなたご自身の学習や活動についてお尋ねします

01/10/2017

問4-1. 学習や活動をしている方は何を活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

3

2) 3) 4)

6 自分の趣味の範囲で楽しめれば良い（特に何かに生かしたいとは思わない）

3. 文化財や文化施設についてお尋ねします

問8. あなたは郷土の歴史や文化に興味がありますか。(1つだけ○)

1 非常に興味がある	2 ものによっては興味がある
3 あまり興味がない	4 全く興味がない

問9. あなたは裾野市にある文化財を知っていますか。(知っているものすべてに○)

1 五竜の滝	2 深良用水	3 旧植松家住宅
4 景ヶ島渓谷・屏風岩	5 願生寺阿弥陀如来坐像	6 頼朝井戸の森
7 愛鷹ツツジ原生群落	8 富士裾野大野第二風穴	9 葛山城址・葛山氏居館址
10 定輪寺・宗祐墓所	11 岩波風穴	12 楠林
13 須山田向十二神社	14 十里木氷穴	15 黒岳の自然杉群落
16 須山浅間神社	17 茶畑浅間神社四面女神像	18 知っているものはない

4. 裾野市の子どもたちとの接し方やご意見についてお尋ねします

問10. 地域の子どもたちとどのように接していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 子どもたちと出会ったときは、あいさつや、話をしたりする
2 子どもたちの登下校や遊んでいるときなどに見守っている
3 地域の祭りやイベントで子どもたちとふれあっている
4 子どもたちにスポーツ活動・文化活動などの指導をしている
5 子ども会などの地域活動を一緒にしている
6 子どもたちが悪いことをしているところを見たときは、注意する
7 子どもたちが良いことをしているところを見たときは、ほめる
8 関わりを持ちたいが、地域の子どもたちと関わる機会があまりない
9 地域の子どもたちとあまり関わりたくないのに、接していない
10 その他 ()

問11. 学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 授業の補助や放課後等の学習支援	2 自分が持つ知識・技能を活用した学習支援
3 運動会や文化祭などの学校行事の支援	4 読み聞かせや図書の整理、読書の相談
5 花壇や植え込みの手入れなどの環境整備	6 部活動の指導
7 通学路における登下校時の見守り活動	8 協力したことはない
9 その他 ()	

5. 裾野市の教育施策や教育事業についてお尋ねします

問 12-1. 裾野市が特に力を入れて行う必要があると思う教育施策や教育事業は何ですか。学校教育、生涯学習、スポーツ活動について、それぞれご回答ください。

学校教育について（5つまで○）

1	学力の向上
2	体力向上や健康教育
3	豊かな心を育む道徳教育・人権教育
4	国際理解教育や英語（外国語）教育の充実
5	コンピュータ等の情報通信技術を活用した教育
6	教育施設・設備の充実
7	伝統文化を尊重し、郷土を愛する教育
8	読解力を育む読書活動
9	環境やエネルギーを大切にする環境教育
10	不登校やいじめ問題の解消を図る取り組み
11	障がいのある子どもたちの自立と社会参加を図るための特別支援教育
12	家庭・地域が学校を支援するしくみづくり
13	教員の資質向上
14	自然教室などの体験学習の充実
15	幼稚園・保育園・小学校の連携
16	就学前（小学校にあがる前）教育の充実
17	学校給食を活用した食育
18	進路指導やキャリア教育※の充実
19	教員の多忙化の解消
20	防災教育や安全教育の推進
21	力を入れて行う必要があると思う施策・事業は特にな
22	その他（

※キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を促す教育



次のページ以降の生涯学習について、スポーツ活動についてもご回答ください。

生涯学習について（問 12-2・3 つまで○）

1	生涯学習センターや文化センターなど、施設の充実
2	大学などの教育機関や企業との連携
3	ニーズに合わせた多様な講座の実施
4	WEB、生涯学習情報誌など、学習・活動情報の提供
5	学習・活動成果が活かせる機会の充実
6	託児ができる講座などの増加
7	指導者の確保・養成
8	芸術家の作品や公演を観る機会を増やす
9	文化・芸術活動団体への支援や人材育成
10	子ども会や婦人会などの社会教育団体の支援や人材育成
11	地域と連携した青少年の健全育成活動
12	力を入れて行う必要があると思う施策・事業は特にな
13	その他（

スポーツ活動について（問 12-3・3 つまで○）

1	年齢層にあったスポーツの開発普及
2	学校体育施設の開放・整備
3	各種スポーツ行事・大会・教室の開催
4	指導者の確保・養成
5	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団等の支援
6	スポーツ選手の育成、支援
7	市民体育館、運動公園など、スポーツ活動施設の整備
8	スポーツイベントやスポーツ合宿等の誘致
9	スポーツに関する情報発信
10	全国大会など、トップレベルの競技にふれる機会の増加
11	高齢者や障がい者のスポーツ機会の創出、充実
12	力を入れて行う必要があると思う施策・事業は特にな
13	その他（

問 13. 学校・地域・家庭の連携により社会全体の教育力を高めるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで○)

1	世代間交流などにより、地域の文化を子どもたちに伝える
2	子どもたちが近所の大人とふれあう機会を増やす
3	地域住民が学校を支援するボランティアなどに積極的に参加する
4	学校、家庭、地域住民が連携して奉仕活動などを行う
5	学校施設を積極的に地域に開放する
6	学校、家庭、地域住民が連携して、声掛け、あいさつ運動を進める
7	地域の行事に保護者と子どもたちが積極的に参加する
8	運動会などの学校行事に地域住民が積極的に参加する
9	地域の人材を活用する
10	必要だと思う取り組みは特にない
11	その他 ()

問 14. 地域をより良くするためには人と人とのつながりが大切です。地域住民のつながりのためには何が必要だと思いますか。(2つまで○)

1	地域住民と協働して地域活動を企画・推進する人材の確保、育成
2	地域住民の交流機会の増加
3	地域住民が気軽に集まれる場所
4	地域住民に地域の魅力を伝える情報発信
5	地域活動や行事への住民参加の啓発
6	地域活動や行事の推進に役立つガイドブックやWEBサイト、SNS
7	必要だと思うことは特にない
8	その他 ()

10～12ページの資料をご覧ください、
12ページの間15から引き続きご回答ください。

ご家族が小学校・中学校に通っていない場合についても
次の資料をご覧ください、お答えください。



【裾野市の教育のあり方について】
6. 裾野市立小中学校の教育環境についてお尋ねします

参考・裾野市立小学校児童数推移

	全児童数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平成 26 年度	2,982	496	502	481	496	502	505
平成 27 年度	2,948	512	481	490	471	492	502
平成 28 年度	2,899	496	507	479	477	459	481
平成 29 年度	2,884	482	491	502	475	473	461
平成 30 年度	2,911	498	474	487	502	472	478
令和元年度	2,845	450	486	464	483	489	473
令和 2 年度	2,794	438	446	486	454	484	486
令和 3 年度	2,752	465	434	441	474	455	483
令和 4 年度	2,668	429	458	427	433	470	451
令和 5 年度	2,583	382	423	452	428	432	466
令和 6 年度	2,468	373	382	410	447	429	427

参考・裾野市立中学校生徒数推移

	全生徒数	1 年	2 年	3 年
平成 26 年度	1,502	499	515	488
平成 27 年度	1,493	490	495	508
平成 28 年度	1,472	482	492	498
平成 29 年度	1,432	461	479	492
平成 30 年度	1,390	447	461	482
令和元年度	1,371	468	446	457
令和 2 年度	1,371	457	468	446
令和 3 年度	1,380	463	453	464
令和 4 年度	1,379	470	461	448
令和 5 年度	1,374	442	470	462
令和 6 年度	1,347	456	430	461

参考-各小中学校の児童数 (R7～R10は見込数)

[単位:人]

	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10
真小	721	670	660	572	551	614	581	549	530
西小	689	649	703	712	704	710	702	683	670
深小	339	329	294	237	210	227	201	189	181
雪一	575	551	502	461	442	442	432	430	440
宮二	151	123	112	68	68	57	57	59	51
須山	122	134	107	91	90	92	85	78	72
向田	221	196	120	84	77	—	—	—	—
千小	153	131	124	111	95	95	86	78	65
南小	207	257	289	247	231	222	208	191	189
合計	3,178	3,040	2,911	2,583	2,468	2,459	2,352	2,257	2,198

参考-各中学校の生徒数 (R7～R10は見込数)

[単位:人]

	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10
真中	435	467	400	361	349	351	341	346	344
西中	395	427	401	482	469	489	473	484	483
深良十	132	143	157	128	129	134	132	119	118
宮岡十	440	392	371	358	352	338	341	326	314
須山十	51	65	61	45	48	50	56	53	49
合計	1,453	1,494	1,390	1,374	1,347	1,362	1,343	1,328	1,308

(資料1) 小学5年生の児童数・学級数・1学級の平均児童数 (R6.5.1現在)

小学校	児童数	学級数	1学級の平均児童数
真小学校	99人	3学級	33人
西小学校	107人	4学級	27人
深良小学校	42人	2学級	21人
雪岡第一小学校	81人	3学級	27人
雪岡第二小学校	8人	1学級	8人
須山小学校	20人	1学級	20人
向田小学校	17人	1学級	17人
千福が丘小学校	18人	1学級	18人
南小学校	37人	2学級	19人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

(資料2) 中学2年生の生徒数・学級数・1学級の平均生徒数 (R6.5.1現在)

	生徒数	学級数	1学級の平均生徒数
真中学校	122人	4学級	31人
西中学校	150人	5学級	30人
深良中学校	40人	2学級	20人
雪岡中学校	105人	3学級	35人
須山中学校	13人	1学級	13人

※国の学級編制の基準が適用されない特別支援学級は学級数から除いています。

【お住まいの学区の小中学校について】

問15. お住まいの学区の小学5年生の1学級の平均児童数(11ページ・資料1)をご覧ください。
教育環境についてどう思いますか。(①～⑨それぞれひとつに○)

	項目	そう思う	そう 思わない	そう わからない
①	互いに切磋琢磨できる	3	2	1
②	先生の目が子ども一人一人に行き届く	3	2	1
③	集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	3	2	1
④	学級内の絆が強まる	3	2	1
⑤	社会性や協調性を育む機会に恵まれる	3	2	1
⑥	子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	3	2	1
⑦	学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	3	2	1
⑧	学級内の人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑨	施設・設備を余裕を持って利用することができる	3	2	1

問 16. お住まいの学区の小学5年生の学級数（11ページ・資料1）をご覧ください、教育環境についてどう思いますか。（①～⑦それぞれひとつに○）

項目	そう思う	そう思う 思わない	わからない
①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	3	2	1
②異学年間の縦の交流が生まれやすい	3	2	1
③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	3	2	1
④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	3	2	1
⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	3	2	1
⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑦学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	3	2	1

問 17. 裾野市の小学校規模についてどう思いますか。（①～⑤それぞれひとつに○）

項目	そう思う	そう思う 思わない	わからない
①1学年に2学級以上あるほうが良い	3	2	1
1学年1学級の学校あるいは将来1学級になった場合			
②1学級20名以上35名までが良い	3	2	1
③1学級10名～19名までが良い	3	2	1
④1学級10名以下でも良い	3	2	1
⑤複式学級※でも良い	3	2	1

※複式学級：2学年以上の児童・生徒をひとつに編制した学級。



【お住まいの学区の中学校について】

問 18. お住まいの学区の中学2年生の1学級の平均生徒数（12ページ・資料2）をご覧ください、教育環境についてどう思いますか。（①～⑨それぞれひとつに○）

項目	そう思う	そう思う 思わない	わからない
①互いに切磋琢磨できる	3	2	1
②先生の目が子ども一人一人に行き届く	3	2	1
③集団内においてさまざまな役割分担を経験できる	3	2	1
④学級内の絆が強まる	3	2	1
⑤社会的性や協調性を育む機会に恵まれる	3	2	1
⑥子ども一人一人に対して丁寧な学習指導が期待できる	3	2	1
⑦学校行事や勉強等において、多様な教育活動ができる	3	2	1
⑧学級内の人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑨施設・設備を余裕を持って利用することができる	3	2	1

問 19. お住まいの学区の中学2年生の学級数（12ページ・資料2）をご覧ください、教育環境についてどう思いますか。（①～⑦それぞれひとつに○）

項目	そう思う	そう思う 思わない	わからない
①競争意識が働き、運動や学習への意欲が向上する	3	2	1
②異学年間の縦の交流が生まれやすい	3	2	1
③学校全体に活気があり、学校行事が一定規模で行える	3	2	1
④同じ子どもとずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	3	2	1
⑤さまざまな個性や考え方を持つ友達とふれあえる	3	2	1
⑥クラス替えがなく、人間関係に変化が持てない	3	2	1
⑦学校行事や学年行事で活躍の場が多くある	3	2	1

問 20. 裾野市の中学校規模についてどう思いますか。(①～④それぞれひとつに○)

項目	そう思う	そう 思わない	わからない
① 1 学年に 2 学級以上あるほうが良い	3	2	1
1 学年 1 学級の学校あるいは将来 1 学級になった場合			
② 1 学級 20 名以上 35 名までが良い	3	2	1
③ 1 学級 10 名～19 名までが良い	3	2	1
④ 1 学級 10 名以下でも良い	3	2	1

問 21. これからの子どもたちが通う学校について検討していく上で、以下の点をどのように考えますか、
(①～④それぞれひとつに○)

項目	大変 重要で ある	重要で ある	ふつう	あまり 重要で ない	重要で ない
① 1 学年の学級が 2 クラス以上あること	5	4	3	2	1
② 児童・生徒の通学（距離・方法）とその安全	5	4	3	2	1
③ 地域活動との連携による学校教育	5	4	3	2	1
④ 校舎の施設整備	5	4	3	2	1
⑤ その他（	）				

これでアンケートは終了です。同封の返信用封筒に入れて、
令和6年11月11日（月）までに投函してください。
(二次元コードから回答していただいた場合、投函は不要です)

ご協力ありがとうございました。

裾野市 教育に関するアンケート調査 報告書

発行：令和6年12月

編集：裾野市 教育総務課

〒410-1192 裾野市佐野 1059 番地
TEL：055-995-1837 FAX：055-995-1861
E-mail：syomu@city.susono.shizuoka.jp